

# 22 静岡県

# 静岡県 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向等

- ①静岡県立静岡がんセンター★（平成18年8月24日）
- ②順天堂大学医学部附属静岡病院（平成19年1月31日）
- ③沼津市立病院（平成19年1月31日）
- ④静岡県立総合病院（平成20年2月8日）
- ⑤静岡市立静岡病院（平成19年1月31日）
- ⑥藤枝市立総合病院（平成19年1月31日）
- ⑦聖隷三方原病院（平成20年2月8日）
- ⑧聖隷浜松病院（平成20年2月8日）
- ⑨浜松医科大学医学部附属病院（平成19年1月31日）
- ⑩県西部浜松医療センター（平成19年1月31日）

病院名	地域分担	過去申請時の機能分担
①静岡県立静岡がんセンター★	全県及び駿東田方医療圏	県拠点病院業務全般
②順天堂大学医学部附属静岡病院	駿東田方、賀茂及び熱海伊東医療圏	賀茂圏域及び熱海伊東圏域における地域拠点病院業務
③沼津市立病院	駿東田方及び熱海伊東医療圏	病診連携などの地域連携の中心

志太榛原医療圏

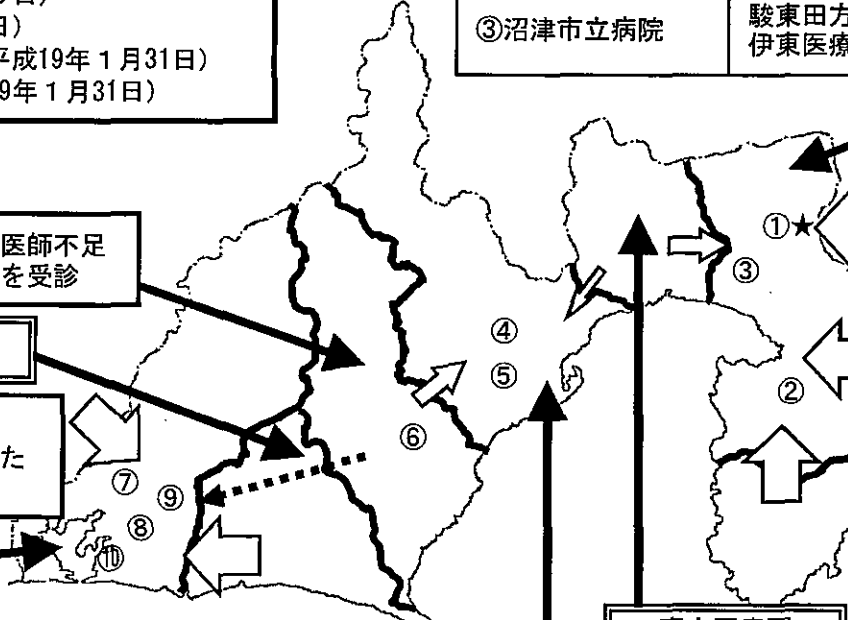
地域医療の中核を担う公立病院の医師不足に伴い、一部が隣接する医療圏等を受診

中東遠医療圏（空白の医療圏）

医療圏内で機能分担や連携強化を図っているが、著しい医師不足のため、西部医療圏への依存度が高い

西部医療圏

病院名	地域分担	過去申請時の機能分担
⑦聖隷三方原病院	医療圏の北部	地域拠点病院業務全般
⑧聖隷浜松病院	医療圏の中心部	地域拠点病院業務全般
⑨浜松医科大学医学部附属病院	西部及び中東遠医療圏	・人材養成の中心 ・中東遠圏域における地域拠点業務全般
⑩県西部浜松医療センター	医療圏の南部、西部	医師会病院として発足した経緯から地域連携の中心



駿東田方医療圏

熱海伊東医療圏  
(空白の医療圏)

賀茂医療圏  
(空白の医療圏)

集学的治療が実施可能で指定要件を満たす病院がないため、隣接する駿東田方医療圏の拠点病院との連携により対応

富士医療圏  
(空白の医療圏)

医療圏内に指定要件を満たす病院はないが、医療圏内にある集学的治療が実施できる複数の医療機関を受診するほか、一部が隣接する医療圏の拠点病院を受診

静岡医療圏

病院名	地域分担	過去申請時の機能分担
④静岡県立総合病院	医療圏の北部、東部	①に次ぐ基幹的位置付け
⑤静岡市立静岡病院	医療圏の南部	地元医師会とのオープンシステムによる地域連携の中心

※( )内は平成20年10月末提出の数値、下段は平成21年10月末提出の数値 ※申請区分は資料3の作成要領を参照のこと  
 ※一枚につき11病院を超える場合には、2枚にわたって表を作成してください。

資料2

都道府県 or 地域	申請 区分	病院名	年間入院患者 数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計										放射線治療		がんに係る薬 物療法(6月 ~7月の集計)		緩和 ケア	相談支 援セン ター	地域 連携	
			年間新 入院が ん患者 数(1月 ~12 月)	年間 新入院 患者数 に占め るがん 患者の 割合 (%)	肺がん		胃がん手 術		大腸が ん手術		肝臓がん		乳がん		年間患者実 数 (1月~12月)		薬物療法のべ 患者数					
					悪性 腫瘍手 術総数	開胸 手術	胸腔 鏡下 手術	開腹 手術	内視 鏡手 術粘 膜切 除術 (EMR)	開腹 手術	内視 鏡手 術	開腹 手術	ラジ オ波 焼灼 療法	乳癌 手術	乳房再 建術 (乳房 切除 後)二 期的に 行うも の	体外照 射	小線 源治 療	入院患 者数				外来患 者数
1	★更新	静岡県立静岡がんセンター	(11,319) 11,791	(93.6) 93.7	(707) 783	(24) 32	(3) 2	(46) 60	(0) 0	(44) 23	(20) 15	(14) 10	(6) 17	(51) 52	(0) 0	(1,560) 1,762	(36) 73	(1,669) 1,399	(2,456) 2,553	(138) 142	(1,982) 2,048	(0) 0
2	更新	順天堂大学医学部 附属静岡病院	(1,498) 1,895	(13.3) 16.6	(97) 126	(5) 1	(1) 4	(14) 10	(1) 1	(10) 25	(4) 6	(0) 1	(16) 3	(4) 11	(0) 0	(177) 259	(0) 0	(53) 900	(164) 221	(9) 14	(107) 155	(0) 0
3	更新	沼津市立病院	(1,887) 1,535	(21.2) 17.1	(24) 41	(0) 3	(2) 1	(6) 5	(0) 2	(4) 4	(4) 3	(0) 0	(14) 16	(7) 7	(0) 0	(314) 276	(0) 0	(203) 70	(49) 204	(5) 8	(69) 92	(0) 0
4	更新	静岡県立総合病院	(5,652) 5,641	(38.2) 38.6	(304) 302	(1) 2	(15) 16	(25) 18	(14) 13	(39) 37	(6) 0	(14) 3	(27) 8	(50) 55	(0) 0	(748) 643	(18) 8	(214) 156	(650) 533	(33) 40	(49) 337	(0) 1
5	更新	静岡市立静岡病院	(1,225) 1,501	(10.7) 13.2	(79) 89	(4) 2	(11) 9	(4) 6	(0) 0	(7) 18	(5) 42	(1) 1	(0) 8	(9) 7	(0) 0	(229) 218	(0) 0	(262) 125	(222) 157	(4) 5	(30) 39	(0) 0
6	更新	藤枝市立総合病院	(2,049) 2,007	(18.7) 20.0	(56) 116	(2) 0	(6) 6	(14) 11	(0) 0	(6) 11	(4) 7	(1) 1	(2) 0	(13) 19	(0) 0	(302) 295	(0) 0	(59) 176	(158) 189	(36) 32	(49) 65	(0) 0
7	更新	聖隷三方原病院	(3,234) 2,758	(20.9) 18.1	(155) 130	(5) 7	(27) 29	(10) 9	(0) 4	(20) 13	(0) 3	(0) 0	(1) 2	(13) 15	(0) 0	(369) 392	(7) 16	(178) 161	(166) 195	(45) 52	(465) 546	(5) 2
8	更新	聖隷浜松病院	(3,860) 3,971	(19.3) 20.4	(179) 192	(0) 2	(14) 17	(17) 18	(0) 0	(31) 24	(1) 4	(0) 2	(0) 3	(41) 44	(0) 0	(431) 708	(0) 0	(274) 772	(331) 1,144	(42) 25	(533) 345	(12) 22
9	更新	浜松医科大学医学 部附属病院	(1,907) 2,521	(20.5) 26.3	(143) 153	(0) 0	(2) 0	(14) 17	(1) 0	(9) 9	(0) 3	(4) 10	(1) 3	(8) 8	(0) 0	(80) 231	(80) 137	(164) 177	(571) 242	(6) 10	(187) 141	(0) 3
10	更新	県西部浜松医療セ ンター	(2,424) 2,181	(18.4) 17.3	(118) 128	(0) 0	(12) 19	(4) 14	(2) 0	(17) 3	(2) 0	(1) 4	(5) 3	(21) 26	(0) 0	(253) 294	(0) 0	(315) 395	(448) 278	(28) 19	(32) 216	(3) 2
11	新規	磐田市立総合病院	(2,022) 1,806	(20.3) 17.8	(87) 140	(2) 0	(4) 6	(12) 7	(0) 0	(23) 17	(0) 1	(2) 8	(0) 5	(15) 10	(0) 0	(231) 291	(0) 0	(261) 113	(188) 146	(15) 28	(6) 222	(0) 0

# 静岡県 平成22年度の指定推薦状況と予想される患者受療動向

- ①静岡県立静岡がんセンター★（更新）
- ②順天堂大学医学部附属静岡病院（更新）
- ③沼津市立病院（更新）
- ④静岡県立総合病院（更新）
- ⑤静岡市立静岡病院（更新）
- ⑥藤枝市立総合病院（更新）
- ⑦聖隷三方原病院（更新）
- ⑧聖隷浜松病院（更新）
- ⑨浜松医科大学医学部附属病院（更新）
- ⑩県西部浜松医療センター（更新）
- ⑪磐田市立総合病院（新規）

病院名	地域分担	機能分担
①静岡県立静岡がんセンター★	①が県東部を中心に県全域をカバーするほか、3病院で駿東田方、賀茂及び熱海伊東医療圏における連携体制の充実・強化を図る。	県拠点病院機能全般 県全体の医療連携
②順天堂大学医学部附属静岡病院		主に伊豆地域の医療連携
③沼津市立病院		主に駿東地域の医療連携

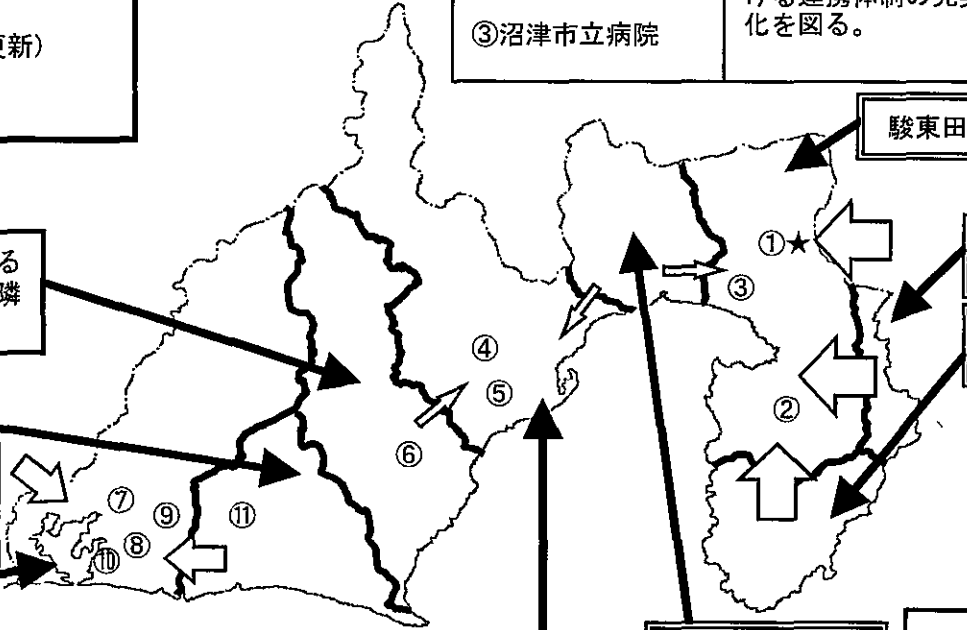
志太榛原医療圏

⑥を含む医療圏内の医療機関による連携体制の充実・強化を図るが、隣接する医療圏等に一部が受診

中東遠医療圏

⑪を中心に医療圏内の受け入れ体制の充実・強化を図るが、当面、西部医療圏に一定数が受診

西部医療圏



駿東田方医療圏

熱海伊東医療圏  
(空白の医療圏)

賀茂医療圏  
(空白の医療圏)

集学的治療が実施できる医療機関がないため、引き続き、隣接する駿東田方医療圏の拠点病院との連携対応体制の充実・強化により対応

富士医療圏  
(空白の医療圏)

集学的治療が実施できる医療機関を中心とした連携体制の充実・強化を図るが、隣接する医療圏に一部が受診

静岡医療圏

病院名	地域分担	機能分担	部位別その他機能
⑦聖隷三方原病院	北部～北西部	緩和ケア	肺、大腸 相談支援
⑧聖隷浜松病院	中部～南東部	集学的治療	胃、乳、大腸 臨床試験
⑨浜松医科大学 医学部附属病院	東部～北東部	人材育成	胃、肝 県内唯一の医学部
⑩県西部浜松医療 センター	西部～南西部	地域連携	肺、乳、先端技術 オープンシステム

病院名	地域分担	機能分担
④静岡県立総合病院	中心部～北部 隣接医療圏の一部	集学的治療
⑤静岡市立静岡病院	中心部～南部	地域連携、共同診療、 情報提供

1 静岡県における平成22年度の指定推薦の考え方等

平成21年2月3日開催の第5回がん診療連携拠点病院の指定に関する検討会資料「新要件に基づくがん診療連携拠点病院の指定の考え方」に基づき、県内の医療機関における指定要件の充足状況等を確認の上、指定推薦する医療機関について静岡県がん対策推進協議会の了承を得た。

2 指定要件の充足状況及び指定推薦する医療機関数

(1) 指定要件の充足状況

- ・本県に4カ所ある空白の医療圏(静岡県の2次医療圏数:8)のうち、中東遠医療圏に位置する1病院が新たに指定要件を充足
- ・既指定の10病院はいずれも指定要件を充足
- ・さらに、志太榛原医療圏に位置する1病院が新たに指定要件を充足したため、県内では12病院が指定要件を充足

(2) 指定推薦する医療機関数

指定推薦の考え方に基づき、2病院が指定要件を充足した志太榛原医療圏からは既指定の1病院のみを指定推薦(更新)することとし、残る既指定の9病院及び中東遠医療圏で新たに指定要件を充足した1病院の計11病院を推定推薦する。

2次医療圏名	賀茂	熱海伊東	駿東田方	富士	静岡	志太榛原	中東遠	西部	計
指定要件充足数(うち新規)	0	0	3(0)	0	2(0)	2(1)	1(1)	4(0)	12(2)
指定推薦数(うち新規)	0	0	3(0)	0	2(0)	1(0)	1(1)	4(0)	11(1)

3 2次医療圏を超える数の医療機関を指定推薦する理由

「静岡県がん対策推進計画」の全体目標である「がんによる死亡者数の減少」を達成するため、がん医療の分野では、推薦する11病院が牽引役となって、以下の項目を重点的に強化していく必要がある。

(1) 専門的ながん医療の提供体制の確保によるがんの治療成績の向上

国の整備指針に基づく集学的治療、緩和ケア等の提供体制が確保された医療機関におけるがん患者の治療割合を高めることにより、がんの治療成績を向上させる。

院内がん死亡患者数(がん死亡者総数に占める割合)	
既指定10病院	→ 今回指定推薦11病院
計3,638人(36.8%)	計3,869人(39.1%)

(2) 地域連携クリティカルパスの活用によるがん医療の提供体制の充実  
地域連携クリティカルパスを活用している医療圏のノウハウを全県で共有し、身近なかかりつけの医療機関からがん診療連携拠点病院までの連携体制を強化し、がん医療の提供体制をさらに充実させる。

拠点病院紹介・受入件数合計	
今回指定推薦11病院の実績	静岡医療圏並みに強化
延べ26,980件	→ 延べ63,943件(2.4倍)

(3) 治療の初期段階からの緩和ケアの提供

国の目標である「すべてのがん診療に携わる医師の緩和ケアに関する基本的な知識の習得」を達成することで、治療早期から質の高い緩和ケアの提供体制を確保し、がん患者の療養生活の質を向上を図る。

がん診療に携わる県内医師数: 少なくとも3,674人 (5大がんを診療する主な診療科の医師数: 平成20年医師・歯科医師・薬剤師調査) 250人(今回指定推薦11病院の実績) × 年2回 × 5年 = 2,500人 < 3,674人 (最低約1.5倍の実績が必要)
---

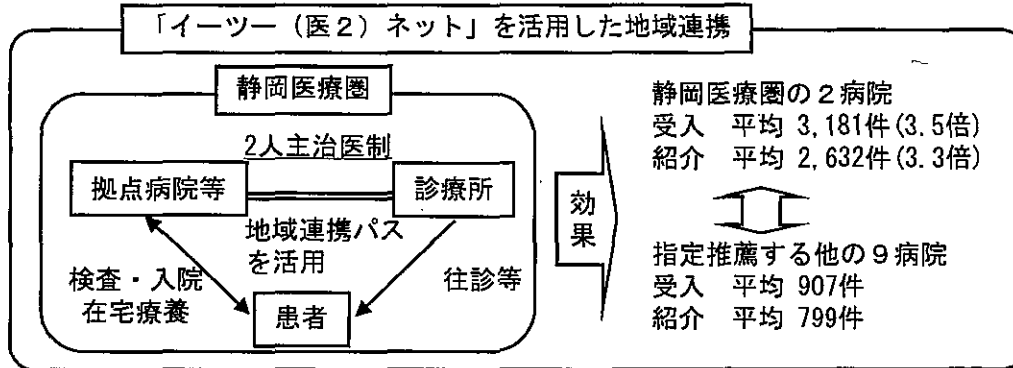
(4) 標準的な院内がん登録に基づく指標を活用したがん対策の推進

がん診療連携拠点病院によるがん登録のデータを活用して、限られた医療提供体制においてもできるだけ効果の高いがん対策を推進

院内がん登録件数(県外患者を除く)		
既指定10病院	→ 今回指定推薦11病院	
計13,460件	計14,071件(+611件, 4.3%)	
(比較) 複数指定の医療圏でそれぞれ1病院を減じた場合		
東部医療圏	静岡医療圏	西部医療圏
-985件(-7.3%)	-1,203件(-8.9%)	-1,234件(-9.2%)

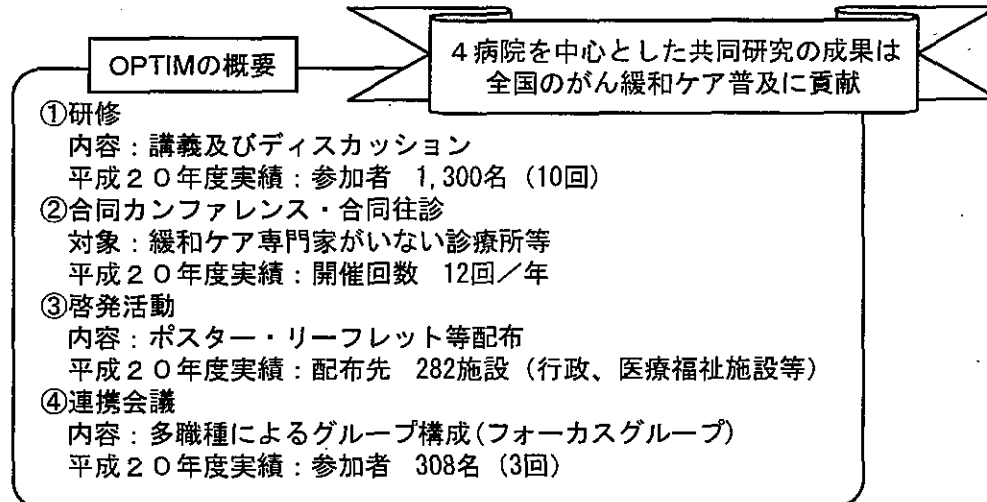
4 2次医療圏を超える数の医療機関を指定推薦する理由に関する参考資料

(1) 静岡医療圏における「静岡がん診療地域連携協議会(s-net)」による2人主治医制による病診連携(イーツー(医2)ネット)の概要及び効果

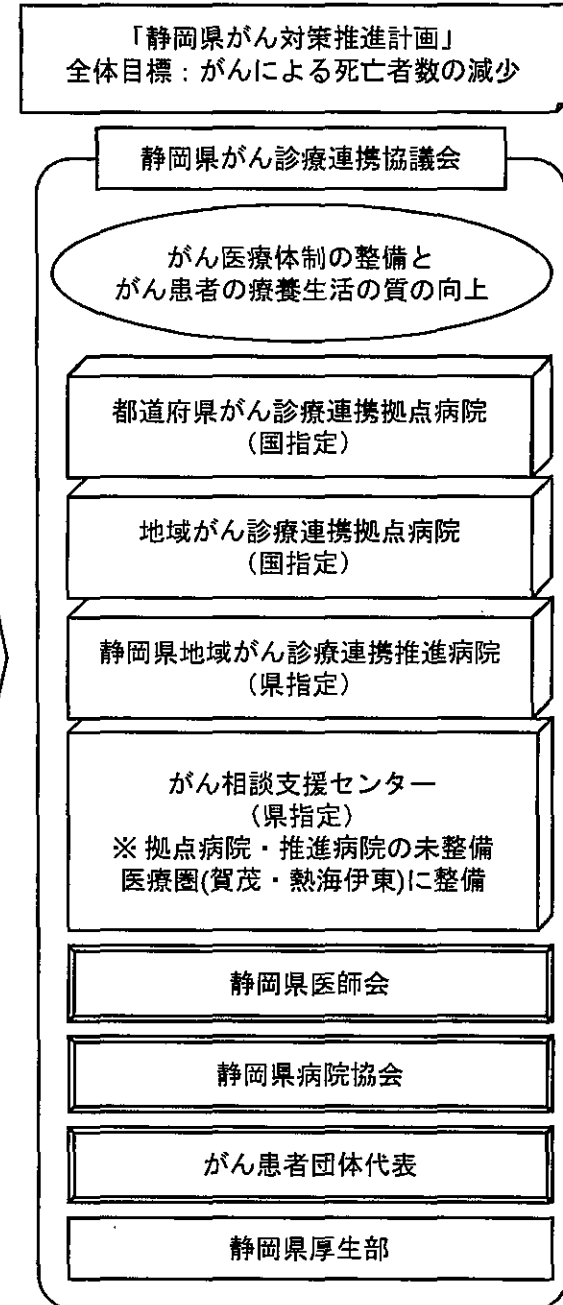


(2) 西部医療圏における「緩和ケア普及のための地域介入研究(OPTIM)」の概要及び効果

- ・ 国の第3次対がん総合戦略研究における平成20年度から3年間のアウトカム研究
- ・ 総合病院(地域がん診療連携拠点病院)を中心とした緩和ケアの地域モデル(他の介入地域:がん専門病院が中心の地域、医師会が中心の地域、未整備の地域)
- ・ 研究内容は、西部医療圏の4つの地域がん診療連携拠点病院で構成された「静岡県西部がん診療連携拠点病院協議会」(※)において協議
- ※ 本県における緩和ケア医師研修(単位型プログラム)の原案、教材も作成
- ・ 参加者(171施設・378名)の9割以上が「役立つ」と評価



成果等の共有



# 7 福島県

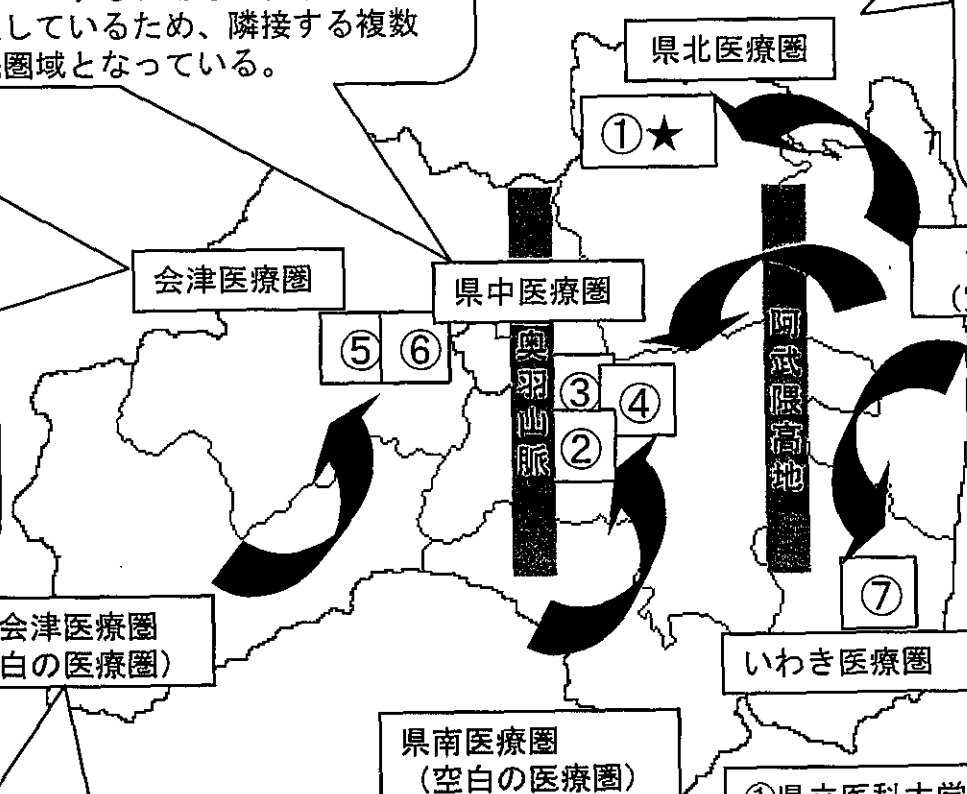
# 福島県平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向

県中医療圏は人口最多の中核的医療圏で、②～④病院はがん医療に関しそれぞれ特有の高度機能を有する。県内で最もがん診療体制が充実した医療圏であり、相双医療圏のがん医療をカバーするとともに、県の中央部に位置し交通網が発達しているため、隣接する複数医療圏のがん患者の通院圏域となっている。

県北医療圏では、①病院が都道府県拠点病院として県内全体の高度医療を必要とするがん患者を、大原総合病院（平成20年度末に辞退）が県北の一般がん患者を受け持ってきたが、平成20年度末以降は、一部は県中医療圏の②～④の病院に依存せざるを得ない状況である。

会津医療圏は、広大な面積を有する上に、他圏域との境に山脈が連なり、過疎中山間地域を抱え、豪雪地帯となっているため、南会津圏域を含めたがん医療を完結するためには、⑤、⑥の2拠点病院を維持する必要がある。

相双医療圏は南北に長く広い地域であり、拠点病院の空白地域のため、がん患者の医療は北部は県北①病院、中南部は県中②～④病院、いわき⑦病院がカバーしている。



南会津医療圏  
(空白の医療圏)

県南医療圏  
(空白の医療圏)

いわき医療圏

南会津医療圏は拠点病院の空白地域のため、がん患者の医療は、会津⑤、⑥病院がカバーしている。地理的に、会津以外の医療圏の拠点病院の受診は困難。

県南医療圏は拠点病院の空白地域のため、がん患者の医療は、県中②～④病院がカバーしている。

- ① 県立医科大学病院★（平成19年1月31日）
- ② 坪井病院（平成20年2月8日）
- ③ 太田西ノ内病院（平成19年1月31日）
- ④ 総合南東北病院（平成20年2月8日）
- ⑤ 竹田総合病院病院（平成19年1月31日）
- ⑥ 会津中央病院（平成20年2月8日）
- ⑦ 福島労災病院（平成20年2月8日）

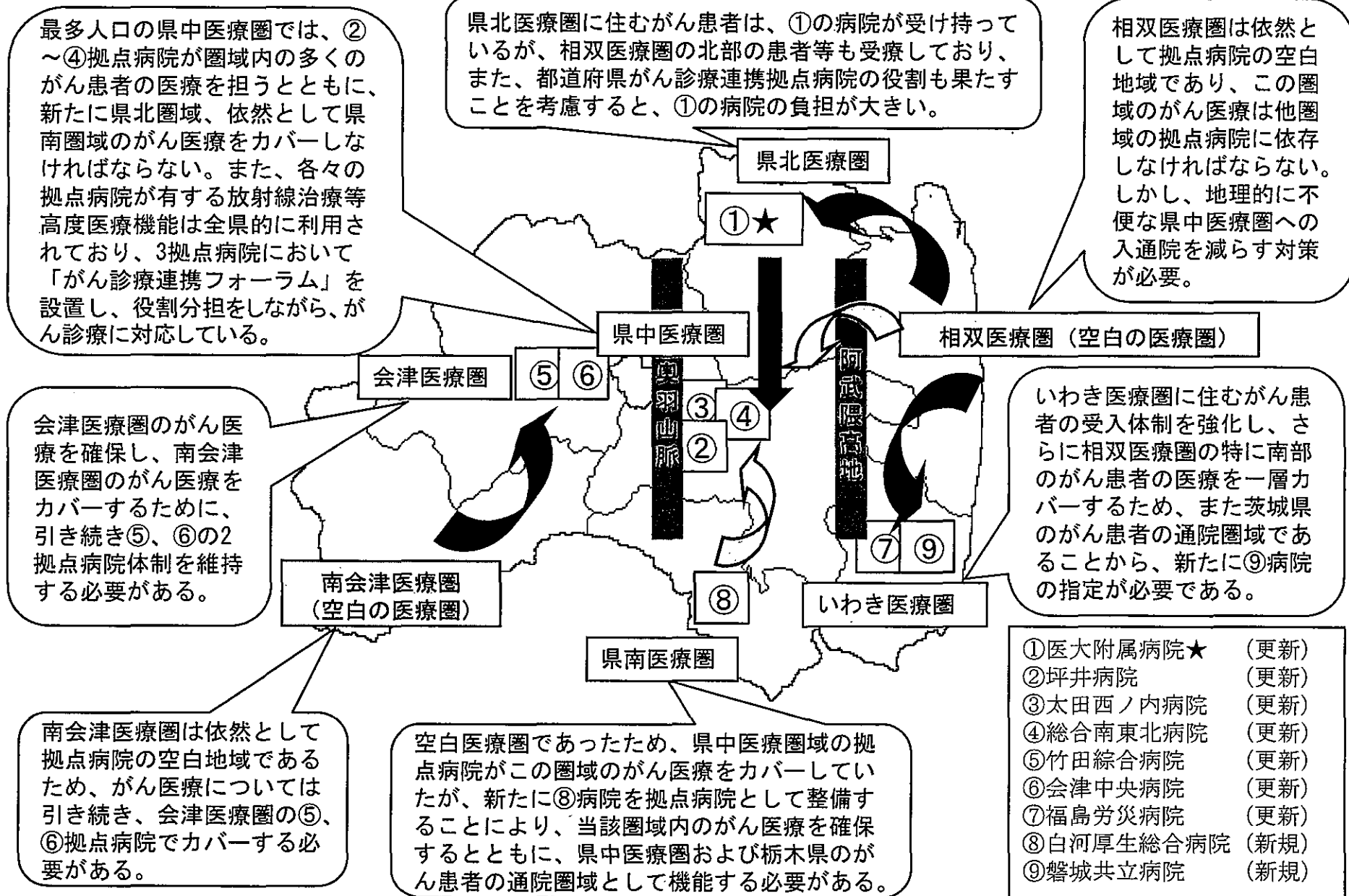


資料 2

※( )内は平成20年10月末提出の数値、下段は平成21年10月末提出の数値 ※申請区分は資料3の作成要領を参照のこと  
 ※一枚につき11病院を超える場合には、2枚にわたって表を作成してください。

都道府県 or 地域	申請 区分	病院 名	年間入院患者数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計											放射線治療		がんに係る 薬物療法 (6月~7月の 集計)		緩和 ケア	相談 支援 セン ター	地域 連携	
			年間 新入 院が ん患 者数 (1月 ~12 月)	年間 新入 院患 者に 占め るが ん患 者の 割合 (%)	肺がん		胃がん手術		大腸がん手 術		肝臓がん		乳がん		年間患者実 数 (1月~12月)		薬物療法の べ患者数		緩和 ケア チー ムに 対す る新 規診 療依 頼数 (6~7 月の 集計)	相談 支援 セン ター 相 談件 数(6 ~7月 の集 計)	退院 時共 同指 導料 (6~7 月の 集計)		
					悪性 腫瘍 手術 総数	開胸 手術	胸腔 鏡下 手術	開腹 手術	内視 鏡手 術粘 膜切 除術 (EM R)	開腹 手術	内視 鏡手 術	開腹 手術	ラジ オ波 焼灼 療法	乳癌 手術	乳房 再建 術(乳 房切 除後) 二期 的に 行う もの	体外 照射	小線 源治 療	入院 患者 数				外来 患者 数	
1	★	更新	県立 医大	(3258) 4482	(27.9) 36.5	(276) 209	(7) 27	(11) 11	(6) 10	(0) 0	(13) 13	(0) 5	(3) 7	(2) 0	(27) 43	(0) 1	(665) 694	(13) 6	(266) 276	(186) 182	(26) 30	(24) 134	(0) 0
2		更新	坪井 病院	(1741) 1837	(51.3) 54.7	(77) 50	(5) 8	(0) 0	(5) 4	(0) 0	(11) 6	(16) 8	(1) 0	(3) 1	(3) 9	(0) 0	(143) 137	(0) 0	(100) 118	(41) 80	(2) 12	(170) 99	(0) 0
3		更新	太田 西ノ内	( - ) 3292	(8.9) 19.7	(174) 133	(5) 3	(4) 9	(22) 15	(0) 1	(28) 37	(5) 15	(4) 8	(18) 13	(6) 1	(0) 10	(403) 398	(0) 0	(423) 560	(274) 307	(4) 13	(61) 87	(1) 2
4		更新	南東 北	(2380) 2938	(23.4) 27.6	(149) 228	(5) 2	(4) 5	(22) 14	(1) 1	(23) 10	(67) 50	(1) 3	(0) 0	(2) 9	(0) 0	(317) 301	(5) 10	(159) 255	(571) 635	(3) 12	(1124) 505	(0) 0
5		更新	竹田 総合	(2760) 2241	(22) 18.6	(178) 158	(4) 1	(15) 8	(11) 13	(1) 1	(27) 18	(5) 0	(7) 0	(3) 1	(9) 6	(0) 2	(265) 213	(0) 0	(183) 207	( - ) 157	(8) 4	(28) 19	(0) 0
6		更新	会津 中央	(1729) 2125	(17.3) 20.8	(79) 75	(0) 4	(7) 0	(7) 13	(0) 0	(7) 8	(0) 0	(1) 1	(0) 0	(8) 6	(0) 1	(174) 193	(0) 14	(105) 97	(110) 58	(18) 7	(4) 9	(0) 0
7		更新	福島 労災	(1872) 1724	(32.4) 29.2	(71) 82	(0) 0	(0) 0	(13) 20	(1) 0	(30) 18	(7) 57	(2) 1	(7) 3	(4) 3	(0) 0	(114) 69	(0) 0	(22) 51	( - ) 69	(5) 7	(436) 419	(0) 0
8		新規	白河 厚生	1761	20.2	70	0	0	3	0	5	5	0	3	7	0	138	0	146	150	8	21	0
9		新規	磐城 共立	3114	22.9	121	6	10	12	3	16	0	2	3	3	0	264	0	225	224	9	8	0

# 福島県 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向



最多人口の県中医療圏では、②～④拠点病院が圏域内の多くのがん患者の医療を担うとともに、新たに県北圏域、依然として県南圏域のがん医療をカバーしなければならない。また、各々の拠点病院が有する放射線治療等高度医療機能は全県的に利用されており、3拠点病院において「がん診療連携フォーラム」を設置し、役割分担をしながら、がん診療に対応している。

県北医療圏に住むがん患者は、①の病院が受け持っているが、相双医療圏の北部の患者等も受療しており、また、都道府県がん診療連携拠点病院の役割も果たすことを考慮すると、①の病院の負担が大きい。

相双医療圏は依然として拠点病院の空白地域であり、この圏域のがん医療は他圏域の拠点病院に依存しなければならない。しかし、地理的に不便な県中医療圏への入通院を減らす対策が必要。

会津医療圏のがん医療を確保し、南会津医療圏のがん医療をカバーするために、引き続き⑤、⑥の2拠点病院体制を維持する必要がある。

いわき医療圏に住むがん患者の受入体制を強化し、さらに相双医療圏の特に南部のがん患者の医療を一層カバーするため、また茨城県のがん患者の通院圏域であることから、新たに⑨病院の指定が必要である。

南会津医療圏は依然として拠点病院の空白地域であるため、がん医療については引き続き、会津医療圏の⑤、⑥拠点病院でカバーする必要がある。

空白医療圏であったため、県中医療圏域の拠点病院がこの圏域のがん医療をカバーしていたが、新たに⑧病院を拠点病院として整備することにより、当該圏域内のがん医療を確保するとともに、県中医療圏および栃木県のがん患者の通院圏域として機能する必要がある。

- ① 医大附属病院★ (更新)
- ② 坪井病院 (更新)
- ③ 太田西ノ内病院 (更新)
- ④ 総合南東北病院 (更新)
- ⑤ 竹田綜合病院 (更新)
- ⑥ 会津中央病院 (更新)
- ⑦ 福島労災病院 (更新)
- ⑧ 白河厚生総合病院 (新規)
- ⑨ 磐城共立病院 (新規)

## 福島県におけるがん診療連携拠点病院の指定推薦について

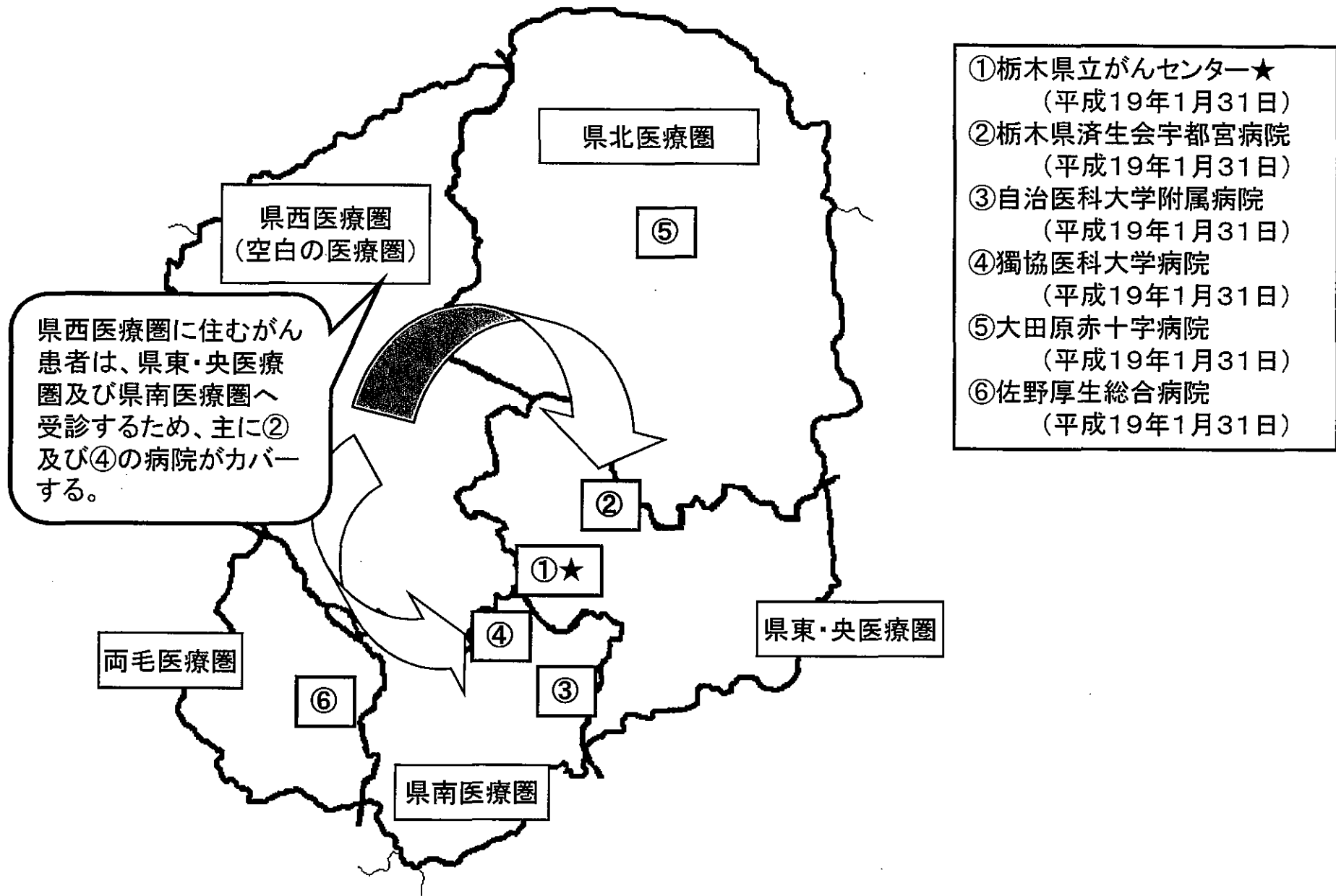
- 今般申請している9病院は、平成19年度に策定した「第5次福島県医療計画」において、集学的治療が可能であるなど専門的ながん診療を行う医療機関として位置付けられている。
- 本県には、現在、7つのがん診療連携拠点病院（20年度末までは8病院であったが、1病院が辞退）が存在するが、がん診療連携拠点病院が存在しない二次医療圏が存在すること、専門医等の確保が困難な状況が続いていることから、空白医療圏を中心に更なるがん診療連携拠点病院の整備を促進し、連携して包括的ながん医療の確保を図る必要がある。
- 「福島県地域がん医療検討会」において総合的に検討した結果、広大な面積を有する本県において、がんに罹患しても入院・在宅医療や回復・長期療養等、必要とするがん保健医療福祉サービスを適宜包括的に受けることが可能で、安心して生活を送ることができるよう、下記の理由から、今般申請のあった9箇所すべてを指定推薦することが妥当との結論に達した。

## 福島県におけるがん診療連携拠点病院の指定推薦について

- 1 これまで空白医療圏であった県南医療圏から新たな申請があった福島県厚生農業協同組合連合会白河厚生総合病院は是非推薦すべきであること。
- 2 県中圏域、会津圏域に加え、いわき圏域に複数のがん診療連携拠点病院を整備し、未だ空白圏域となっている相双圏域と南会津圏域をカバーするとともに、新たに県北圏域の一部をカバーする体制を整備することにより、引き続き都道府県がん診療連携拠点病院機能を担うべき福島県立医科大学附属病院に地域がん診療連携拠点病院の指導や関係者の研修機能等を一層発揮してもらう必要があること。
- 3 広大かつ中山間地域が多い等地理的特性を有する県内のがん医療の均てん化を図るには、9拠点病院が得意とする診療範囲・診療技術を最大限に活用するとともに、9拠点病院の緊密な連携により役割分担を図りながら、治療の初期段階からの緩和ケア推進、地域連携クリティカルパス導入促進、地域がん登録等情報の収集・分析・がん診療評価を行うためのシステム構築などを行うべきであること。

# 9 栃 木 県

# 栃木県 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向

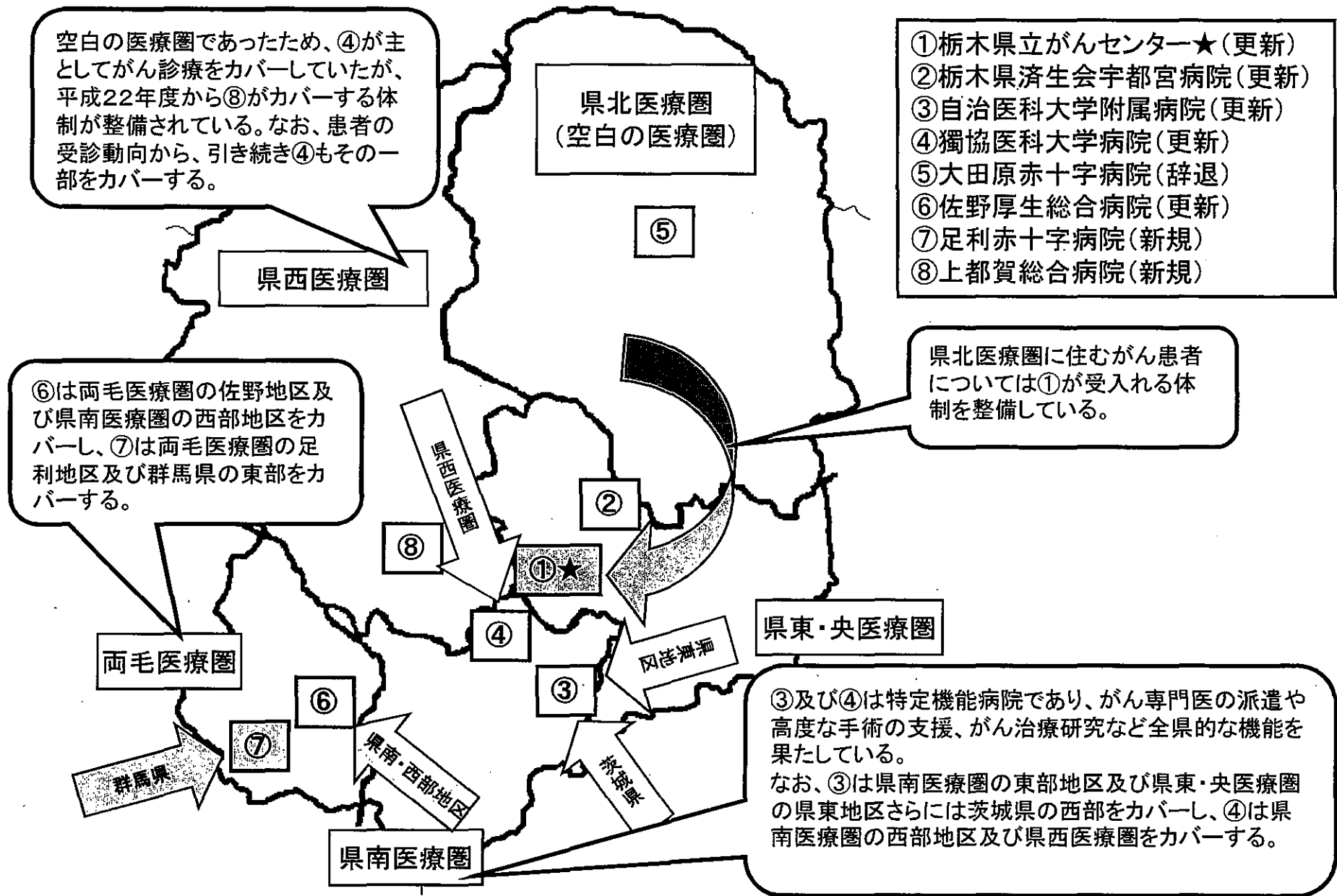


資料 2

※( )内は平成20年10月末提出の数値、下段は平成21年10月末提出の数値 ※申請区分は資料3の作成要領を参照のこと  
 ※一枚につき11病院を超える場合には、2枚にわたって表を作成してください。

都道府県 or 地域	申請 区分	病院名	年間入院患者 数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計											放射線治療		がんに係る薬 物療法(6月緩和 ケア ~7月の集 計)		相談 支援 セン ター	地域 連携 ター		
			年間新 入院が ん患者 数(1月 ~12 月)	年間 新入院 患者に 占める がん患 者の割 合(%)	悪性 腫瘍 手術 総数	肺がん		胃がん手術		大腸がん 手術		肝臓がん		乳がん		年間患者実 数 (1月~12月)		薬物療法 の べ患者数		緩和 ケア チー ムに 対す る新 規診 療依 頼数 (6~7 月の 集計)	相談 支援 セン ター 相 談件 数(6 ~7月 の集 計)	退院 時共 同指 導料2 (6~7 月の 集計)	
						開胸 手術	胸腔 鏡下 手術	開腹 手術	内視 鏡手 術粘 膜切 除術 (EM R)	開腹 手術	内視 鏡手 術	開腹 手術	ラジ オ波 焼灼 療法	乳癌 手術	乳房 再建 術(乳 房切 除後) 二期 的に 行う もの	体外 照射	小線 源治 療	入院 患者 数	外来 患者 数				
1	★	更新	栃木県立 がんセン ター	(4,310) 4,276	(91.7) 93.2	(174) 159	(8) 4	(5) 8	(18) 20	(3) 3	(21) 13	(9) 3	(6) 10	(2) 7	(27) 31	(0) 0	(731) 639	(45) 42	(541) 139 116	(14) 12	(759) 903	(0) 2	
2		更新	栃木県済 生会宇都 宮病院	(3,093) 3,011	(20.8) 20.6	(76) 198	(1) 2	(5) 20	(6) 10	(0) 0	(18) 25	(7) 11	(3) 10	(0) 0	(12) 20	(0) 0	(153) 306	(0) 0	(159) 127	(240) 258	(5) 8	(57) 50	(0) 0
3		更新	自治医科 大学附属 病院	(5,895) 5,818	(25.9) 26.0	(503) 536	(3) 6	(14) 21	(26) 25	(4) 7	(27) 24	(14) 16	(4) 4	(12) 8	(40) 19	(2) 1	(762) 1,125	(22) 35	(785) 1,175	(1,216) 1,374	(57) 57	(552) 452	(0) 0
4		更新	獨協医科 大学病院	(4,698) 6,190	(20.4) 26.5	(311) 292	(16) 15	(4) 6	(10) 19	(11) 0	(31) 31	(0) 4	(10) 17	(11) 9	(17) 15	(0) 0	(635) 658	(0) 0	(324) 413	(436) 500	(33) 48	(62) 64	(0) 0
5		辞退	大田原赤 十字病院	(1,010) 967	(14.3) 13.0	(64) 54	(1) 3	(0) 0	(8) 3	(0) 3	(11) 8	(2) 1	(0) 0	(0) 0	(9) 14	(0) 0	(35) 78	(0) 0	(68) 60	(65) 72	(8) 9	(45) 36	(0) 0
6		更新	佐野厚生 総合病院	(1,378) 1,239	(16.5) 15.7	(119) 56	(1) 0	(2) 3	(9) 10	(9) 3	(15) 12	(47) 5	(1) 0	(3) 2	(10) 7	(0) 0	(101) 93	(0) 0	(84) 52	(320) 72	(11) 10	(42) 67	(0) 0
7		新規	足利赤十 字病院	2,059	19.9	169	0	5	8	1	17	6	2	0	7	0	239	0	106	150	4	41	0
8		新規	上都賀総 合病院	1,159	25.1	31	0	0	7	0	4	1	0	0	4	0	50	0	16	25	6	26	0

# 栃木県 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向





# 栃木県 指定推薦等に係る考え方について

## 1. 交通事情及び人口規模等から県内に7～8箇所の拠点病院が必要

本県の状況は、地理的に県内外からの交通アクセスが良く、県内の医療機関には医療圏域や県域を越えてがん患者が受診している。しかし、人口規模が同じ200万人程度の他県と比較すると、1医療圏当たり及び1拠点病院当たりの人口が平均を大きく上回っており、がん医療の均てん化を推進するためには、人口25～30万人当たりの圏域に1箇所、すなわち県全体で7～8箇所の拠点病院が必要である。

## 2. 都道府県拠点病院・特定機能病院・地域拠点病院による重層的な整備と効果(別紙参照)

都道府県拠点病院及び特定機能病院による全県的な機能(がん診療に携わる医療従事者の育成、がん専門医の派遣、高度先進医療の提供、がん治療の研究等)や、地域拠点病院による地域レベルの機能(地域におけるがん医療の提供、放射線療法及び化学療法の推進、緩和ケアの推進等)を重層的に整備し、相互の連携の下でその機能を効果的に発揮することによりがん医療水準の向上、患者に密接したがん医療等を充実させることができる。

(主な効果)

- ①がん医療の均てん化の推進及びがん医療の質の向上(がんによる死亡者数の減少...H29年度までに20%減少)
- ②地域との連携強化(地域連携クリティカルパスの整備等...H24年度までに8病院)
- ③緩和ケアの充実(緩和ケア研修会を修了した医師...H24年度までに1,000人)
- ④患者及び家族に対する支援(拠点病院を中心としたネットワークの構築や相談・支援センターの充実・強化)
- ⑤がん登録事業の一層の推進(DCO割合...H24年度までに25%以下)

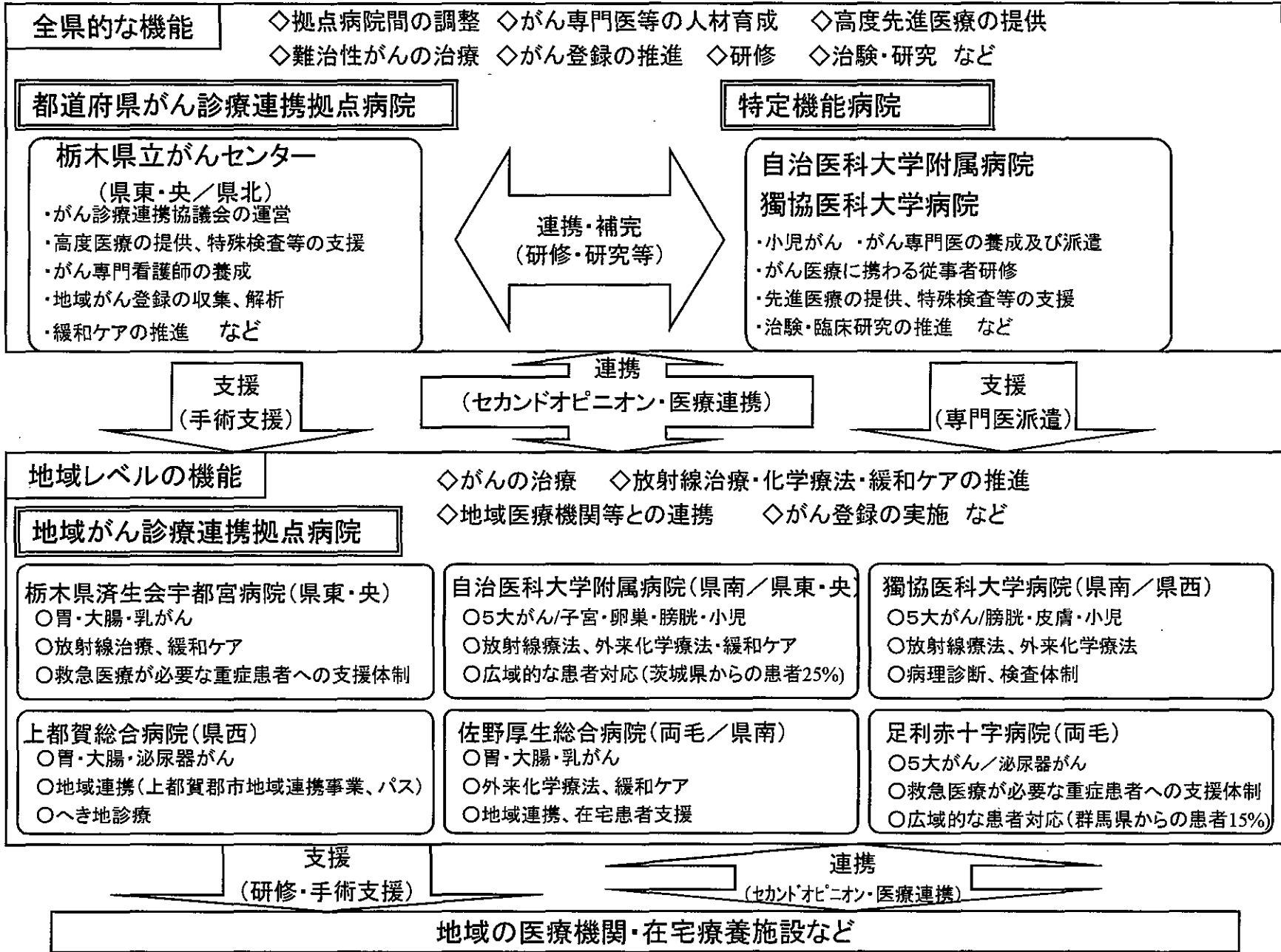
## 3. 各圏域を担当する拠点病院(別紙参照)

- ①県東・中央医療圏:本県の人口の1/3を有する医療圏。患者の受療動向や交通アクセス等から、従来どおり都道府県拠点病院である県立がんセンター及び地域拠点病院である済生会宇都宮病院が担当。
- ②県南医療圏:人口密度が県内で一番高い医療圏。患者の受療動向や交通アクセス等から、従来どおり特定機能病院として2つの大学病院(自治医科大学附属病院・獨協医科大学病院)が担当。
- ③県北医療圏:指定を受けていた大田原赤十字病院が指定要件を具備せず、今回、拠点病院として推薦しないこととなったが、患者の受療動向及び交通アクセス等から県立がんセンターがカバー。
- ④県西医療圏:医療圏の面積が一番広く、過疎地域を包含している医療圏。地域との連携体制が整っていること及びへき地診療を実施していること等から新たに上都賀総合病院が担当。
- ⑤両毛医療圏:群馬県と隣接しており交通アクセスも良いことから生活圏が栃木県を超えて構成されている医療圏。従来より指定を受けている佐野厚生総合病院及び新たに足利赤十字病院が担当するが、佐野厚生総合病院については地域に密着した在宅患者支援及び合併症や複雑な病態の患者に対応することができ、足利赤十字病院については県域を越えた広域的な患者及び救急医療が必要な患者に対応することができる等、医療機関の役割分担がなされている。

## 4. がん患者や家族代表等を構成員とする検討会により推薦病院を決定

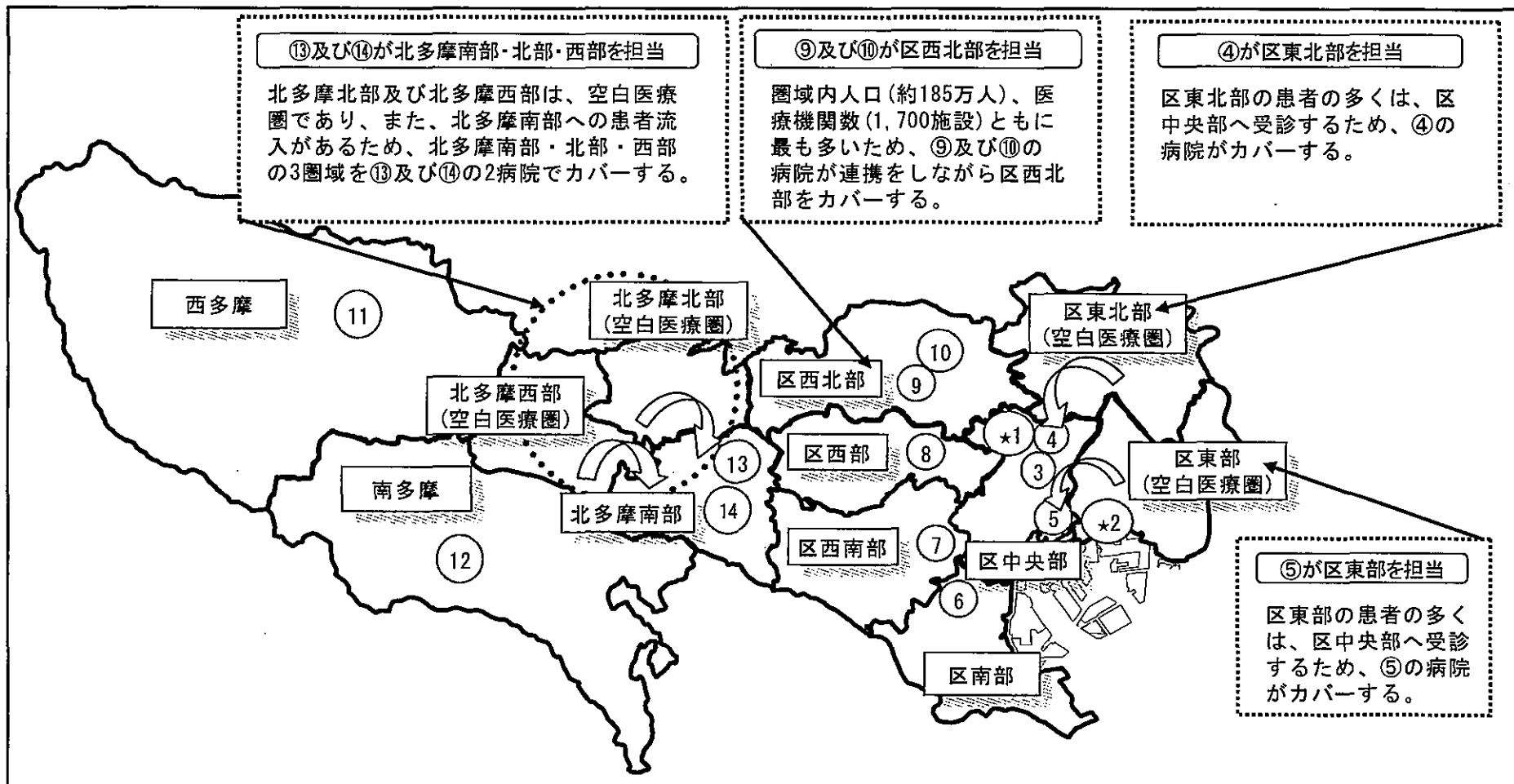
今回の拠点病院の選考にあたり、臨床医はもとより学識経験者やがん患者・家族の代表等で構成する「栃木県がん総合対策検討会」に諮った上で、国に推薦する病院を決定した。

# 栃木県のがん診療連携体制



# 1 3 東 京 都

# 東京都 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向



- |                |             |                   |             |
|----------------|-------------|-------------------|-------------|
| ① 東京都立駒込病院★    | (平成20年2月8日) | ⑧ 東京女子医科大学病院      | (平成20年2月8日) |
| ② 癌研究会有明病院★    | (平成20年2月8日) | ⑨ 日本大学医学部附属板橋病院   | (平成20年2月8日) |
| ③ 東京大学医学部附属病院  | (平成20年2月8日) | ⑩ 帝京大学医学部附属病院     | (平成20年2月8日) |
| ④ 日本医科大学付属病院   | (平成20年2月8日) | ⑪ 青梅市立総合病院        | (平成20年2月8日) |
| ⑤ 聖路加国際病院      | (平成20年2月8日) | ⑫ 東京医科大学八王子医療センター | (平成20年2月8日) |
| ⑥ NTT東日本関東病院   | (平成20年2月8日) | ⑬ 武蔵野赤十字病院        | (平成20年2月8日) |
| ⑦ 日本赤十字社医療センター | (平成20年2月8日) | ⑭ 杏林大学医学部付属病院     | (平成20年2月8日) |

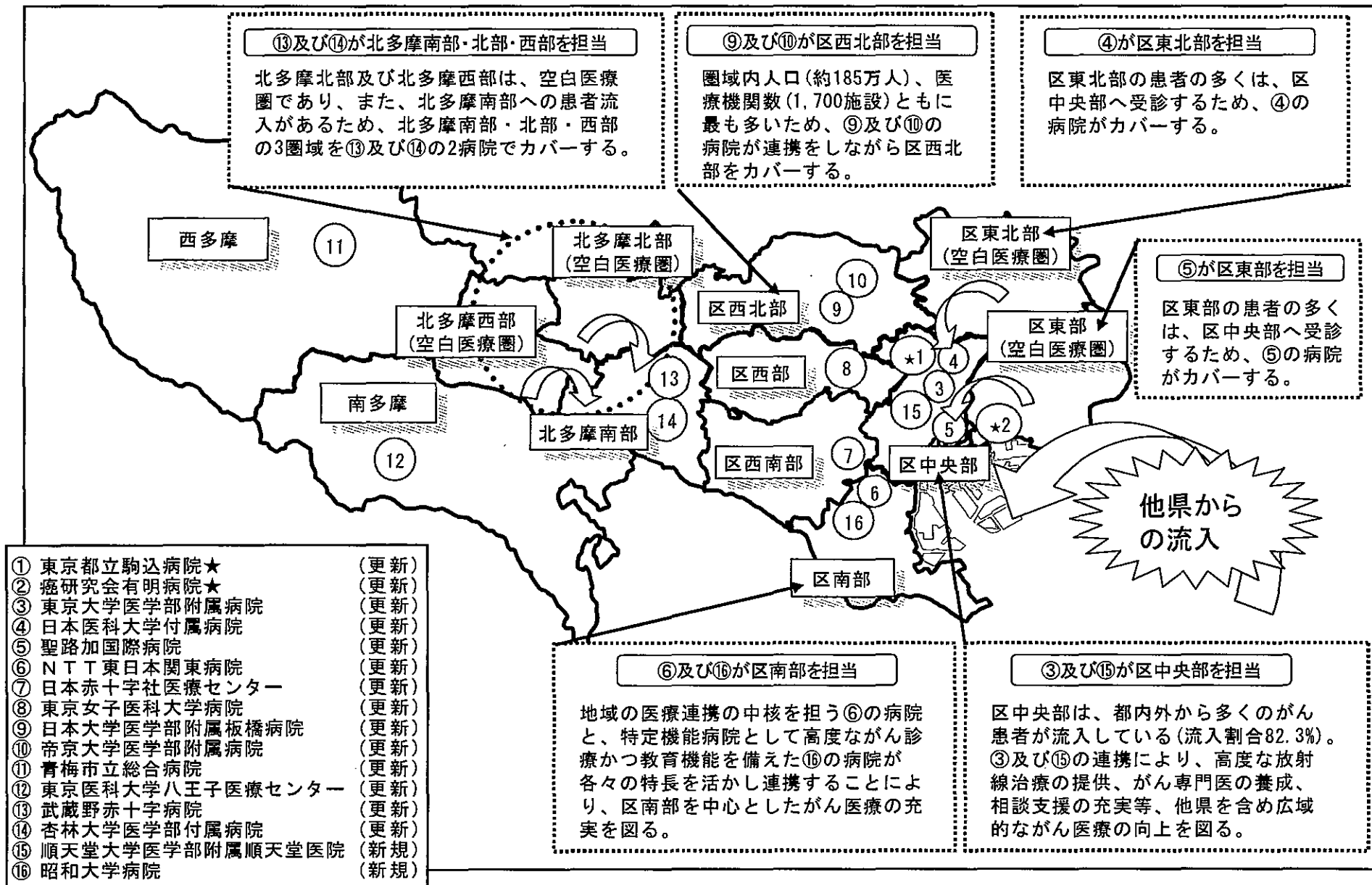
資料 2

※( )内は平成20年10月末提出の数値、下段は平成21年10月末提出の数値 ※申請区分は資料3の作成要領を参照のこと  
 ※一枚につき11病院を超える場合には、2枚にわたって表を作成してください。

都道府県 or 地域	申請 区分	更新	病院名	年間入院患者 数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計											放射線治療		がんに係る 薬物療法 (6月~7月 の集計)		緩和 ケア	相談 支援 セン ター	地域 連携
				年間新 入院が ん患者 数(1月 ~12 月)	年間 新入 院者 数に 占め るが ん患 者の 割合 (%)	悪性 腫瘍 手術 総数	肺がん		胃がん手術		大腸がん 手術		肝臓がん		乳がん		年間患者 実数 (1月~12月)		薬物療法の べ患者数		緩和 ケア チーム 対す る新 規診 療依 頼数 (6~7 月の 集計)	相談 支援 セン ター 相 談件 数(6 ~7月 の集 計)	退院 時共 同指 導料 2 (6~7 月の 集計)
							開胸 手術	胸腔 鏡下 手術	開腹 手術	内視 鏡手 術粘 膜切 除術 (EMR)	開腹 手術	内視 鏡手 術	開腹 手術	ラジ オ波 焼灼 療法	乳癌 手術	乳房 再建 術(乳 房切 除後) 二期 的に 行う もの	体外 照射	小線 源治 療	入院 患者 数	外来 患者 数			
1	★	更新	都立駒込病院	(8291) 8475	(59.7) 62.1	(650) 397	(2) 3	(30) 25	(18) 27	(0) 8	(40) 65	(75) 0	(3) 9	(0) 1	(40) 52	(12) 2	(1151) 1065	(30) 43	(266) 521	(512) 537	(64) 30	(3186) 2580	(0) 11
2	★	更新	癌研有明病院	(10884) 11889	(84.7) 85.8	(1018) 900	(34) 21	(35) 44	(29) 49	(16) 59	(43) 31	(12) 30	(10) 32	(0) 9	(203) 221	(22) 0	(1691) 1672	(268) 104	(832) 1109	(1293) 3940	(151) 70	(969) 1444	(0) 0
3		更新	東大病院	(7988) 8736	(32.0) 34.0	(352) 528	(5) 8	(17) 13	(35) 18	(1) 1	(25) 17	(10) 17	(33) 22	(168) 159	(22) 29	(0) 0	(847) 932	(52) 61	(492) 551	(284) 377	(56) 107	(62) 74	(3) 0
4		更新	日医大病院	(5040) 5322	(29.0) 30.8	(381) 454	(3) 9	(12) 13	(8) 9	(2) 0	(13) 8	(1) 0	(9) 0	(5) 8	(21) 23	(1) 0	(670) 728	(67) 75	(288) 302	(618) 342	(15) 24	(39) 214	(0) 1
5		更新	聖路加病院	(3325) 3346	(20.5) 20.6	(278) 275	(3) 6	(0) 0	(8) 12	(1) 0	(24) 3	(11) 19	(2) 0	(3) 3	(125) 139	(1) 0	(860) 824	(27) 15	(115) 116	(404) 459	(30) 23	(114) 434	(1) 0
6		更新	NTT関東病院	(5149) 5342	(32.9) 33.5	(178) 301	(8) 10	(11) 14	(16) 17	(0) 0	(29) 30	(18) 20	(1) 1	(48) 52	(14) 9	(0) 0	(680) 687	(0) 0	(454) 445	(324) 448	(16) 35	(935) 884	(0) 0
7		更新	日赤医療C	(3112) 3768	(20.2) 23.3	(241) 181	(2) 4	(1) 1	(8) 13	(0) 0	(22) 29	(1) 0	(10) 18	(13) 0	(12) 15	(0) 0	(527) 632	(0) 0	(216) 234	(402) 246	(41) 37	(103) 161	(5) 9
8		更新	東京女子医大	(5581) 5748	(24.0) 24.2	(486) 412	(1) 2	(13) 29	(30) 21	(2) 0	(23) 30	(4) 4	(17) 14	(13) 20	(40) 34	(0) 0	(1172) 987	(56) 83	(291) 323	(562) 756	(13) 15	(117) 738	(5) 7

都道府県 or 地域	申請 区分	病院名	年間入院患者数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計										放射線治療		がんに係る 薬物療法 (6月~7月 の集計)		緩和 ケア	相談 支援 センター	地域 連携	
			年間 新 入院 患者 数(1 月~1 2月)	年間 新 入院 患者 数に 占める がん 患者 の割 合 (%)	悪 性 腫 瘍 手 術 総 数	肺がん		胃がん手術		大腸がん 手術		肝臓がん		乳がん		年間患者 実数 (1月~12月)		薬物療法の べ患者数		緩和 ケア チ ーム に 対 す る 新 規 診 療 依 頼 数 (6~7 月の 集計)	相談 支 援 セ ン タ ー 相 談 件 数 (6~7 月の 集計)	退 院 共 同 指 導 料 2 (6~7 月の 集計)
						開胸 手術	胸腔 鏡下 手術	開腹 手術	内視 鏡手 術 粘 膜 切 除 術 (EMR)	開腹 手術	内視 鏡手 術	開腹 手術	ラジ オ波 焼 灼 療 法	乳 癌 手 術	乳房 再 建 術 (乳 房 切 除 後) 二 期 的 に 行 う も の	体 外 照 射	小 線 源 治 療	入 院 患 者 数	外 来 患 者 数			
9	更新	日大板橋病院	(4245) 4334	(22.9) 24.0	(265) 201	(6) 6	(1) 1	(4) 8	(0) 0	(15) 21	(5) 2	(20) 21	(1) 0	(29) 37	(0) 1	(568) 661	(18) 11	(242) 330	(226) 650	(22) 9	(64) 103	(0) 0
10	更新	帝京大病院	(2587) 3243	(17.0) 19.1	(204) 246	(0) 0	(18) 9	(8) 11	(0) 1	(20) 8	(0) 1	(7) 9	(3) 0	(19) 32	(0) 0	(433) 547	(85) 12	(236) 209	(182) 225	(11) 30	(476) 274	(0) 0
11	更新	青梅市立病院	(2917) 2378	(25.0) 20.4	(92) 93	(4) 7	(0) 0	(13) 6	(0) 4	(15) 19	(3) 2	(0) 1	(3) 2	(7) 16	(0) 0	(202) 192	(8) 2	(98) 114	(264) 202	(22) 11	(84) 102	(0) 0
12	更新	八王子医療C	(2533) 2861	(21.0) 22.1	(181) 175	(21) 12	(3) 0	(10) 10	(0) 3	(15) 13	(2) 0	(7) 3	(1) 0	(20) 25	(0) 0	(419) 447	(0) 0	(197) 170	(154) 176	(40) 41	(57) 35	(0) 0
13	更新	武蔵野赤十字	(3427) 3530	(20.2) 20.2	(217) 333	(5) 4	(12) 1	(16) 18	(2) 0	(30) 30	(38) 79	(6) 0	(33) 60	(28) 38	(0) 0	(403) 420	(0) 0	(216) 534	(174) 268	(41) 17	(363) 671	(1) 0
14	更新	杏林大病院	(3549) 3284	(17.6) 15.5	(254) 163	(5) 16	(0) 8	(7) 7	(1) 1	(10) 35	(2) 6	(0) 6	(2) 9	(21) 36	(0) 0	(452) 563	(32) 28	(419) 403	(543) 424	(23) 30	(176) 351	(0) 0
15	新規	順天堂医院	5338	23.7	367	1	54	21	0	17	19	10	2	78	0	800	38	315	666	49	133	0
16	新規	昭和大病院	3795	23.6	243	1	5	7	6	5	6	6	4	22	0	566	68	267	171	37	228	0

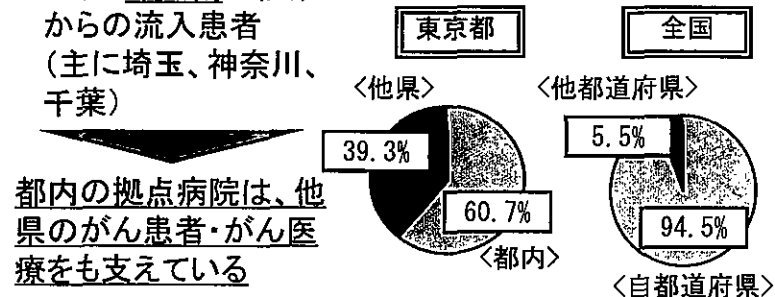
# 東京都 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向



他道府県からの患者流入割合が約40%

- 拠点病院のがん患者のうち約4割が他県からの流入患者（主に埼玉、神奈川、千葉）

拠点病院におけるがん患者の診断時居住都道府県



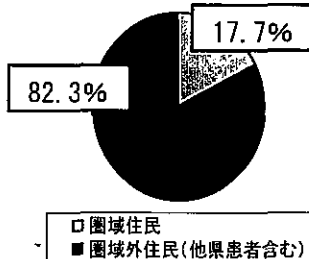
都内の拠点病院は、他県のがん患者・がん医療をも支えている

二次医療圏を越えた受療動向

- 全国最多の医療機関数、交通網の発達  
⇒ 医療機関の診療圏域が交錯

区中央部のがん患者流入割合

- 特に、区中央部においては、約8割が他圏域からの患者



都の人口・がん患者数は全国的に突出

- 都の人口 約1,300万人
- 都民の総がん患者数 約13万5千人
- 医療圏の平均人口 約97万人  
⇒ 全国平均(約37万人)の約2.6倍  
⇒ 人口規模が100万人を越える医療圏:  
区西北部(約185万人)、区南部(約105万人)、  
区西南部(約134万人)など、7医療圏



- 都内共通の地域連携パスの整備  
(24の拠点病院・認定病院、国立がんセンター中央病院及び都医師会が協力し、検討・作成)
- 医師緩和ケア研修の充実
- 東京都がん診療連携協議会 による連携

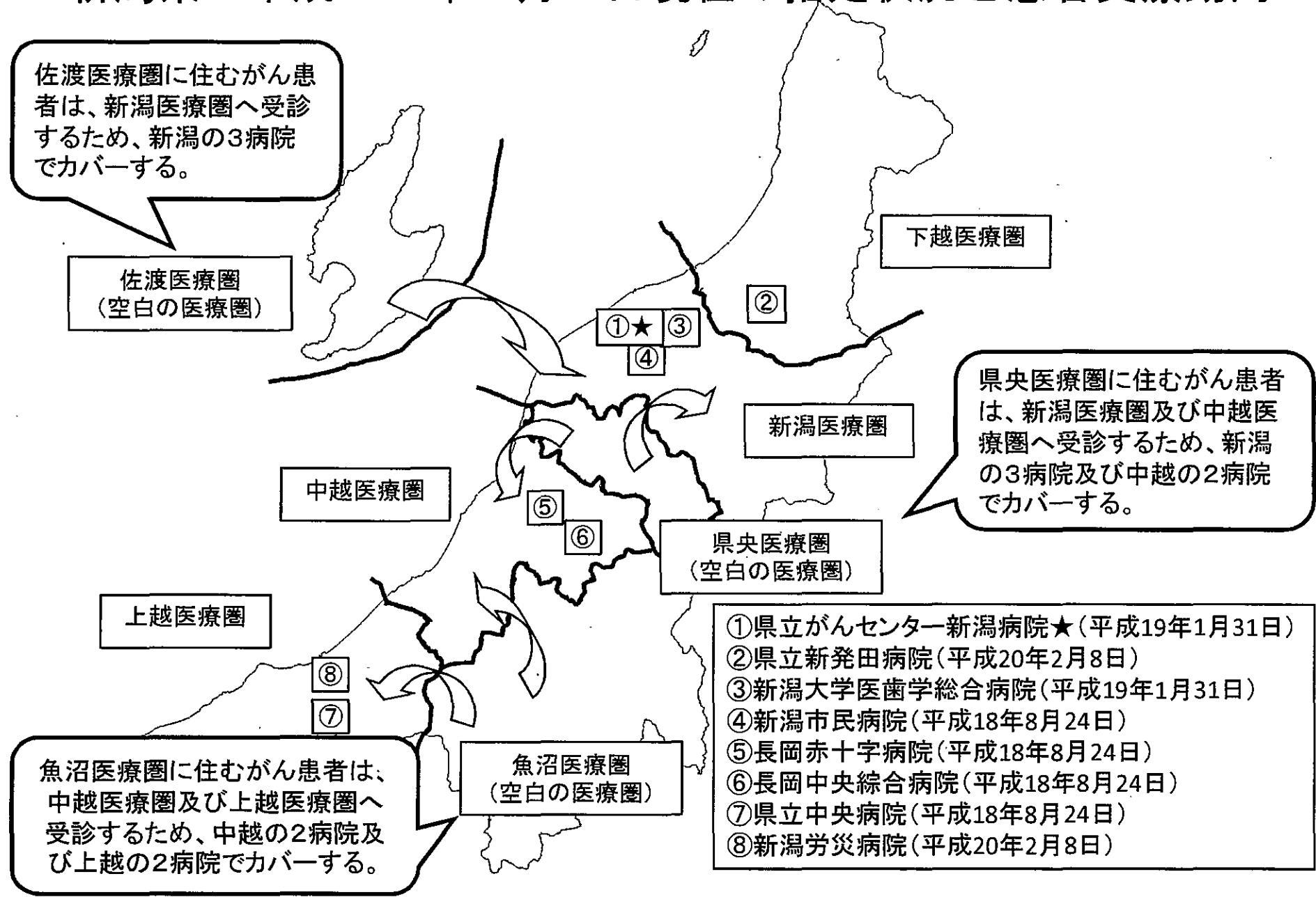
- 都における拠点病院の充実
- 人口、患者の受療動向など、都の地域特性を踏まえ、  
⇒ 都道府県拠点2病院、  
地域拠点14病院 を推薦

二次医療圏を単位としたがん医療連携を基本としつつ、都内共通の地域連携パス（本年2月から5大がんの地域連携パス試行版を運用）を活用するなどして、力のある病院を中心に圏域を越えた網目状のネットワークを構築し、都全域におけるがん医療水準の向上を図っていく。



# 1 5 新 潟 県

# 新潟県 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向

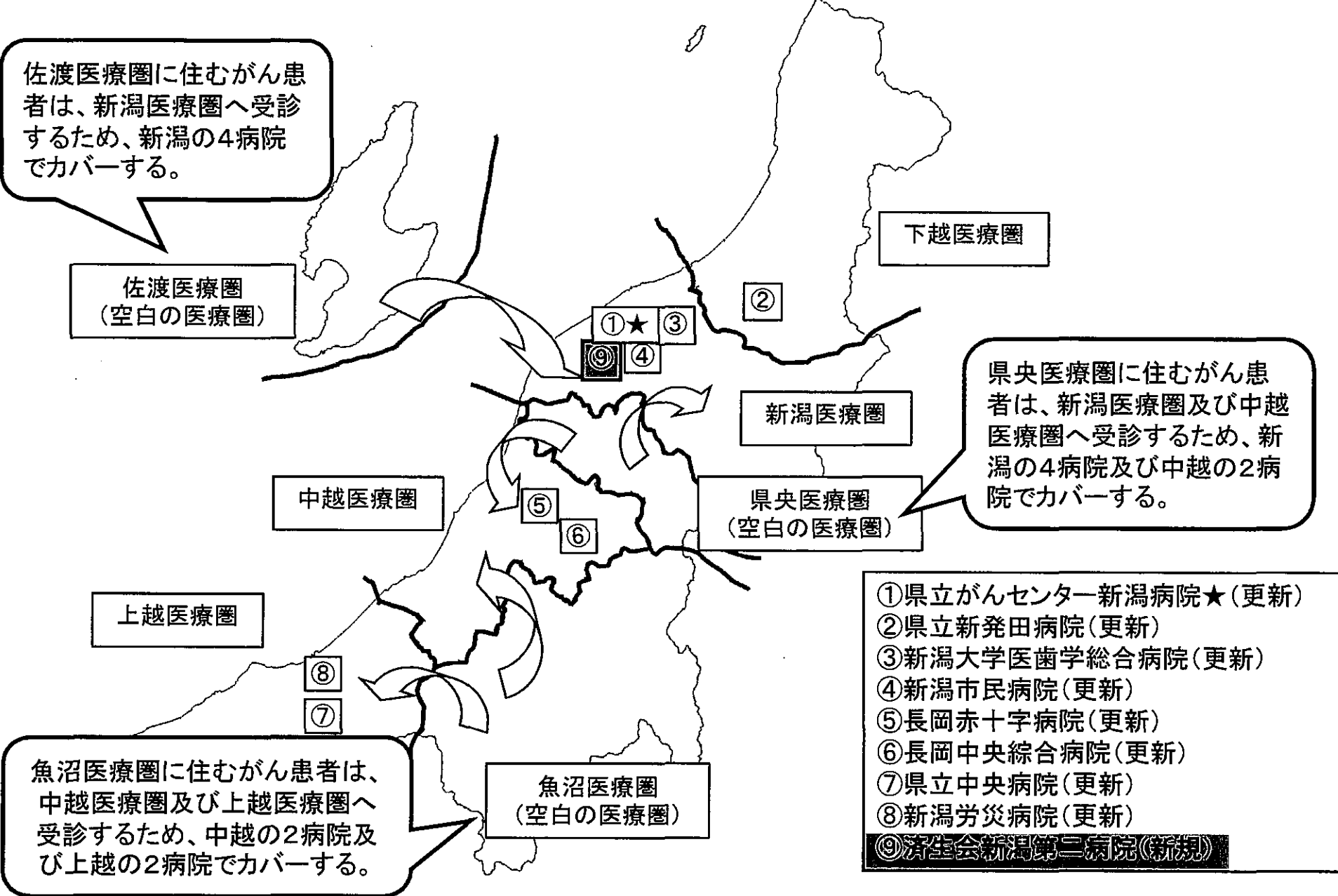


資料2

※( )内は平成20年10月末提出の数値、下段は平成21年10月末提出の数値 ※申請区分は資料3の作成要領を参照のこと  
 ※一枚につき11病院を超える場合には、2枚にわたって表を作成してください。

No.	都道府県 or 地域	申請区分	病院名	年間入院患者数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計											放射線治療		がんに係る薬物療法(6月~7月の集計)		緩和ケア	相談支援センター	地域連携
				年間新入院がん患者数(1月~12月)	年間新入院患者数に占めるがん患者の割合(%)	悪性腫瘍手術総数	肺がん		胃がん手術		大腸がん手術		肝臓がん		乳がん		年間患者実数(1月~12月)		薬物療法のべ患者数				
							開胸手術	胸腔鏡下手術	開腹手術	内視鏡手術粘膜炎切除術(EMR)	開腹手術	内視鏡手術	開腹手術	ラジオ波焼灼療法	乳癌手術	乳房再建術(乳房切除後)二期的に行うもの	体外照射	小線源治療	入院患者数	外来患者数			
1	★	更新	県立がんセンター新潟病院	(9,904) 9,506	(88.0) 85.7	(300) 391	(21) 32	(14) 13	(36) 37	(1) 1	(47) 33	(96) 24	(10) 2	(0) 4	(55) 67	(0) 0	(1,189) 1,163	(95) 200	(435) 467	(290) 643	(18) 4	(811) 400	(7) 7
2		更新	県立新発田病院	(2,217) 2,275	(22.3) 22.7	(89) 150	(6) 6	(0) 1	(13) 26	(0) 0	(18) 11	(4) 1	(1) 1	(0) 6	(7) 17	(0) 0	(218) 266	(0) 0	(178) 184	(202) 389	(6) 3	(16) 24	(0) 0
3		更新	新潟大学医歯学総合病院	(1,541) 1,607	(12.7) 13.4	(371) 250	(7) 8	(1) 2	(7) 7	(0) 0	(4) 9	(9) 8	(3) 8	(13) 8	(14) 15	(1) 0	(438) 408	(20) 22	(214) 192	(154) 168	(4) 7	(2) 337	(0) 0
4		更新	新潟市民病院	(796) 966	(5.8) 4.6	(130) 139	(7) 6	(0) 1	(8) 6	(0) 0	(2) 27	(0) 12	(7) 5	(0) 0	(24) 29	(0) 0	(205) 293	(0) 0	(243) 174	(94) 257	(9) 7	(16) 54	(0) 0
5		更新	長岡赤十字病院	(3,516) 3,866	(25.4) 27.3	(100) 145	(17) 13	(1) 14	(9) 13	(0) 1	(11) 10	(40) 42	(0) 2	(0) 4	(22) 26	(0) 0	(383) 387	(0) 0	(343) 506	(261) 366	(18) 15	(105) 260	(0) 0
6		更新	長岡中央総合病院	(3,393) 3,627	(26.8) 27.0	(230) 239	(2) 1	(7) 19	(24) 13	(21) 1	(25) 13	(6) 19	(1) 3	(0) 0	(5) 12	(1) 1	(0) 203	(0) 0	(235) 178	(131) 179	(7) 3	(76) 43	(0) 0
7		更新	県立中央病院	(1,806) 2,606	(17.7) 25.8	(33) 140	(6) 12	(4) 0	(18) 13	(3) 0	(15) 21	(0) 0	(3) 2	(0) 0	(10) 14	(0) 0	(410) 394	(0) 0	(139) 128	(174) 209	(3) 2	(34) 20	(3) 0
8		更新	新潟労災病院	(1,102) 640	(18.3) 11.4	(53) 85	(4) 1	(4) 2	(5) 6	(0) 0	(4) 9	(0) 0	(0) 1	(0) 2	(2) 0	(0) 0	(0) 36	(0) 0	(26) 33	(74) 54	(1) 5	(134) 90	(0) 0
9		新規	済生会新潟第二病院	(2,282) 2,447	(24.2) 26.1	(106) 129	(7) 5	(2) 0	(5) 11	(0) 2	(12) 18	(1) 3	(4) 0	(22) 33	(8) 10	(2) 0	(146) 136	(0) 0	(340) 79	(232) 129	(3) 2	(202) 213	(0) 0

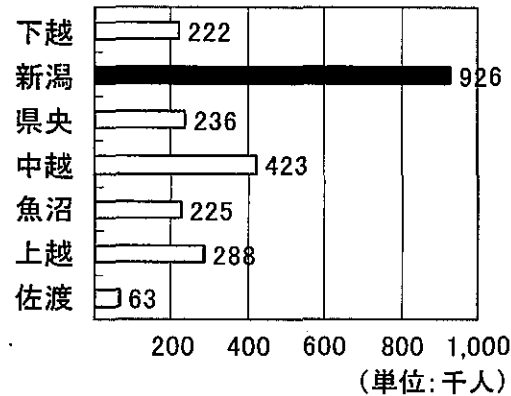
# 新潟県 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向



# 新潟県 指定推薦等に係る考え方

## 1 医療提供体制、相談支援等の充実

【医療圏別の人口】



【患者の受療動向】

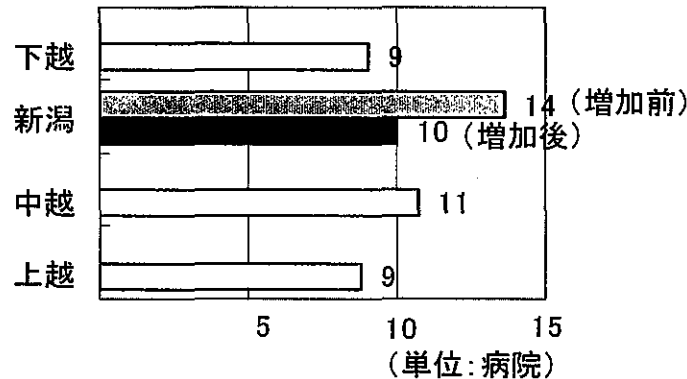
患者住所	医療機関所在地							総計
	下越	新潟	県央	中越	魚沼	上越	佐渡	
下越	1,158	590		1				1,749
新潟	118	4,883	90	3				5,094
県央	1	605	342	178				1,126
中越		208	27	1,022	17	5		1,279
魚沼		180		158	496	25		859
上越	2	124	1	4	1	1,092		1,224
佐渡		206					49	255
総計	1,279	6,796	460	1,366	514	1,122	49	11,586

○ 当県の人口は、新潟医療圏に集中しています(県全体の約39%)。また、新潟圏域内の医療機関を受診する患者のうち、約28%が他圏域に居住する患者であり、患者の流入が非常に多くなっています。

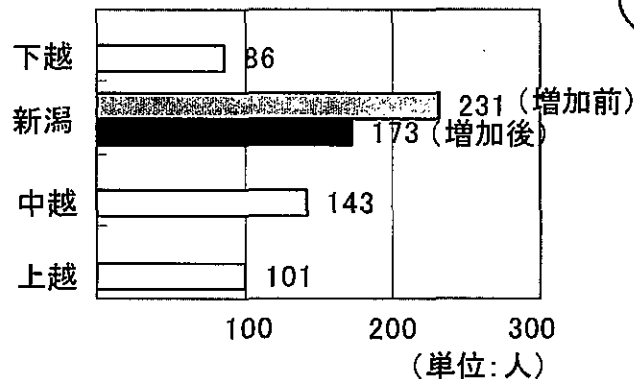
○ 空白医療圏である県央・魚沼・佐渡の患者は、隣接医療圏の医療機関を受診する傾向にあります。

## 2 連携協力体制等の一層の推進

【1拠点病院あたりの病院数】



【1拠点病院あたりのがん診療に携わる医師数】

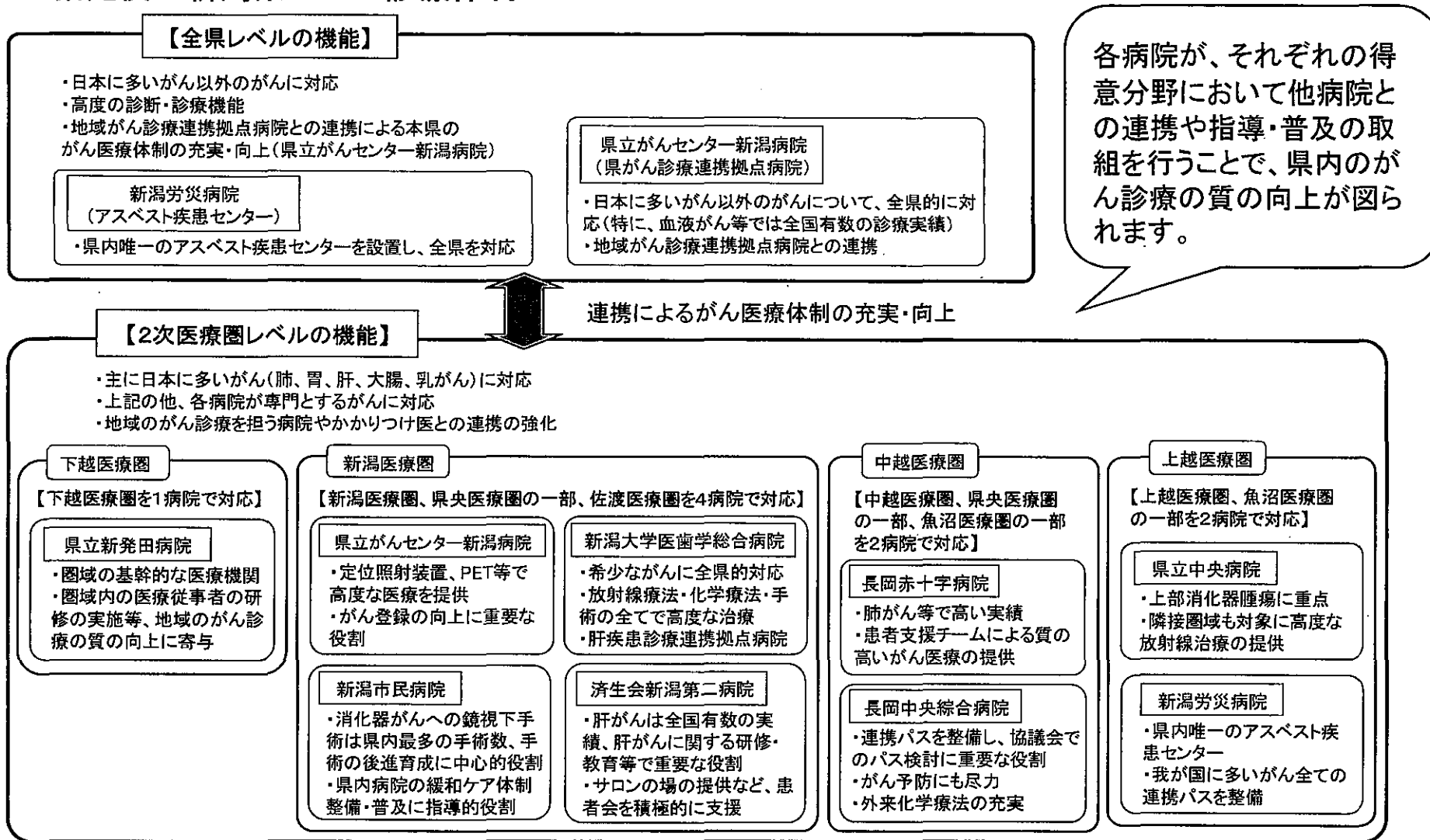


新潟医療圏に  
1病院増加

患者がより身近な地域で質の高いがん医療を受けられるとともに、各病院の診療機能を生かした連携体制の構築及び緩和ケア研修体制の推進等が一層図られます。

病院数、医師数が新潟医療圏の医療機関に集中しています。

### 3 指定後の新潟県のがん診療体制

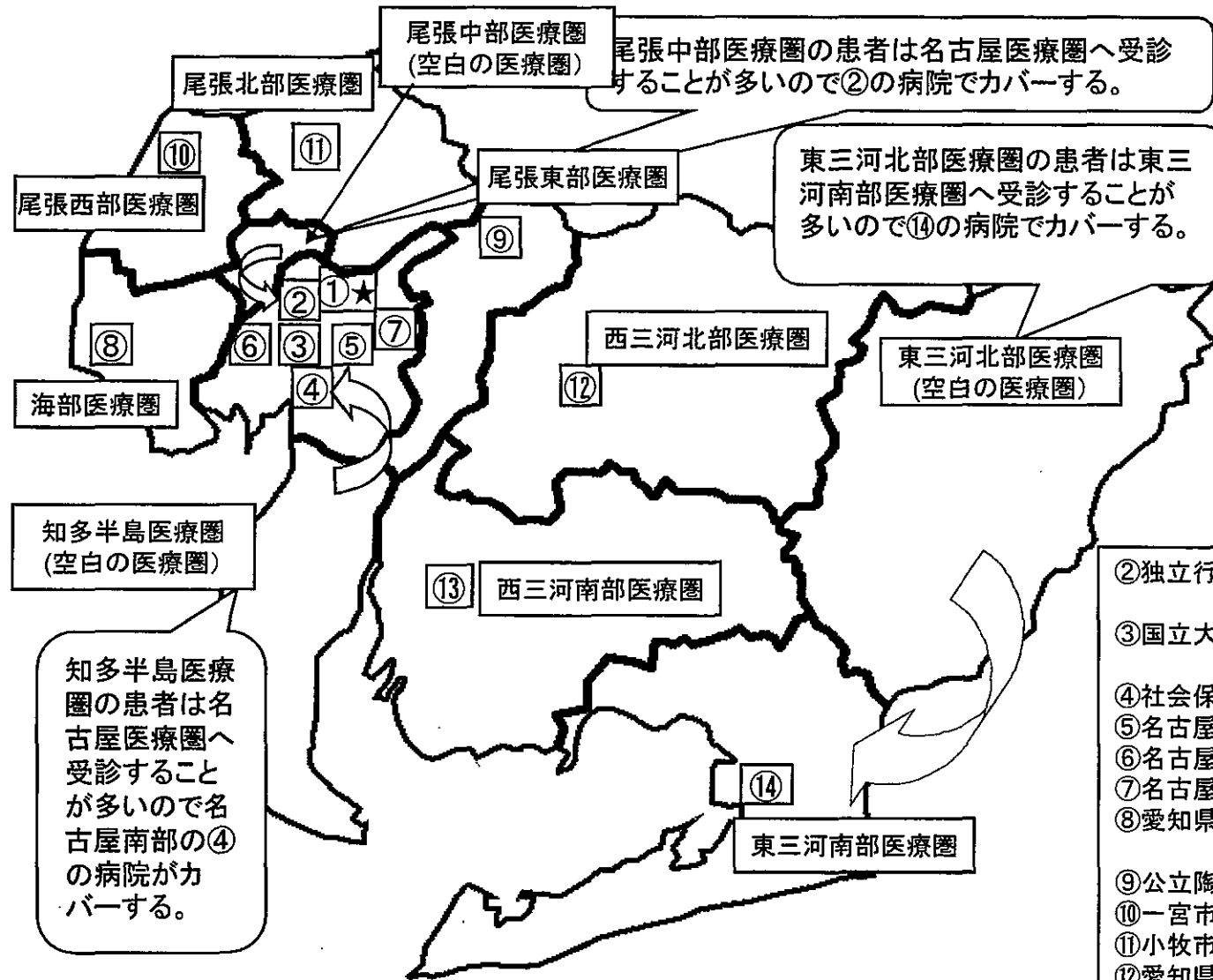


### 4 指定要件(原則)を満たしていない病院

- (1) 病院名 長岡中央総合病院
- (2) 未充足項目 放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する専従又は専任医師の配置(原則常勤)
- (3) 充足状況等 現在、医師を4名配置し、問題なく医療を提供しているが、いずれも非常勤医師である。当該病院としては、今後とも早期の常勤化を目指して新潟大学に働きかけを行っていくこととしている。

# 23 愛知県

# 愛知県 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向



尾張中部医療圏 (空白の医療圏) 尾張中部医療圏の患者は名古屋医療圏へ受診することが多いので②の病院でカバーする。

東三河北部医療圏の患者は東三河南部医療圏へ受診することが多いので⑭の病院でカバーする。

名古屋医療圏の複数指定  
2つの大学病院は、豊富な人材と高度な診療能力で都道府県拠点病院を補佐する。他の4病院は名古屋市を東西南北の4地域に分割し、それぞれの得意な分野で、地域にとどまらず県全体のがん医療の拠点としての役割を担う。また、2つの空白医療圏をカバーする。

知多半島医療圏 (空白の医療圏)  
知多半島医療圏の患者は名古屋医療圏へ受診することが多いので名古屋南部の④の病院がカバーする。

- ②独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター (平成20年2月8日)
- ③国立大学法人 名古屋大学医学部附属病院 (平成19年1月31日)
- ④社会保険中京病院 (平成19年1月31日)
- ⑤名古屋市立大学病院 (平成20年2月8日)
- ⑥名古屋第一赤十字病院 (平成20年2月8日)
- ⑦名古屋第二赤十字病院 (平成20年2月8日)
- ⑧愛知県厚生農業共同組合連合会海南病院 (平成20年2月8日)
- ⑨公立陶生病院 (平成19年1月31日)
- ⑩一宮市立市民病院 (平成19年1月31日)
- ⑪小牧市民病院 (平成20年2月8日)
- ⑫愛知県厚生農業共同組合連合会豊田厚生病院 (平成19年1月31日)
- ⑬愛知県厚生農業共同組合連合会安城更生病院 (平成20年2月8日)
- ⑭豊橋市民病院 (平成20年2月8日)

①愛知県がんセンター中央病院★ (平成19年1月31日)



資料 2 - 1

※( )内は平成20年10月末提出の数値、下段は平成21年10月末提出の数値

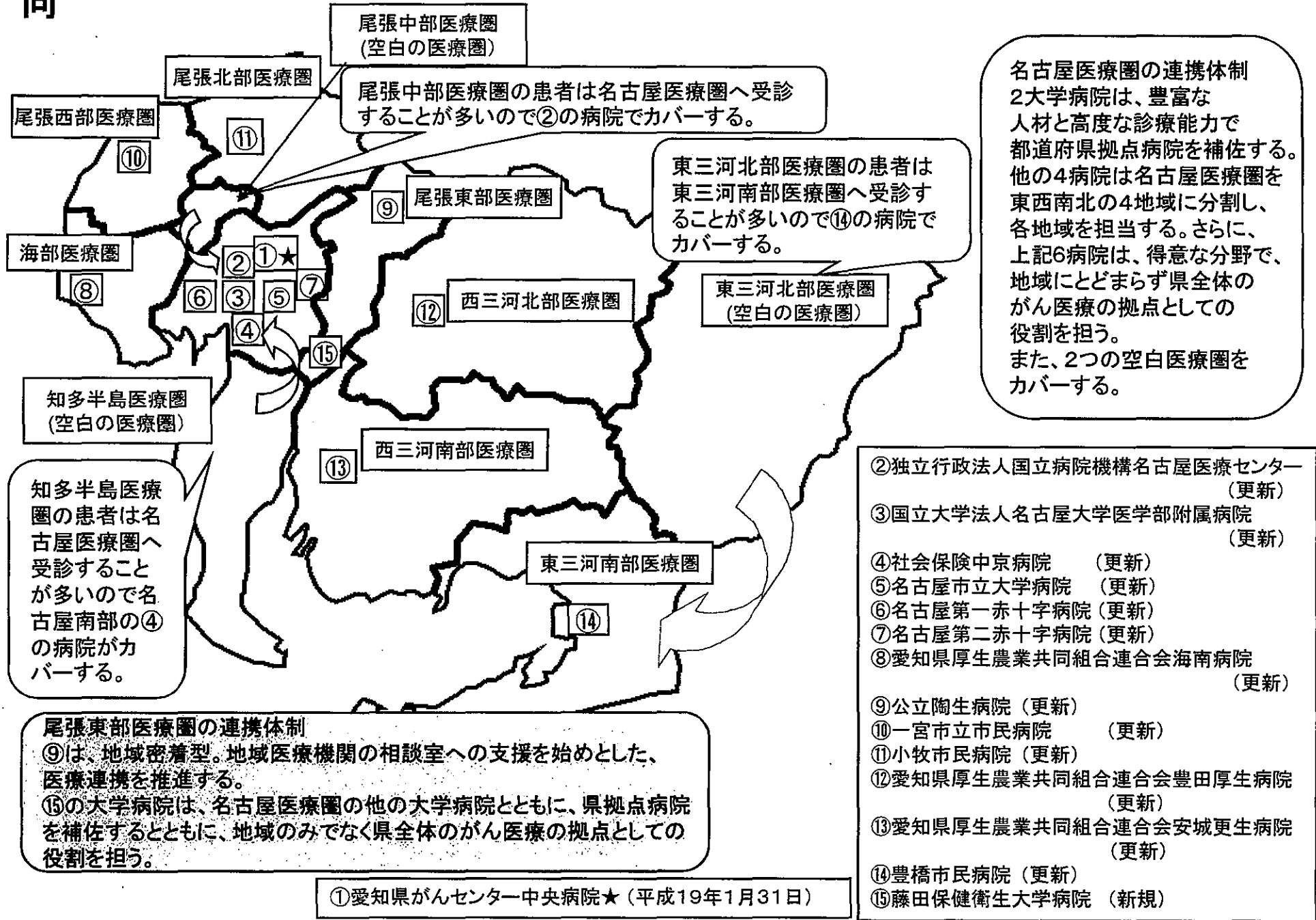
	都道府県or地域	申請区分	病院名	年間入院患者数の状況		治療件数(手術件数)6月~7月の集計											放射線治療		がんに係る薬物療法(6月~7月の集計)		緩和ケア	相談支援センター	地域連携
				年間新入院がん患者数(1月~12月)	年間新入院患者数に占めるがん患者の割合(%)	悪性腫瘍手術総数	肺がん		胃がん		大腸がん		肝臓がん		乳がん		年間患者実数(1月~12月)		薬物療法のべ患者数		緩和ケアチームに対する新規診療依頼数(6~7月の集計)	相談支援センター相談件数(6~7月の集計)	退院共指料2(6~7月の集計)
							開胸手術	胸腔鏡手術	開腹手術	内視鏡手術粘膜炎切除術(EMR)	開腹手術	内視鏡手術	開腹手術	ラジオ波焼灼療法	乳癌手術	乳房再建術(乳房切除後二期的に行うもの)	体外照射	小線源治療	入院患者数	外来患者数			
1	★都道府県	更新	県がんセンター中央病院	(9,073)	(100.0)	(447)	(40)	(1)	(24)	(0)	(46)	(14)	(14)	(4)	(73)	(0)	(1,672)	(121)	(531)	(1,126)	(55)	(609)	(0)
				9,463	100.0	467	32	17	15	14	23	4	9	5	78	3	1,179	49	607	1,221	76	677	9
2	地域	更新	名古屋医療センター	(1,297)	(22.3)	(228)	(10)	(7)	(11)	(0)	(16)	(1)	(5)	(3)	(36)	(0)	(437)	(15)	(1,030)	(597)	(64)	(494)	(10)
				4,106	31.4	162	5	6	8	0	2	0	0	0	32	0	364	14	284	205	55	293	5
3	地域	更新	名古屋大学医学部附属病院	(5,136)	(29.6)	(446)	(20)	(1)	(12)	(0)	(15)	(0)	(25)	(3)	(33)	(0)	(607)	(117)	(243)	(257)	(4)	(127)	(0)
				5,924	32.4	541	36	3	9	3	14	6	19	8	32	0	732	133	267	355	3	923	16
4	地域	更新	中京病院	(2,390)	(15.8)	(124)	(1)	(0)	(13)	(2)	(17)	(0)	(3)	(3)	(13)	(0)	(217)	(0)	(174)	(533)	(41)	(131)	(0)
				2,561	16.8	122	0	0	8	1	24	6	0	8	11	0	153	0	127	241	17	160	0
5	地域	更新	名古屋市立大学病院	(4,432)	(35.5)	(327)	(1)	(12)	(13)	(3)	(20)	(0)	(4)	(8)	(40)	(0)	(577)	(23)	(269)	(276)	(17)	(25)	(0)
				4,813	36.5	164	4	18	5	1	10	1	2	6	35	0	552	21	315	255	26	163	0
6	地域	更新	名古屋第一赤十字病院	(3,870)	(21.8)	(140)	(13)	(8)	(25)	(3)	(19)	(76)	(2)	(0)	(9)	(1)	(415)	(3)	(262)	(166)	(13)	(84)	(8)
				3,867	22.2	161	16	6	19	0	32	0	1	0	17	0	410	3	521	364	14	210	11
7	地域	更新	名古屋第二赤十字病院	(3,629)	(17.8)	(139)	(4)	(6)	(12)	(1)	(7)	(6)	(2)	(0)	(16)	(0)	(510)	(7)	(256)	(1,345)	(6)	(26)	(3)
				3,743	17.9	161	8	2	9	3	4	7	3	0	14	0	570	9	208	326	7	50	1

資料 2 - 2

	都道府県or地域	申請区分	病院名	年間入院患者数の状況		治療件数(手術件数)6月～7月の集計											放射線治療		がんに係る薬物療法(6月～7月の集計)		緩和ケア	相談支援センター	地域連携
				年間新入院がん患者数(1月～12月)	年間新入院患者数に占めるがん患者の割合(%)	悪性腫瘍手術総数	肺がん		胃がん		大腸がん		肝臓がん		乳がん		年間患者実数(1月～12月)	薬物療法のべ患者数		緩和ケアチームに対する新規診療依頼数(6～7月の集計)	相談支援センター相談件数(6～7月の集計)	退院共指料2(6～7月の集計)	
							開胸手術	胸腔鏡手術	開腹手術	内視鏡手術粘膜炎切除術(EMR)	開腹手術	内視鏡手術	開腹手術	ラジオ波焼灼療法	乳癌手術	乳房再建術(乳房切除後二期的に行うもの)		体外照射	小線源治療				入院患者数
8	地域	更新	海南病院	(1,899) 2,124	(16.2) 18.3	(122) 145	(0) 2	(0) 0	(12) 13	(0) 0	(9) 21	(2) 2	(1) 2	(1) 1	(6) 6	(0) 0	(271) 303	(0) 0	(159) 145	(262) 130	(25) 25	(23) 28	(0) 0
9	地域	更新	公立陶生病院	(1,962) 2,316	(13.1) 16.5	(100) 100	(4) 1	(0) 2	(4) 10	(3) 1	(13) 16	(5) 5	(2) 1	(5) 3	(14) 12	(0) 0	(259) 240	(0) 0	(94) 138	(122) 206	(10) 10	(158) 403	(0) 0
10	地域	更新	一宮市立市民病院	(2,141) 2,364	(18.7) 20.1	(125) 98	(1) 1	(1) 0	(13) 18	(0) 0	(7) 13	(0) 1	(1) 2	(3) 5	(13) 17	(0) 0	(405) 426	(0) 0	(202) 193	(316) 354	(5) 28	(36) 137	(0) 0
11	地域	更新	小牧市民病院	(4,425) 4,575	(31.7) 32.0	(173) 169	(11) 11	(9) 4	(11) 9	(3) 1	(28) 28	(0) 2	(0) 4	(11) 11	(21) 19	(0) 0	(239) 172	(0) 0	(58) 221	(172) 299	(18) 17	(39) 30	(0) 0
12	地域	更新	豊田厚生病院	(1,808) 1,792	(13.9) 13.9	(258) 106	(12) 0	(22) 22	(14) 11	(0) 0	(14) 93	(0) 0	(6) 8	(16) 0	(14) 9	(0) 0	(205) 226	(0) 0	(115) 122	(110) 100	(6) 10	(374) 475	(0) 0
13	地域	更新	安城更生病院	(3,927) 4,259	(23.1) 24.6	(145) 172	(6) 4	(12) 5	(12) 12	(6) 3	(11) 27	(0) 0	(5) 3	(5) 6	(23) 25	(0) 0	(298) 472	(0) 0	(321) 254	(238) 541	(39) 37	(222) 328	(0) 0
14	地域	更新	豊橋市民病院	(3,319) 3,667	(19.1) 21.0	(190) 254	(2) 1	(9) 11	(11) 14	(6) 5	(20) 22	(28) 43	(8) 8	(6) 4	(10) 14	(0) 0	(470) 574	(23) 26	(295) 245	(318) 264	(1) 14	(34) 186	(0) 0
15	地域	新規	藤田保健衛生大学病院	4,644	20.7	258	3	16	1	0	35	0	14	14	34	0	573	84	318	320	21	240	5

# 愛知県 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向

資料3



# 愛知県のがん診療連携拠点病院の推薦に係る考え方について

資料4-1

隣接医療圏でカバーする場合も含めて全ての2次医療圏に概ね1か所程度の拠点病院の整備を目標  
名古屋医療圏については、周辺医療機関からの患者の受療動向を考慮し、複数整備  
尾張東部医療圏については2病院でそれぞれの特徴を活かした機能分担し、がん診療を向上

**名古屋医療圏** (人口が多い。県内全域から患者が集まる。)

■2大学病院・・・都道府県がん診療連携拠点病院を補佐

■他の4病院・・・広い名古屋医療圏を東西南北の4地域に分けた各地域を担当

○この6病院は、その得意とする分野において全県的な拠点としての役割を果たすことにより、名古屋医療圏全体として先進的で高度ながん医療が提供できる体制をつくり、県内のがん医療をリードしていくことを目指します。

**尾張東部医療圏** (南北に長く、交通面で南北に分断。患者の相互受療なし。)

■既指定病院・・・これまでに地域の医療機関と築きあげてきた医療連携をさらに推進

■1, 505床の病床を持つ大学病院・・・低侵襲治療の提供、緩和ケア(治療と教育と研究)の推進

さらに都道府県がん診療連携拠点病院を補佐し、その得意とする分野において全県的な拠点の役割

○2病院で当該医療圏のがん診療の向上を図ります。

**その他の医療圏**

○地域がん診療連携拠点病院の役割を果たし、県内全域で、がん診療の均てん化を実現するためのネットワークを構築します。

**あいちのがん診療連携拠点病院の取り組み** ...国の指定要件を上回る目標の設定

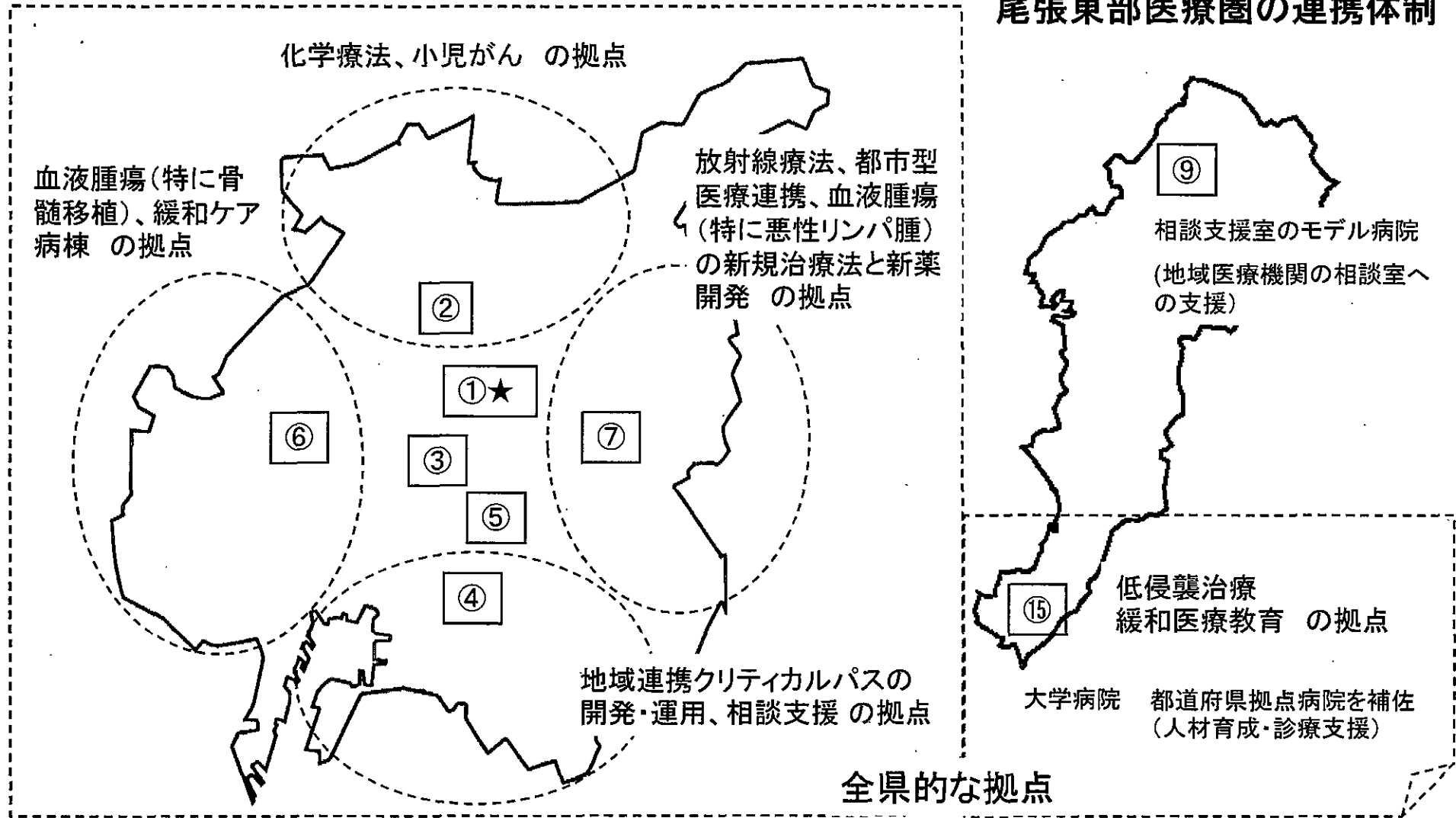
・緩和ケア提供体制の充実 (緩和ケアチームに精神腫瘍医を配置、精神腫瘍医の症例検討を実施、緩和ケア病棟で短期・中期の研修を開催 等)

・がん専門の医療従事者の配置(日本放射線腫瘍学会認定医の配置、がん専門薬剤師の配置、外来化学療法室にがん化学療法認定看護師の配置 等)

・協議会に5部会と相談支援センター会議の設置(パス部会で「愛知県統一地域連携パス」の開発・整備・運用・普及等)他

# 名古屋医療圏の連携体制

# 尾張東部医療圏の連携体制



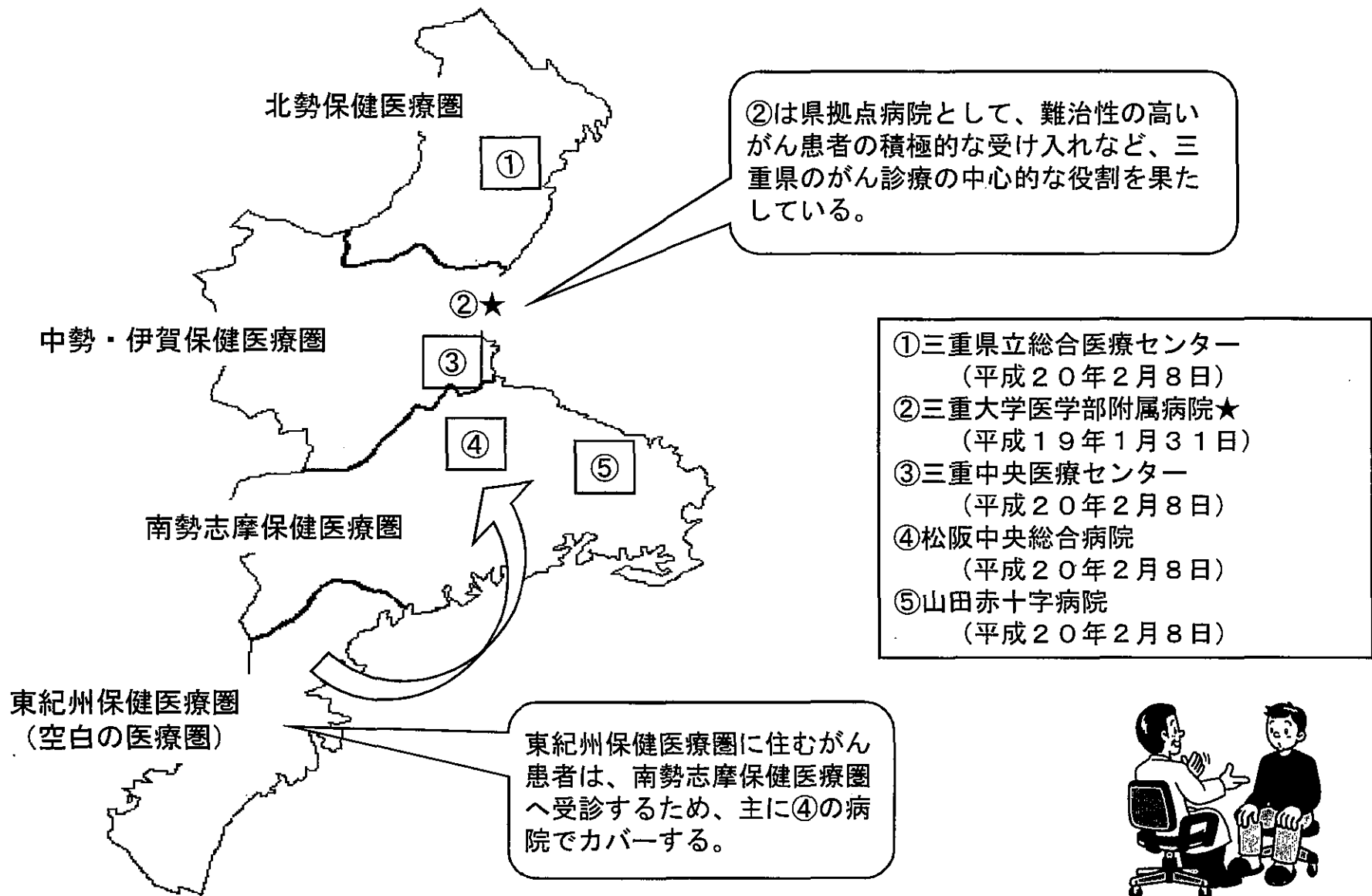
- ①★ 愛知県のがん対策の拠点
- ② 化学療法、小児がん の拠点
- ③ がん専門の人材育成 の拠点
- ④ 血液腫瘍(特に骨髄移植)、緩和ケア病棟 の拠点
- ⑤ 精神腫瘍学の教育・普及 名古屋市のがん対策 の拠点
- ⑥ 血液腫瘍(特に骨髄移植)、緩和ケア病棟 の拠点
- ⑦ 放射線療法、都市型医療連携、血液腫瘍(特に悪性リンパ腫)の新規治療法と新薬開発 の拠点
- ⑧ 地域連携クリティカルパスの開発・運用、相談支援 の拠点
- ⑨ 相談支援室のモデル病院 (地域医療機関の相談室への支援)
- ⑩ 全県的な拠点
- ⑪ 低侵襲治療 緩和医療教育 の拠点
- ⑫ 大学病院 都道府県拠点病院を補佐 (人材育成・診療支援)



# 24 三重県



# 三重県 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向





# 各病院における診療実績等の比較について

資料 2

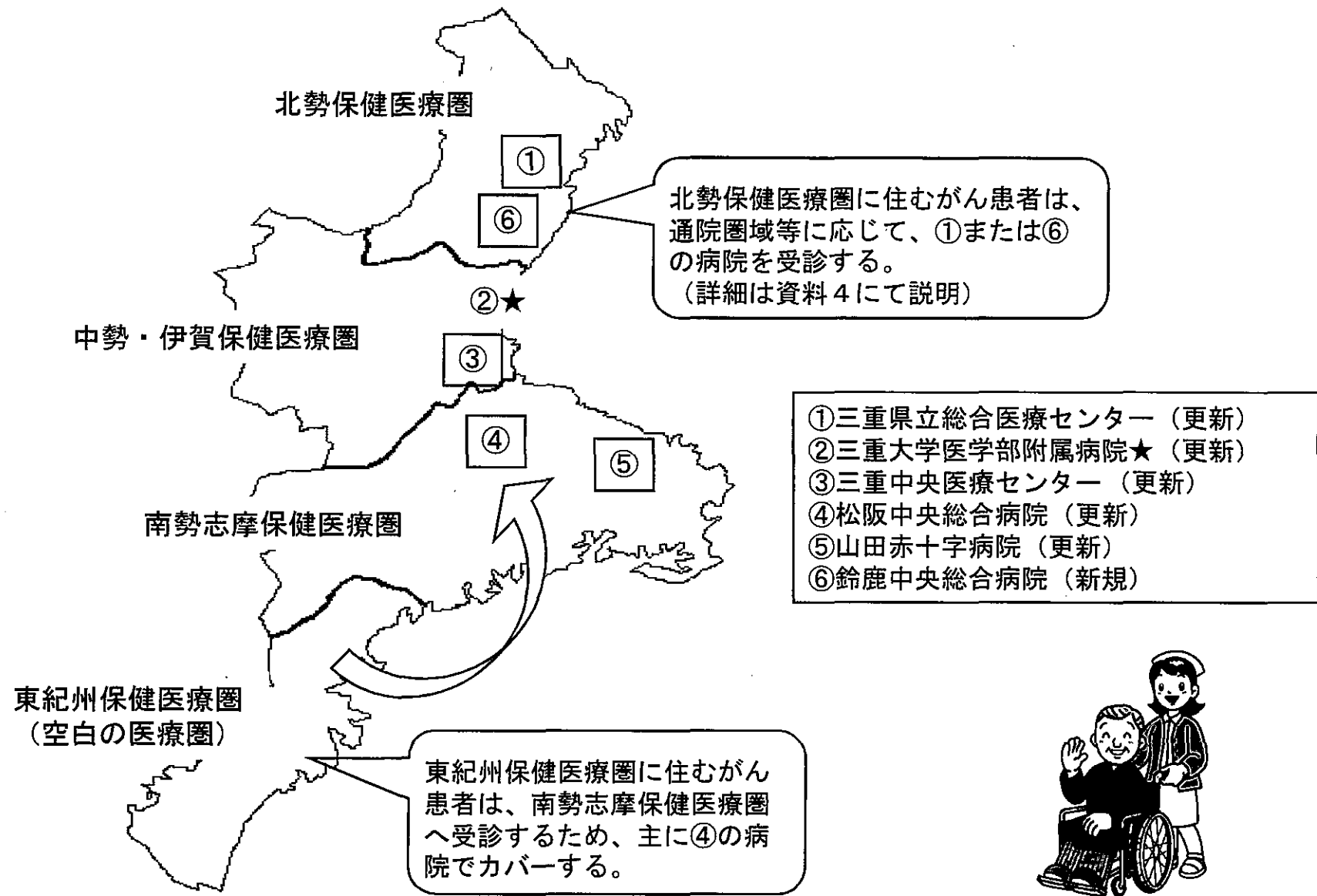
都道府県 or 地域	申請 区分	病院名	年間入院患者数の 状況		治療件数（手術件数）6～7月の集計										放射線治療		がんに係る薬 物療法 （6月～7月の 集計）		緩和ケ ア	相談支 援セン ター	地域 連携	
			年間新入 院がん患 者数（1 月～12 月）	年間新入 院患者数 に占める がん患者 の割合 （%）	悪性腫 瘍手術 総数	肺がん		胃がん手術		大腸がん 手術		肝臓がん		乳がん		年間患者実数 （1月～12 月）	薬物療法のべ 患者数		緩和ケ アチー ムに対 する新 規診療 依頼数 （6～7 月の集 計）	相談支 援セン ター相 談件数 （6～7 月の集 計）	退院共 同指 導料 2（6 ～7月 の集 計）	
						開胸 手術	胸腔 鏡手 術	開腹 手術	内視鏡 手術 粘膜切 除術 （EMR ）	開腹 手術	内視 鏡手 術	開腹 手術	ラジ オ波 焼灼 療法	乳房再 建術 （乳房 切除 後） 二期 的に行 うもの	乳癌 手術		体外 照射	小線 源治 療				入院患 者数
1	更新	三重県立総合 医療センター	(1,530) 1,827	(18.6) 21.2	(56) 61	(9) 9	(0) 3	(5) 5	(0) 0	(10) 8	(0) 3	(0) 1	(1) 0	(9) 15	(0) 0	(132) 95	(5) 0	(52) 84	(142) 599	(9) 8	(7) 4	(0) 2
2	★更新	三重大学医学 部附属病院	(5,222) 5,332	(48.0) 49.0	(361) 180	(1) 0	(9) 12	(7) 14	(0) 1	(7) 13	(1) 17	(2) 7	(22) 41	(28) 39	(0) 0	(523) 534	(104) 102	(200) 321	(350) 304	(22) 25	(56) 105	(0) 2
3	更新	三重中央医療 センター	(1,279) 1,514	(17.2) 20.0	(50) 122	(14) 0	(3) 5	(5) 9	(0) 1	(3) 6	(0) 0	(0) 2	(18) 1	(7) 4	(0) 0	(128) 113	(0) 0	(98) 234	(147) 402	(13) 11	(164) 75	(0) 2
4	更新	松阪中央総合 病院	(1,453) 1,449	(15.8) 16.2	(47) 57	(5) 0	(0) 2	(12) 10	(1) 0	(13) 15	(2) 8	(0) 1	(1) 0	(15) 9	(0) 0	(150) 152	(0) 0	(100) 157	(170) 227	(3) 10	(111) 151	(0) 0
5	更新	山田赤十字病 院	(2,867) 2,709	(22.7) 19.7	(138) 158	(1) 0	(7) 5	(9) 19	(1) 3	(23) 29	(5) 5	(7) 2	(12) 14	(21) 12	(0) 0	(182) 144	(0) 0	(112) 145	(80) 120	(12) 17	(607) 383	(2) 3
6	新規	鈴鹿中央総合 病院	2,579	28.3	131	0	24	9	0	15	12	2	0	4	0	145	0	163	159	9	568	0

※（ ）内は平成20年10月末提出の数値、下段は平成21年10月末提出の数値





# 三重県 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向





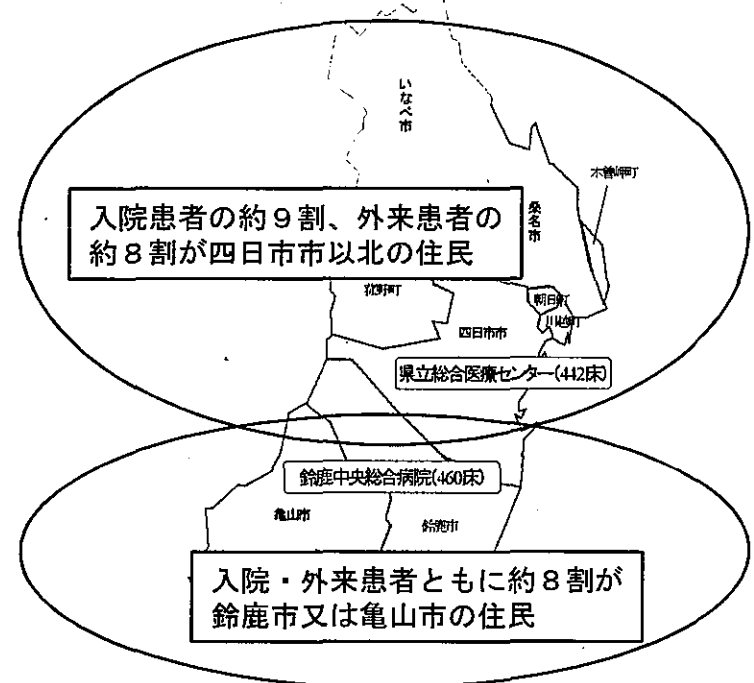
# 今回の指定推薦等に係る三重県の考え方について

○県内どこでも質の高い医療を受けることができるよう、がん医療水準の均てん化を推進するため、三重県がん診療連携拠点病院選定部会ならびに三重県がん対策推進協議会における議論を踏まえ、既に指定されている5病院の指定更新申請ならびに、北勢保健医療圏に所在する鈴鹿中央総合病院の新規推薦を行う。  
 ○2次医療圏を超える数の医療機関を拠点病院として推薦するにあたっての考え方は以下の通り。

## 1. がん患者の通院圏域、がん診療連携拠点病院間の機能的役割分担等について

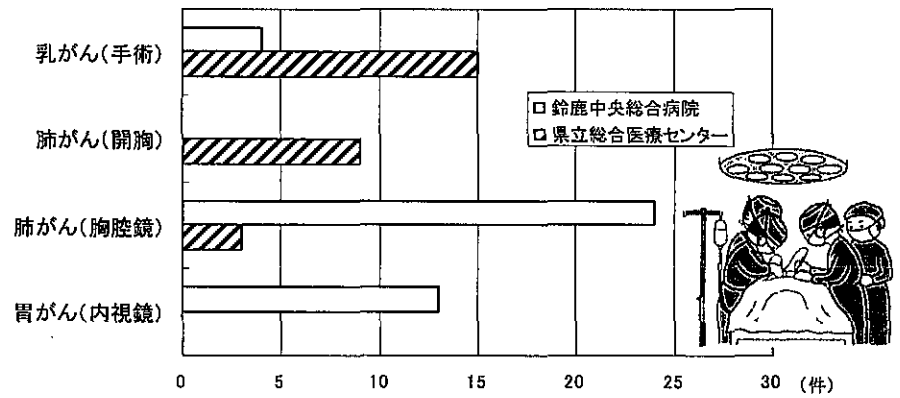
### (1) がん患者の通院圏域について

○北勢保健医療圏（人口84万人：三重県人口の45%）



### (2) 病院間の機能的役割分担について

○主な手術の実績（H21.6~7）



○放射線治療、化学療法等について

	放射線照射回数 (乳がん：H21.6~7)	化学療法	その他 主な機能
鈴鹿中央総合病院	164回	専門医と認定看護師が常勤	地域医療支援病院
県立総合医療センター	468回		救命救急センター



## 2. 2次医療圏を超える数の医療機関が拠点病院に指定されることによる相乗効果について

○県内でもがんによる死亡率が高く、三重県人口の45%が住まう北勢保健医療圏のがん診療を充実・強化させることにより、三重県がん対策戦略プランに掲げる2つの目標に向けた取組を加速させる。

- 目標1： 75歳未満の年齢調整死亡率を国平均値よりも10%以上減少させる  
 目標2： すべてのがん患者およびその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の向上

○鈴鹿中央総合病院が新たに拠点病院として指定された場合に、「三重県がん対策戦略プラン」の数値目標を見直すことについて、三重県がん対策推進協議会において了承済み。

		主な項目		旧目標	⇒	新目標
数値 見直す 項目 目標を		すべてのがん診療連携拠点病院において ・地域連携クリティカルパスの整備 ・日本放射線腫瘍学会認定医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法医を配置 ・日本看護協会が認定する専門看護師、認定看護師を配置 ・緩和ケア外来の実施、医師に対する緩和ケア研修の実施		5病院		6病院
	追加 項目	拠点病院における外来化学療法室の病床数を増加 すべての拠点病院においてコメディカルに対する緩和ケア研修を実施		なし		120床 6病院



## 3. 拠点病院の運営が適切に行われるための体制の確保に向けた都道府県の取組について

○財政支援等について

- ・今回新規推薦する鈴鹿中央総合病院を含め、拠点病院の機能強化補助金につき来年度予算要求済み。
- ・地域連携クリティカルパスの円滑な運用に向けたITネットワークの整備について拠点病院を中心に推進中。

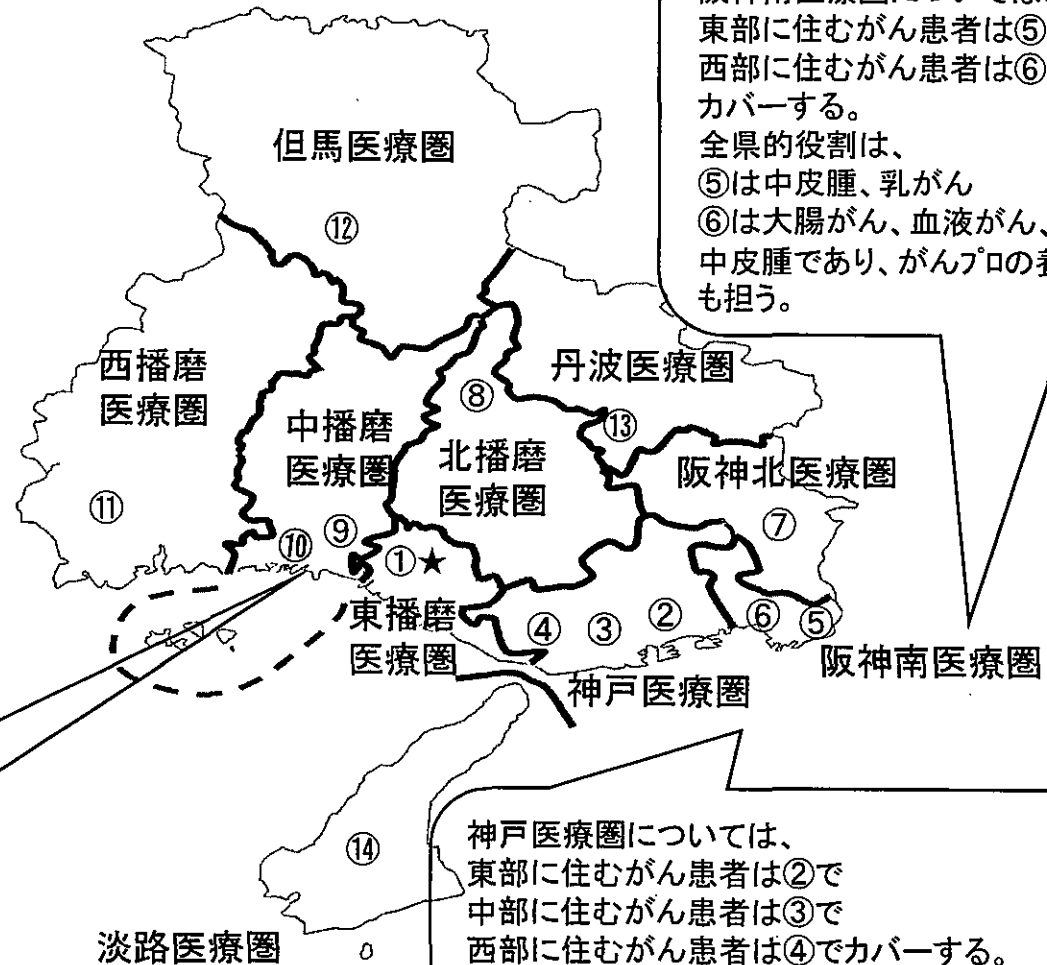
○拠点病院として指定された後のフォローアップ等について

- ・拠点病院指定の効果について、県は通院圏域や病院間の役割分担等を含めフォローアップを行う予定。
- ・県民が医療機関を選択する際の参考となるよう、がん診療に係る医療資源調査を今年度実施。

# 28 兵庫 県

# 兵庫県 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向

- ① 県立がんセンター★ (平成19年1月31日)
- ② 神戸市立医療センター  
中央市民病院 (平成19年1月31日)
- ③ 神戸大学医学部附属病院 (平成19年1月31日)
- ④ 神戸医療センター (平成21年2月23日)
- ⑤ 関西労災病院 (平成19年1月31日)
- ⑥ 兵庫医科大学病院 (平成20年2月8日)
- ⑦ 近畿中央病院 (平成19年1月31日)
- ⑧ 市立西脇病院 (平成20年2月8日)
- ⑨ 姫路医療センター (平成19年1月31日)
- ⑩ 姫路赤十字病院 (平成19年1月31日)
- ⑪ 赤穂市民病院 (平成19年1月31日)
- ⑫ 公立豊岡病院 (平成19年1月31日)
- ⑬ 県立柏原病院 (平成20年2月8日)
- ⑭ 県立淡路病院 (平成19年1月31日)



阪神南医療圏については、  
東部に住むがん患者は⑤で  
西部に住むがん患者は⑥で  
カバーする。  
全県的役割は、  
⑤は中皮腫、乳がん  
⑥は大腸がん、血液がん、  
中皮腫であり、がんプロの養成  
も担う。

中播磨医療圏については、  
東部に住むがん患者は⑨で  
西部に住むがん患者は⑩で  
カバーする。  
全県的役割は、  
⑨は肺がん、  
⑩は胃がん、大腸がんである。

神戸医療圏については、  
東部に住むがん患者は②で  
中部に住むがん患者は③で  
西部に住むがん患者は④でカバーする。  
全県的役割は、  
②は血液がん、先端医療、  
③は肝がん、高度先進医療、がんプロの養成、  
④は胃がん、大腸がんである。

※( )内は平成20年10月末提出の数値、下段は平成21年10月末提出の数値

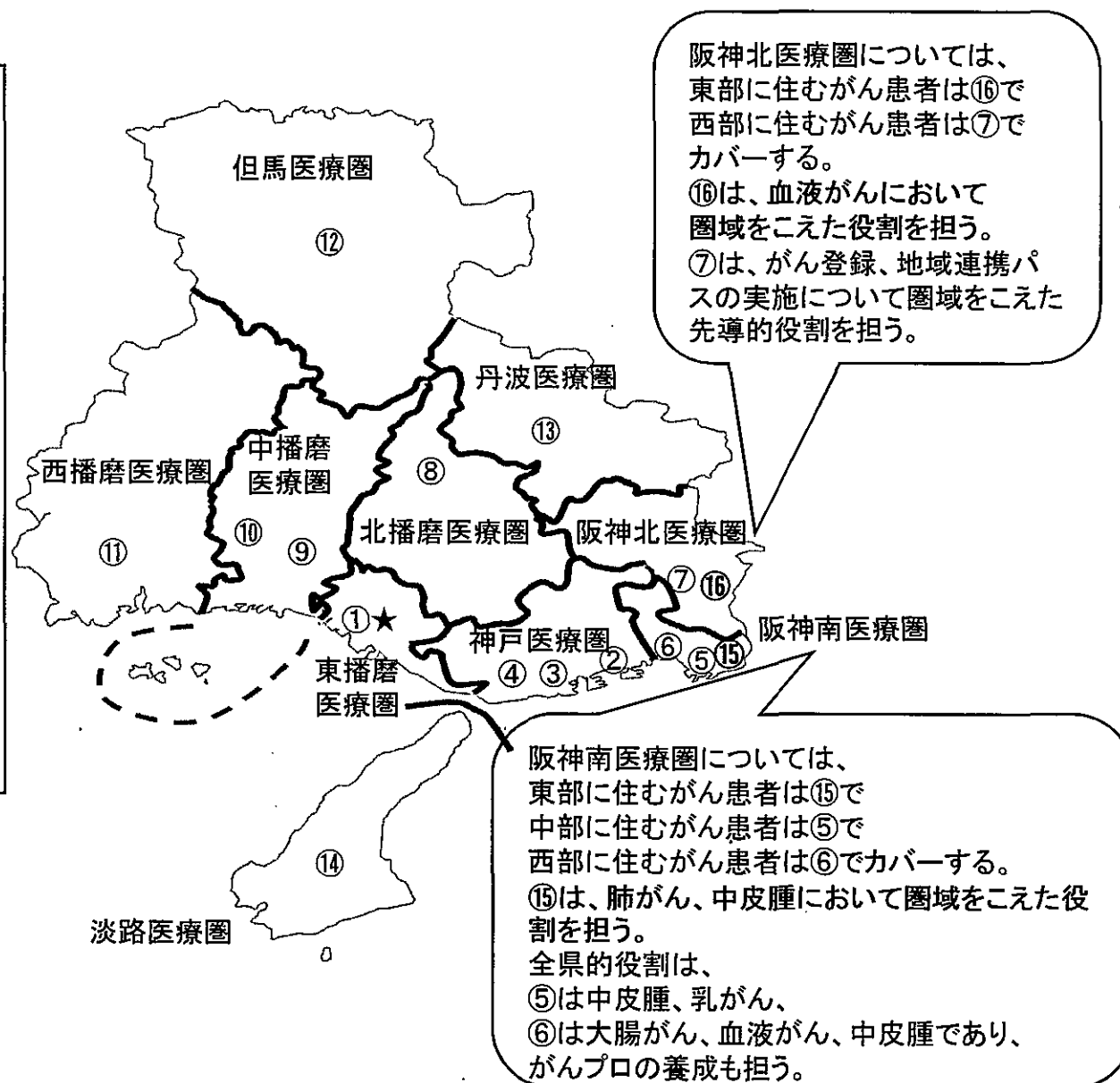
資料2

都道府県	更新区分	病院名	年間入院患者数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計										放射線治療		がんに係る薬物療法(6~7月の集計)		緩和ケア	相談支援センター	地域連携	
			年間新入院がん患者数(1~12月)	年間新入院患者数に占めるがん患者の割合(%)	悪性腫瘍手術総数	肺がん		胃がん		大腸がん		肝臓がん		乳がん		年間患者実数(1~12月)		薬物療法のべ患者数				
						開胸手術	胸腔鏡下手術	開腹手術	内視鏡手術粘膜炎切除術(EMR)	開腹手術	内視鏡手術	開腹手術	ラジオ波焼灼療法	乳癌手術	乳房再建術(乳房切除後二期的に行うもの)	体外照射	小線源治療	入院患者数	外来患者数	診療依頼数(6~7月の集計)	緩和ケアチームに対する新規相談支援センター相談件数(6~7月の集計)	退院時共同指導料(6~7月の集計)
1★	更新	県立がんC	(5,177)	(79.3%)	(357)	(34)	(10)	(26)	(0)	(18)	(6)	(8)	(0)	(28)	(0)	(652)	(30)	(474)	(400)	(28)	(448)	(0)
			5,211	79.3%	407	16	22	25	1	21	0	14	1	38	0	698	34	969	792	45	352	4
2	更新	神戸中央市民	(4,563)	(23.3%)	(229)	(13)	(4)	(4)	(0)	(5)	(4)	(9)	(6)	(24)	(0)	(551)	(8)	(411)	(1,215)	(4)	(255)	(19)
			4,478	23.1%	297	11	11	18	0	12	4	11	9	25	0	502	26	747	1,205	9	255	9
3	更新	神戸大学	(4,126)	(30.4%)	(134)	(7)	(6)	(6)	(4)	(5)	(53)	(16)	(2)	(6)	(1)	(449)	(33)	(142)	(146)	(11)	(24)	(0)
			4,166	28.8%	114	4	7	7	0	12	18	15	5	10	0	5,718	24	242	317	24	84	8
4	継続	神戸医療C	(1,371)	(28.0%)	(61)	(4)	(0)	(10)	(5)	(13)	(6)	(2)	(1)	(3)	(0)	(98)	(0)	(33)	(57)	(13)	(21)	0
			1,125	23.3%	56	0	0	5	3	18	0	2	1	3	0	125	0	37	68	19	51	0
5	更新	関西労災	(3,571)	(25.0%)	(165)	(0)	(3)	(12)	(0)	(25)	(3)	(3)	(2)	(35)	(0)	(372)	(0)	(166)	(247)	(27)	(225)	0
			3,407	24.4%	242	0	5	16	0	8	2	4	1	50	0	637	65	200	497	30	306	1
6	更新	兵庫大	(2,831)	(21.5%)	(183)	(1)	(23)	(22)	(0)	(25)	(3)	(15)	(17)	(10)	(0)	(690)	(42)	(243)	(893)	(24)	(34)	(0)
			3,813	20.4%	240	6	15	19	0	34	2	17	18	19	0	531	59	264	894	30	124	0
15	新規	県立尼崎	(2,014)	(20.8%)	(130)	(15)	(8)	(24)	(1)	(19)	(1)	(4)	(8)	(8)	(0)	(254)	(0)	(81)	(151)	(18)	(46)	(13)
			1,263	12.2%	163	4	2	15	0	18	0	2	8	10	0	290	0	131	214	19	171	20

都道府県	更新	申請区分	病院名	年間入院患者数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計										放射線治療		がんに係る薬物療法(6~7月の集計)		緩和ケア	相談支援センター相談件数(6~7月の集計)	地域連携			
				年間入院患者数(1~12月)	年間新入院患者数に占めるがん患者の割合(%)	悪性腫瘍手術総数	肺がん		胃がん		大腸がん		肝臓がん		乳がん		年間患者実数(1~12月)		薬物療法のべ患者数				緩和ケアチームに対する新規診療依頼数(6~7月の集計)	退院時共同指導料(6~7月の集計)	
							開胸手術	胸腔鏡下手術	開腹手術	内視鏡手術(EMR)	開腹手術	内視鏡手術	開腹手術	ラジオ波焼灼療法	乳癌手術	乳房再建術(乳房切除後)二期的に行うもの	体外照射	小線源治療	入院患者数						外来患者数
7	更新	近畿中央	(1,286)	(18.0%)	(113)	(0)	(10)	(15)	(0)	(13)	(4)	(1)	(7)	(12)	(0)	(141)	(0)	(67)	(58)	(21)	(22)	(18)			
			1,276	17.6%	90	2	1	9	1	14	2	2	0	9	0	79	0	81	74	9	108	22			
16	新規	市立伊丹	(1,308)	(20.1)	(70)	(0)	(0)	(11)	(1)	(14)	(0)	(0)	(8)	(14)	(0)	(137)	(0)	(63)	(206)	(0)	(0)	(3)			
			1,219	18.0	87	1	0	11	1	6	2	0	5	25	0	184	0	76	228	8	90	2			
8	更新	市立西脇	(528)	(11.0)	(0)	(0)	(0)	(4)	(0)	(10)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(13)	(0)	(46)	(42)	(4)	(26)	(0)			
			630	12.5	50	0	0	3	0	8	1	2	2	1	0	137	0	89	148	2	44	3			
9	更新	姫路医療C	(3,090)	(39.7)	(187)	(6)	(34)	(1)	(2)	(7)	(2)	(4)	(0)	(13)	(0)	(350)	(0)	(283)	(170)	(4)	(35)	(0)			
			3,275	39.9	188	5	51	5	1	8	1	5	0	18	0	322	0	245	256	2	82	5			
10	更新	姫路赤	(3,766)	(29.1%)	(186)	(3)	(0)	(15)	(0)	(23)	(3)	(16)	(29)	(34)	(0)	(329)	(0)	(335)	(504)	(5)	(215)	(5)			
			2,368	18.2	163	3	0	13	0	14	1	16	24	26	0	313	0	247	166	22	413	15			
11	更新	赤穂市民	(1,693)	(21.6)	(49)	(2)	(0)	(3)	(0)	(2)	(5)	(0)	(1)	(6)	(0)	(94)	(0)	(97)	(64)	(4)	(62)	(0)			
			1,665	21.5	82	6	1	8	0	2	6	0	4	8	0	83	0	150	89	4	104	0			
12	更新	公立豊岡	(1,574)	(16.7)	(103)	(7)	(0)	(7)	(1)	(10)	(13)	(1)	(0)	(1)	(0)	(209)	(0)	(155)	(154)	(0)	(29)	(0)			
			1,557	17.1	112	10	0	12	0	9	9	1	0	9	1	207	0	100	114	1	53	0			
13	更新	県立柏原	(613)	(20.2)	(36)	(0)	(0)	(9)	(2)	(8)	(11)	(0)	(0)	(0)	(0)	(60)	(0)	(21)	(31)	(7)	(49)	(0)			
			503	22.0	8	0	0	4	1	1	0	0	0	1	0	29	0	32	32	4	144	0			
14	更新	県立淡路	(1,530)	(21.0)	(78)	(0)	(3)	(12)	(0)	(19)	(4)	(2)	(1)	(8)	(0)	(75)	(0)	(90)	(248)	(6)	(43)	(0)			
			1,500	19.9	66	0	9	15	0	10	0	0	0	4	0	125	0	102	215	25	95	4			

## 兵庫県 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向

① 県立がんセンター★	(更新)
② 神戸市立医療センター 中央市民病院	(更新)
③ 神戸大学医学部附属病院	(更新)
④ 神戸医療センター	(継続)
⑤ 関西労災病院	(更新)
⑥ 兵庫医科大学病院	(更新)
⑦ 近畿中央病院	(更新)
⑧ 市立西脇病院	(更新)
⑨ 姫路医療センター	(更新)
⑩ 姫路赤十字病院	(更新)
⑪ 赤穂市民病院	(更新)
⑫ 公立豊岡病院	(更新)
⑬ 県立柏原病院	(更新)
⑭ 県立淡路病院	(更新)
⑮ 県立尼崎病院	(新規)
⑯ 市立伊丹病院	(新規)





# 新規申請 県立尼崎病院・市立伊丹病院について

## 【全県的課題】

## 【実績】

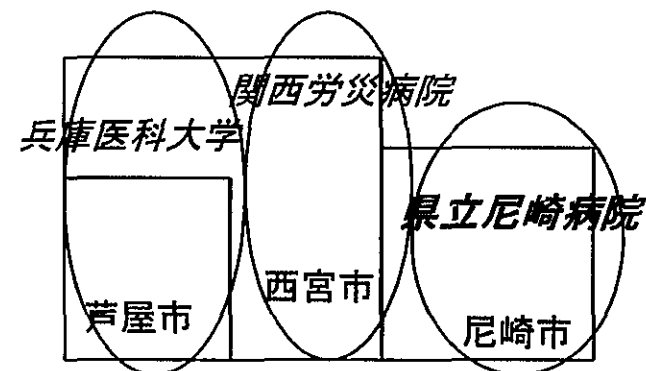
## 【圏域イメージ図】

県立  
尼崎  
病院

・肺がん死亡率の減少  
（全国第33位）  
・中皮腫患者の早期診断、  
早期治療の必要性  
（中皮腫死亡者数  
全国第2位）

・新規肺がん患者症例  
571例（07～08年）  
・悪性胸膜中皮腫症例  
入院患者実数  
60例（07～08年）

阪神南医療圏 約103万人

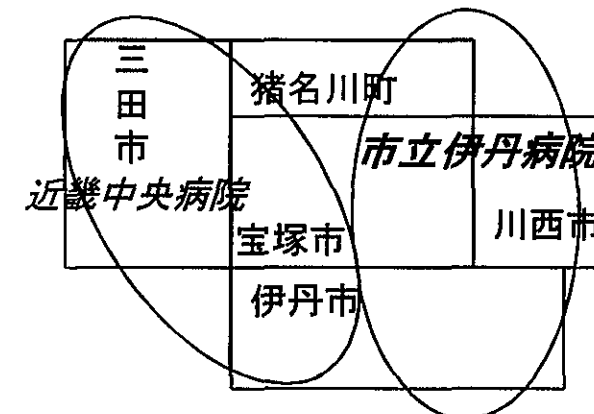


市立  
伊丹  
病院

・血液がん治療  
ネットワークの構築

・血液がん入院患者数  
138名（08年）  
（うち圏域外約25%）

阪神北医療圏 約71万人



## 「兵庫県がん対策推進計画」における拠点病院の役割

H20.3策定の 兵庫県がん対策推進計画 における対がん 戦略項目	中播磨 圏域		東播磨 圏域	神戸圏域			阪神北 圏域		阪神南圏域			
	姫路赤十字病院	姫路医療C	県立がんC	神戸大学病院	神戸中央市民	神戸医療C	近畿中央病院	市立伊丹病院	兵庫医科大学	関西労災病院	県立尼崎病院	
先端医療 がんプロ				○	○				○			⇒ ・連携による全県展開のための 東西がん診療体制の統一指針 づくりと専門分野での先駆的取 組み ・兵庫に対する質の向上と提供 体制等の相乗効果
肺がん		◎	◎	○	○				○		○	⇒ ・先端医療・人材育成等
中皮腫									◎	○	○	⇒ ・肺がん地域連携パス等
肝がん	○		○	◎	○				○			⇒ ・中皮腫患者の早期診断、早期治療等
血液がん	○				○			○	○			⇒ ・肝がんに対するシームレスな医療体制等
地域連携 (乳がん等)	○		◎				○			◎		⇒ ・血液がん治療ネットワーク等
在宅医療						○						⇒ ・乳がん地域連携パス等
がん登録						○	○					⇒ ・在宅医療提供モデル等
						○	○					⇒ ・がん登録の推進・充実等

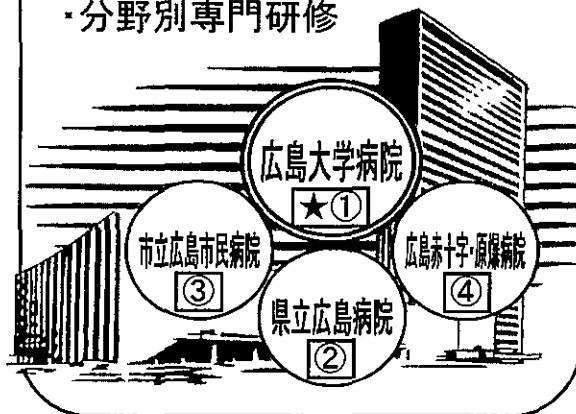
○:H20年3月に策定された兵庫県がん対策推進計画で記載されている対がん戦略項目に対し、兵庫県内(◎:近畿圏内)トップクラスの実績を有する病院。

# 3 4 広 島 県

# 広島県 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向

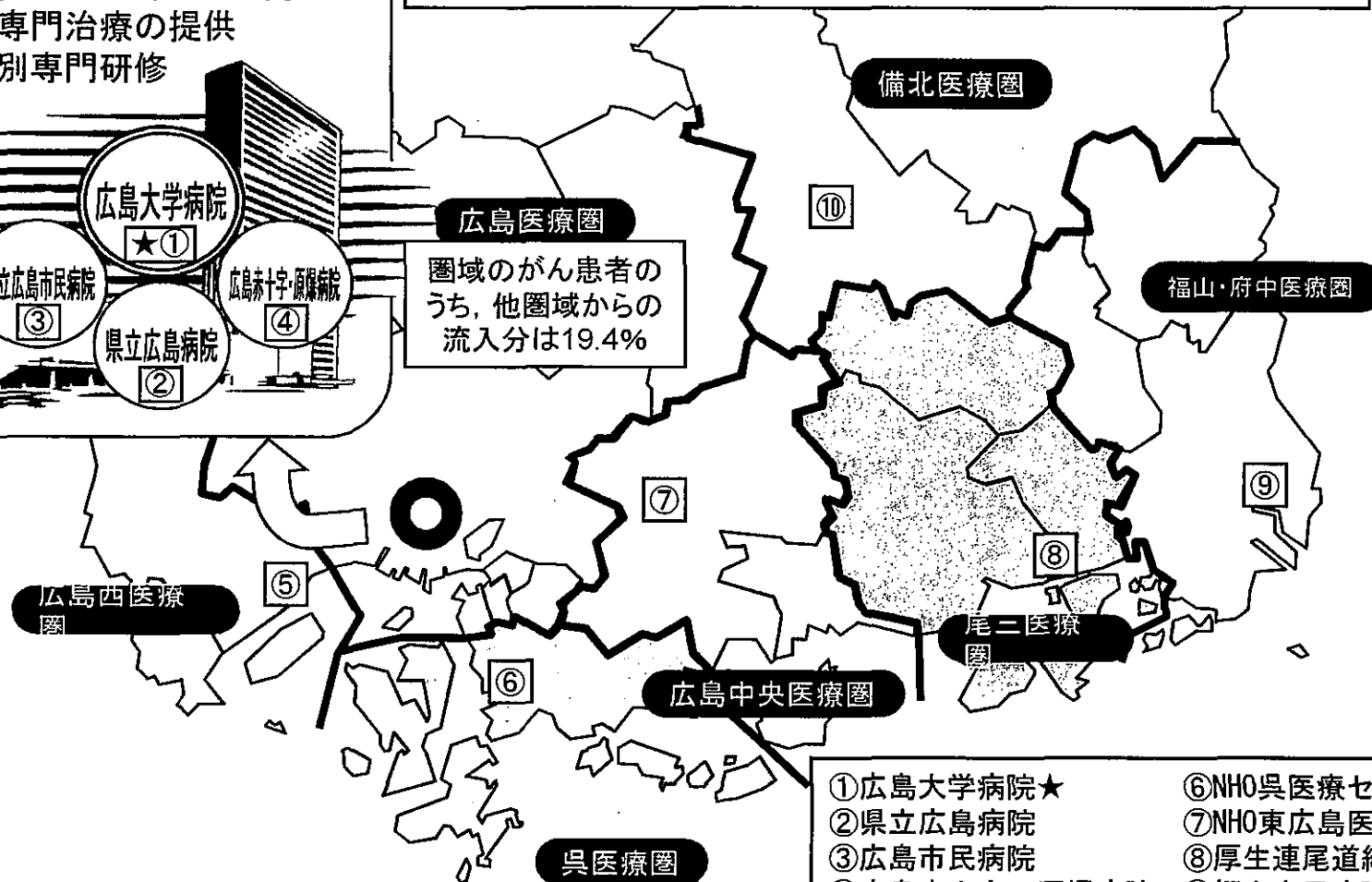
## ネットワーク型がんセンター

- ・地域拠点病院等との連携
- ・高度専門治療の提供
- ・分野別専門研修



広島圏域の4病院は「ネットワーク型がんセンター」として、全県を対象とした高度専門治療の提供や人材育成などを担っている

広島医療圏  
圏域のがん患者のうち、他圏域からの流入分は19.4%



- |              |                |
|--------------|----------------|
| ① 広島大学病院★    | ⑥ NHO呉医療センター   |
| ② 県立広島病院     | ⑦ NHO東広島医療センター |
| ③ 広島市民病院     | ⑧ 厚生連尾道総合病院    |
| ④ 広島赤十字・原爆病院 | ⑨ 福山市民病院       |
| ⑤ 厚生連広島総合病院  | ⑩ 市立三次中央病院     |
- ※指定年月日はすべて平成18年8月24日

資料 2-1

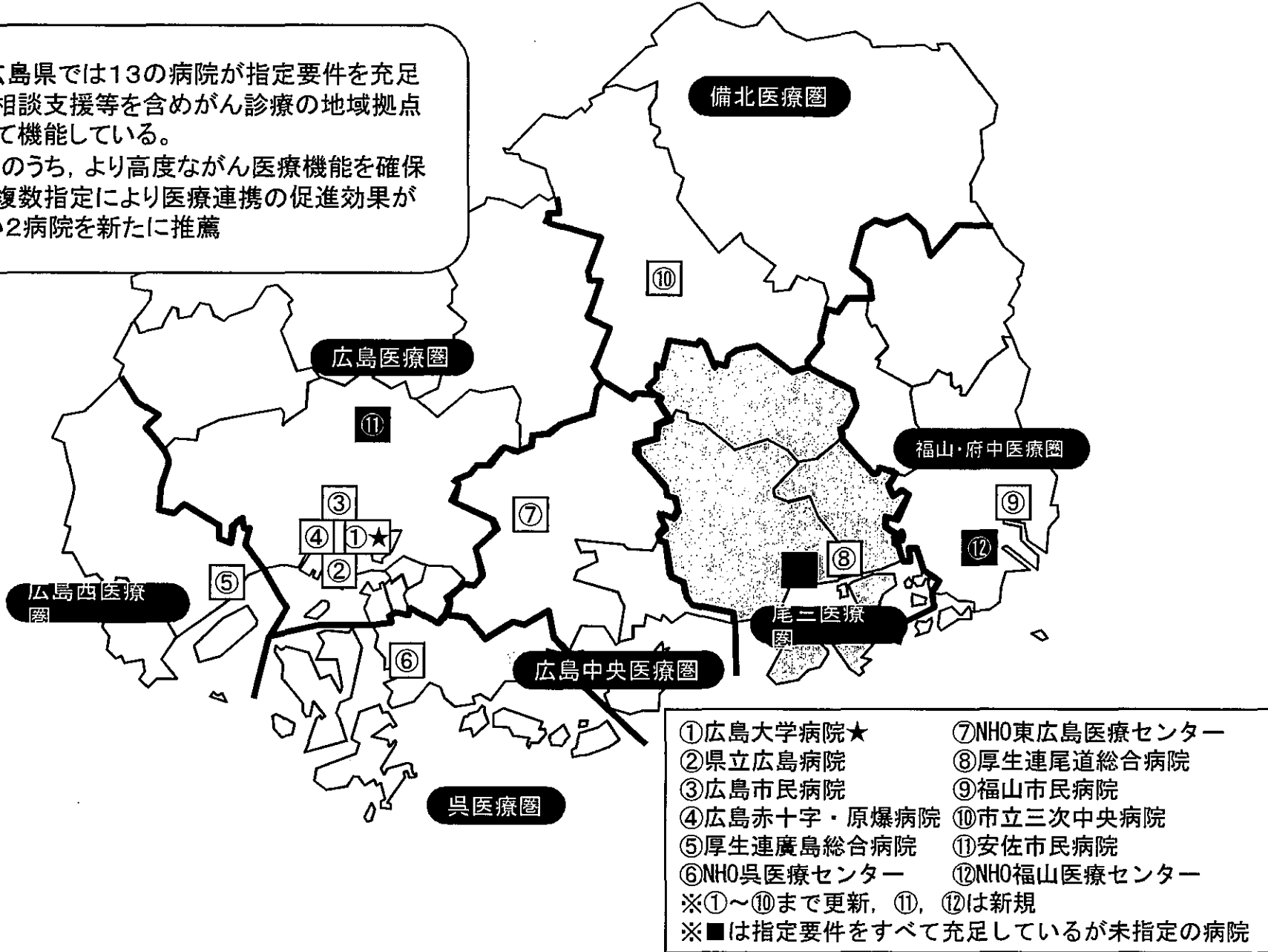
	都道府県or地域	申請区分	病院名	年間入院患者数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計											放射線療法		薬物療法(6月~7月の集計)		緩和ケア	相談支援センター	地域連携
				年間新入院がん患者数(1月~12月)	年間新入院患者数に占めるがん患者の割合(%)	悪性腫瘍手術総数	肺がん		胃がん		大腸がん		肝臓がん		乳がん		年間患者実数(1月~12月)		薬物療法のべ患者数		緩和ケアチームに対する新規診療依頼数(6~7月の集計)	相談支援センター相談件数(6~7月の集計)	退院時共同指導料2(6~7月の集計)
							開胸手術	胸腔鏡手術	開腹手術	内視鏡手術粘膜炎切除術(EMR)	開腹手術	内視鏡手術	開腹手術	ラジオ波焼灼療法	乳がん手術	乳房再建術(乳房切除後)二期的に行うもの	体外照射	小線源治療	入院患者数	外来患者数			
1	★	更新	広島大学病院	(4731) 4773	(32.7) 32.4	(168) 273	(0) 0	(13) 18	(9) 7	(1) 1	(9) 11	(19) 22	(12) 13	(6) 6	(20) 21	(0) 0	(668) 608	(81) 49	(410) 628	(717) 834	(9) 9	(147) 213	(0) 9
2		更新	県立広島病院	(2438) 2579	(19.0) 20.8	(140) 182	(13) 0	(4) 9	(2) 8	(1) 0	(6) 8	(2) 6	(5) 12	(3) 3	(10) 19	(0) 0	(439) 523	(7) 21	(172) 136	(199) 463	(20) 28	(150) 401	(14) 18
3		更新	広島市民病院	(3816) 4199	(20.5) 21.4	(557) 672	(5) 4	(37) 52	(27) 18	(0) 2	(22) 29	(0) 20	(12) 13	(21) 0	(61) 45	(1) 0	(386) 683	(46) 53	(30) 156	(200) 500	(13) 13	(364) 470	(0) 0
4		更新	広島赤十字・原爆病院	(3597) 3558	(31.7) 30.9	(244) 254	(1) 0	(8) 15	(6) 1	(2) 1	(11) 8	(3) 4	(12) 15	(7) 2	(10) 21	(0) 0	(422) 390	(29) 15	(313) 246	(380) 412	(6) 6	(334) 856	(0) 2
5		更新	厚生連広島総合病院	(1652) 1456	(14.8) 14.9	(100) 109	(1) 0	(6) 15	(14) 14	(0) 0	(11) 12	(0) 0	(3) 6	(0) 0	(6) 12	(0) 0	(543) 335	(0) 0	(152) 96	(236) 167	(14) 7	(104) 178	(0) 0
6		更新	NHO呉医療センター	(3368) 3804	(27.1) 28.2	(96) 199	(0) 13	(8) 8	(9) 13	(3) 0	(12) 15	(12) 6	(9) 2	(16) 10	(17) 19	(0) 0	(226) 326	(0) 15	(236) 236	(131) 308	(23) 15	(212) 262	(0) 0
7		更新	NHO東広島医療センター	(1225) 1563	(19.1) 24.6	(70) 78	(2) 4	(0) 13	(10) 7	(2) 0	(0) 10	(7) 2	(0) 1	(3) 0	(10) 7	(0) 0	(183) 206	(0) 0	(208) 132	(107) 90	(18) 14	(17) 47	(1) 1
8		更新	厚生連尾道総合病院	(2204) 926	(24.2) 9.3	(83) 195	(1) 1	(4) 3	(7) 8	(0) 0	(2) 0	(8) 6	(3) 4	(13) 13	(11) 13	(0) 0	(306) 319	(0) 0	(111) 258	(85) 107	(3) 4	(40) 40	(8) 6
9		更新	福山市民病院	(2221) 2313	(28.0) 27.0	(106) 246	(4) 3	(0) 1	(13) 16	(1) 0	(12) 11	(2) 1	(3) 8	(9) 0	(5) 11	(1) 0	(267) 237	(0) 0	(159) 135	(209) 150	(12) 10	(237) 196	(0) 2
10		更新	市立三次中央病院	(1057) 1142	(16.0) 17.7	(48) 59	(1) 0	(2) 0	(16) 4	(9) 0	(8) 13	(6) 4	(0) 0	(1) 2	(1) 4	(1) 0	(121) 197	(0) 0	(106) 60	(141) 164	(30) 33	(14) 36	(0) 0

資料 2 - 2

	都道府県or地域	申請区分	病院名	年間入院患者数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計											放射線療法		薬物療法(6月~7月の集計)		緩和ケア	相談支援センター	地域連携	
				年間入院患者数(1月~12月)	年間入院患者数に占めるがん患者の割合(%)	悪性腫瘍手術総数	肺がん		胃がん		大腸がん		肝臓がん		乳がん			年間患者実数(1月~12月)		薬物療法のべ患者数		緩和ケアチームに対する新規診療依頼数(6~7月の集計)	相談支援センター相談件数(6~7月の集計)	退院時共同指導料2(6~7月の集計)
							開胸手術	胸腔鏡下手術	開腹手術	内視鏡手術粘膜炎切除術(EMR)	開腹手術	内視鏡手術	開腹手術	ラジオ波焼灼療法	乳がん手術	乳房再建術(乳房切除後)二期的に行うもの	体外照射	小線源治療	入院患者数	外来患者数				
1	★	更新	広島大学病院	(4731) 4773	(32.7) 32.4	(168) 273	(0) 0	(13) 18	(9) 7	(1) 1	(9) 11	(19) 22	(12) 13	(6) 6	(20) 21	(0) 0	(668) 608	(81) 49	(410) 628	(717) 834	(9) 9	(147) 213	(0) 9	
2		更新	県立広島病院	(2438) 2579	(19.0) 20.8	(140) 182	(13) 0	(4) 9	(2) 8	(1) 0	(6) 8	(2) 6	(5) 12	(3) 3	(10) 19	(0) 0	(439) 523	(7) 21	(172) 136	(199) 463	(20) 28	(150) 401	(14) 18	
3		更新	広島市民病院	(3816) 4199	(20.5) 21.4	(557) 672	(5) 4	(37) 52	(27) 18	(0) 2	(22) 29	(0) 20	(12) 13	(21) 0	(61) 45	(1) 0	(386) 683	(46) 53	(30) 156	(200) 500	(13) 13	(364) 470	(0) 0	
4		更新	広島赤十字・原爆病院	(3597) 3558	(31.7) 30.9	(244) 254	(1) 0	(8) 15	(6) 1	(2) 1	(11) 8	(3) 4	(12) 15	(7) 2	(10) 21	(0) 0	(422) 390	(29) 15	(313) 246	(380) 412	(6) 6	(334) 856	(0) 2	
11		新規	安佐市民病院	2644	22.3	185	0	5	6	0	21	28	1	0	10	0	276	7	194	475	19	23	0	
9		更新	福山市民病院	(2221) 2313	(28.0) 27.0	(106) 246	(4) 3	(0) 1	(13) 16	(1) 0	(12) 11	(2) 1	(3) 8	(9) 0	(5) 11	(1) 0	(267) 237	(0) 0	(159) 135	(209) 150	(12) 10	(237) 196	(0) 2	
12		新規	NHO福山医療センター	1995	26.7	190	1	12	9	1	12	4	1	3	27	0	315	29	110	274	8	14	0	
更新10病院平均				(2631) 2631	(23.7) 23.3	(161) 227	(3) 3	(8) 13	(11) 10	(2) 0	(9) 12	(6) 7	(6) 7	(8) 4	(15) 17	(0) 0	(356) 382	(16) 15	(190) 208	(241) 320	(15) 14	(162) 270	(2) 4	

# 広島県 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向

●広島県では13の病院が指定要件を充足し、相談支援等を含めがん診療の地域拠点として機能している。  
 ●このうち、より高度ながん医療機能を確認し、複数指定により医療連携の促進効果が高い2病院を新たに推薦



## 更新・新規指定にかかる広島県の推薦方針(広島医療圏等)

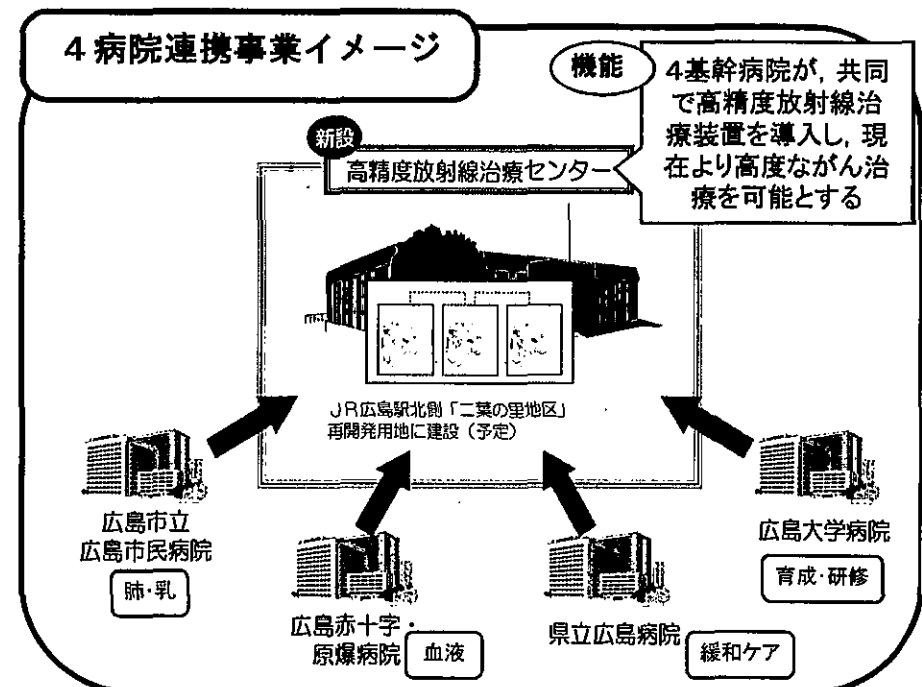
## ネットワークで構築する広島のがん医療提供体制

- 広島県では、広島市内の4基幹病院を中心として、5大がんに係る「がん医療ネットワーク」の構築を進めている
- 4病院は、いずれも600床を越える県内トップクラスの医療機関であり、これらを中核拠点病院群「ネットワーク型がんセンター」と位置付け、連携と機能分担を図ることで、県全体を対象とした、より高度ながん医療機能の提供を図ることとしている
- 平成18年の指定以降、関係者で協議を行い、その成果として次のとおり共同事業が推進されている
  - ・高度な放射線治療機能を集約した、新たな治療センターの整備
  - ・相互研修派遣による人材育成の実施(看護, 薬剤, 放射線, 臨床検査の4部門から)
  - ・5大がん以外のがんに関する機能分担等(今後検討を実施)

●また、広島医療圏において、この4病院に加え、新たに安佐市民病院を推薦する

●同病院は広島市郊外に位置し、広大な広島医療圏の北部地域において、備北医療圏や県外からの患者も受入れる地域の基幹病院である

●これを拠点病院として一層の機能強化を推進することで、圏域内の機能分担を進め、「ネットワーク型がんセンター」の医療機能の高度化を促進していく





更新・新規指定にかかる広島県の推薦方針(福山・府中医療圏)

連携により実現する県東部の高度ながん医療提供体制

● 県東部に位置する福山・府中圏域ではそれぞれ特長がある2病院が中核となってがん医療を提供している

福山市民病院・・・胃, 肝, 大腸がんなど消化器に強く, 緩和ケア病棟(16床)を有している

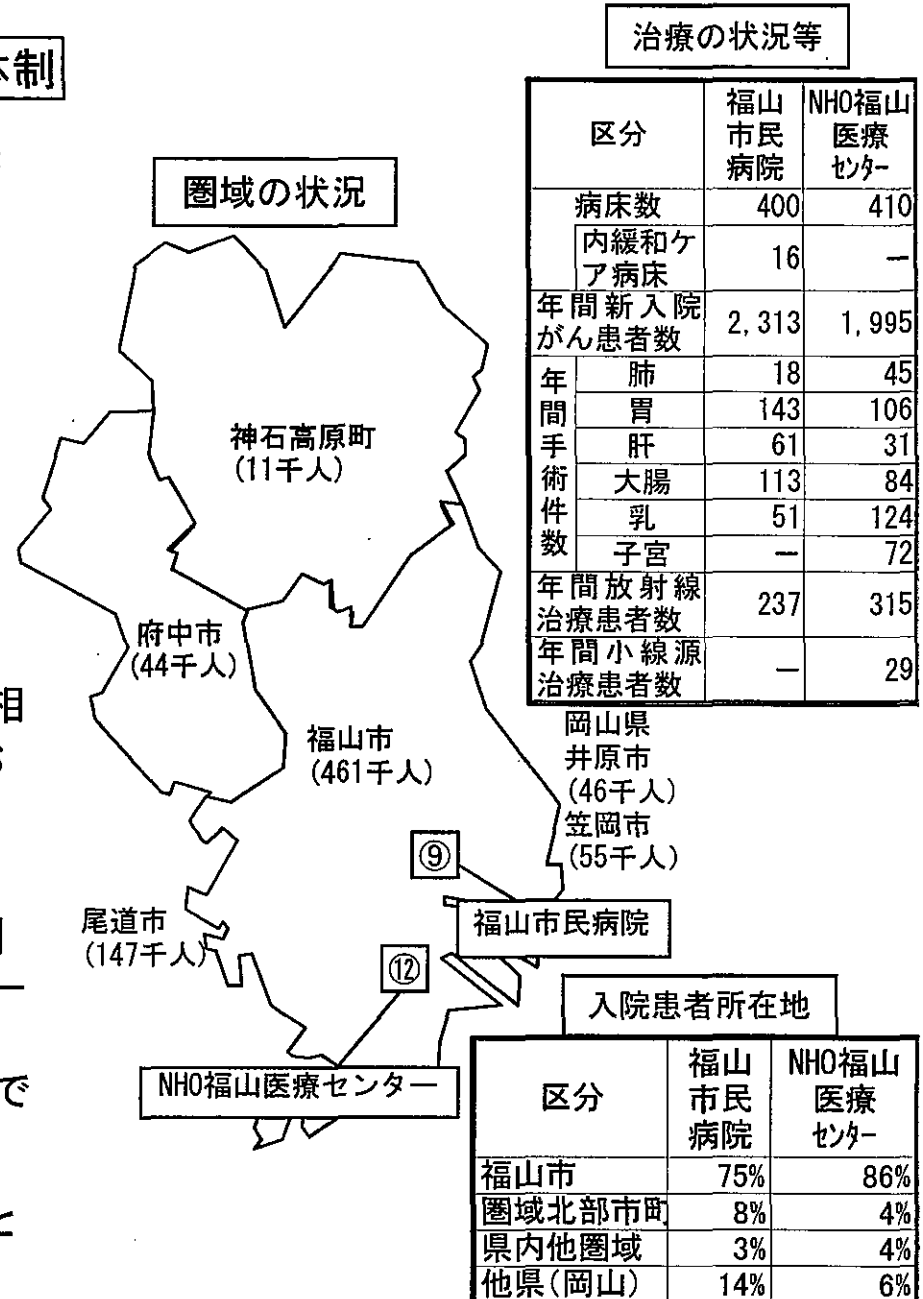
NHO福山医療センター・・・肺, 乳とともに子宮がんなど婦人科がんに強い

● これらの病院はいずれも400床程度と中規模であり, 単独では人口規模も大きい当該地域の, 多様ながん医療ニーズに応える体制を構築することは困難である

● 2病院が対等な立場で, それぞれの特長を生かし, 相互に補完しながら機能分担を推進することで, 地域において, より高度で専門性の高いがん医療提供体制の構築が可能となる

● また, 医療圏は南北に長く, 地域的にも2病院の役割は分担されているが, 特に新規推薦の福山医療センターは, 地域医療支援病院として医師会と在宅支援事業を立ち上げるなど地域連携の先進病院であり, 圏域全体でのがん医療の連携体制の構築が加速される

● 以上により, 当医療圏では, 福山市民病院の更新とともに, NHO福山医療センターを新たに推薦する



# 1 北海道

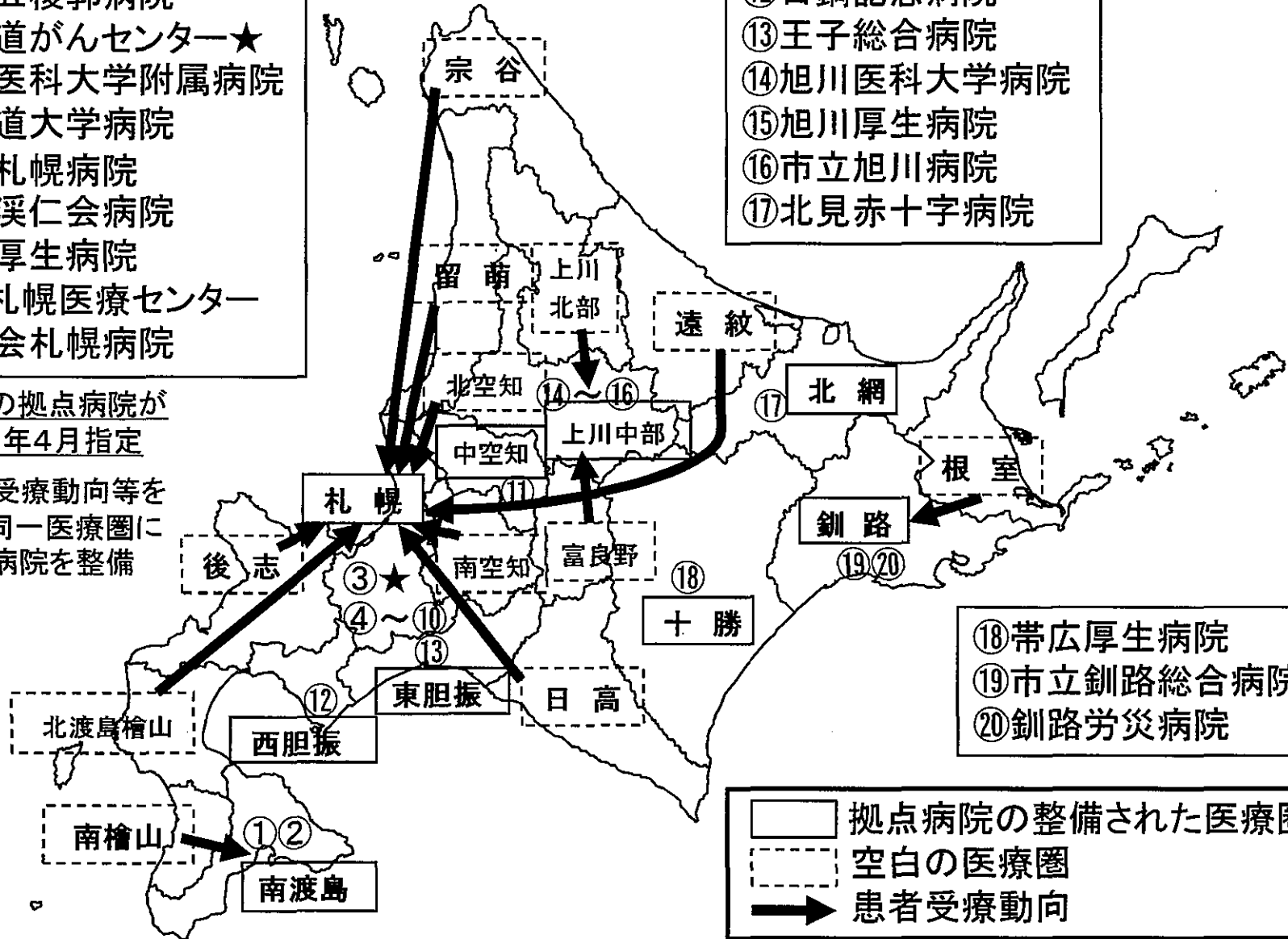
# 北海道 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向

- ①市立函館病院
- ②函館五稜郭病院
- ③北海道がんセンター★
- ④札幌医科大学附属病院
- ⑤北海道大学病院
- ⑥市立札幌病院
- ⑦手稲溪仁会病院
- ⑧札幌厚生病院
- ⑨KKR札幌医療センター
- ⑩恵佑会札幌病院

- ⑪砂川市立病院
- ⑫日鋼記念病院
- ⑬王子総合病院
- ⑭旭川医科大学病院
- ⑮旭川厚生病院
- ⑯市立旭川病院
- ⑰北見赤十字病院

※ 全ての拠点病院が平成21年4月指定

※ 患者受療動向等を踏まえ同一医療圏に複数の病院を整備



- ⑱帯広厚生病院
- ⑲市立釧路総合病院
- ⑳釧路労災病院

拠点病院の整備された医療圏  
 空白の医療圏  
➔ 患者受療動向

資料 2

※( )内は平成20年10月末提出の数値、下段は平成21年10月末提出の数値 ※申請区分は資料3の作成要領を参照のこと  
 ※一枚につき11病院を超える場合には、2枚にわたって表を作成してください。

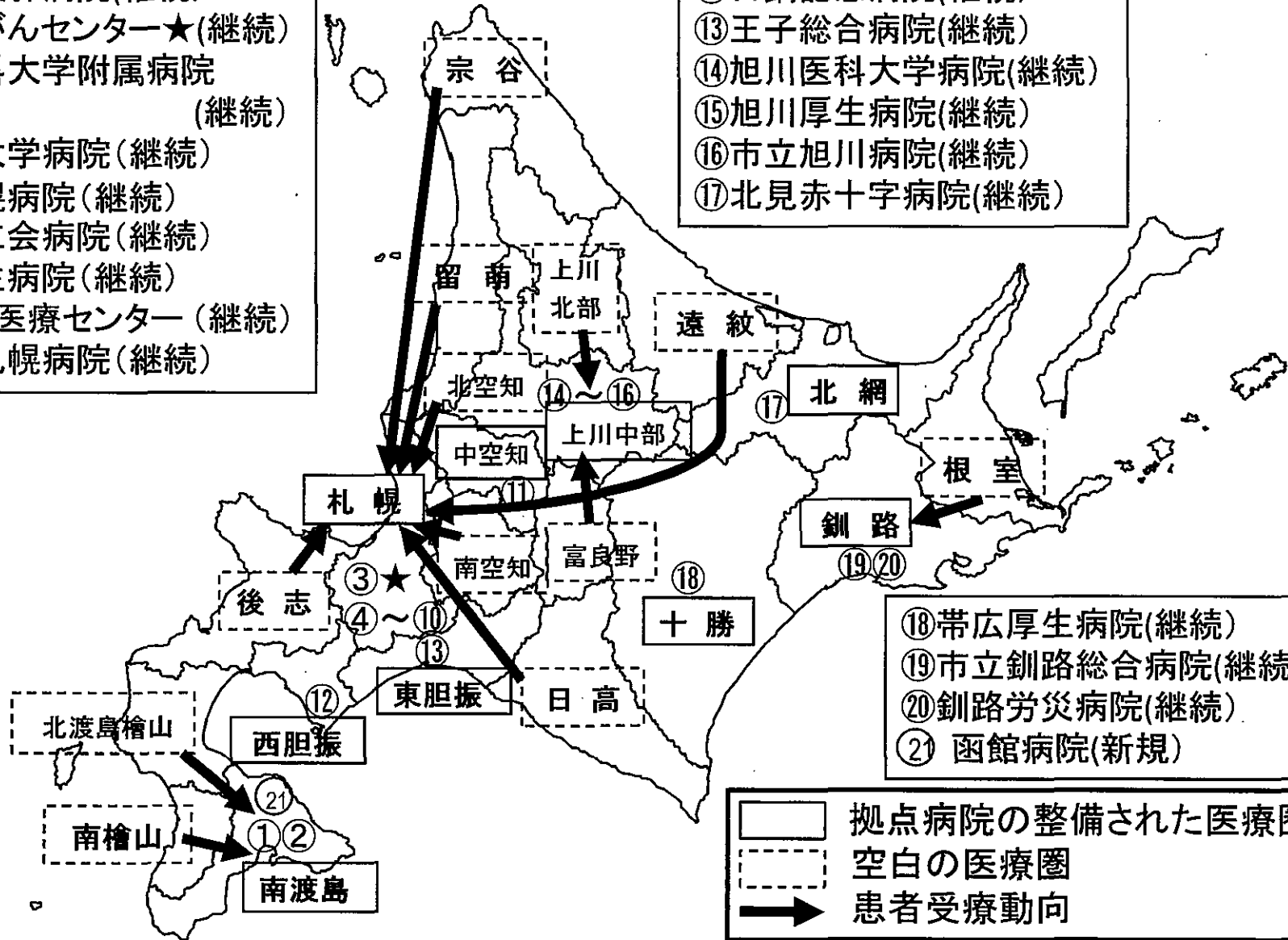
都道府県 or 地域	申請区分	病院名	年間入院患者数の状況			治療件数(手術件数)6~7月の集計										がんに係る放射線治療(6月~7月のケア集計)				相談支援センター		地域連携
			年間新入院がん患者数(1月~12月)	年間新入院患者数に占めるがん患者の割合(%)	悪性腫瘍手術総数	肺がん		胃がん手術		大腸がん手術		肝臓がん		乳がん		年間患者実数(1月~12月)		薬物療法のべ患者数		緩和ケアチームに対する新規診療依頼数(6~7月の集計)	相談支援センター相談件数(6~7月の集計)	
						開胸手術	胸腔鏡下手術	開腹手術	内視鏡手術粘膜炎切除術(EMR)	開腹手術	内視鏡手術	開腹手術	ラジオ波焼灼療法	乳癌手術	乳房再建術(乳房切除後)二期的に行うもの	体外照射	小線源治療	入院患者数	外来患者数			
1	現況	市立函館病院	(1617) 2,020	(18.9) 22.6	(91) 78	(0) 0	(3) 4	(8) 10	(0) 0	(13) 11	(5) 5	(2) 4	(17) 12	(8) 10	(0) 0	(349) 404	(0) 0	(476) 281	(234) 375	(24) 35	(59) 75	(0) 1
2	現況	函館五稜郭病院	(3515) 3,871	(30.7) 32.7	(165) 157	(1) 0	(7) 17	(17) 11	(1) 2	(15) 10	(0) 0	(2) 4	(0) 3	(26) 28	(0) 0	(314) 305	(0) 0	(175) 420	(338) 642	(19) 20	(16) 386	(0) 1
3	★現況	北海道がんセンター	(2422) 4,242	(58.7) 70.7	(238) 240	(6) 1	(29) 24	(5) 8	(0) 0	(12) 7	(1) 3	(1) 2	(5) 0	(42) 41	(0) 0	(1455) 1,458	(78) 133	(401) 106	(117) 256	(36) 53	472 554	(0) 0
4	現況	札幌医科大学附属病院	(4237) 3,986	(31.0) 29.6	(142) 100	(0) 0	(24) 17	(1) 1	(0) 0	(13) 0	(0) 4	(5) 4	(8) 8	(15) 14	(1) 1	(830) 773	(71) 54	(237) 317	(415) 168	(44) 30	(301) 163	(0) 0
5	現況	北海道大学病院	(4170) 4,151	(32.0) 31.2	(248) 211	(3) 5	(26) 23	(2) 1	(1) 0	(6) 4	(4) 10	(24) 26	(13) 0	(27) 23	(3) 1	(946) 1,270	(1) 26	(268) 284	(326) 442	(29) 40	(41) 164	(0) 0
6	現況	市立札幌病院	(2807) 3,029	(19.4) 20.9	(78) 212	(2) 4	(7) 9	(7) 13	(0) 0	(13) 16	(0) 1	(5) 6	(1) 7	(13) 12	(0) 0	(534) 562	(0) 0	(226) 276	(100) 111	(25) 37	(60) 60	(0) 5
7	現況	手稲溪仁会病院	(2842) 3,174	(19.0) 20.4	(308) 318	(3) 0	(13) 8	(5) 10	(1) 0	(5) 11	(3) 11	(3) 5	(18) 23	(9) 10	(0) 0	(260) 155	(0) 0	(200) 185	(364) 442	(7) 20	(35) 271	(0) 0
8	現況	札幌厚生病院	(2801) 2,718	(29.6) 30.0	(189) 210	(4) 0	(6) 8	(7) 7	(5) 4	(25) 16	(11) 11	(5) 11	(36) 29	(14) 7	(0) 0	(344) 447	(19) 11	(142) 288	(142) 267	(6) 9	(51) 39	(0) 1
9	現況	KKR札幌医療センター	(1781) 1,820	(17.9) 18.4	(102) 113	(0) 0	(5) 12	(7) 5	(1) 0	(9) 16	(7) 11	(1) 0	(10) 4	(16) 23	(0) 0	(392) 450	(0) 0	(102) 142	(135) 91	(3) 5	1322 903	(0) 1
10	現況	恵佑会札幌病院	(3686) 3,953	(60.1) 61.7	(225) 321	(11) 14	(19) 8	(16) 23	(1) 3	(53) 60	(44) 12	(5) 8	(0) 0	(9) 1	(0) 0	(609) 613	(0) 0	(183) 194	(407) 143	(23) 14	(120) 364	(0) 0

都道府県 or 地域	申請 区分	病院名	年間入院患者 数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計										放射線治療		がんに係る 薬物療法 (6月~7月のケ ア集計)		緩和 支援 セン ター		地域 連携	
			年間新 入院が ん患者 数(1 月~1 2月)	年間 新入 院患 者数 に占 める が ん患 者の 割合 (%)	悪性 腫瘍 手術 総数	肺がん		胃がん手術		大腸がん手 術		肝臓がん		乳がん		年間患者実 数 (1月~12月)		薬物療法の べ患者数		緩和 ケア チ ーム に 対 す る 新 規 診 療 依 頼 数 (6~7 月の 集計)	相 談 支 援 セ ン ター 相 談 件 数 (6~7 月の 集計)	退 院 共 同 指 導 料 2(6 ~7月 の集 計)
						開胸 手術	胸腔 鏡下 手術	開腹 手術	内視 鏡手 術粘 膜切 除術 (EMR)	開腹 手術	内視 鏡手 術	開腹 手術	ラジ オ波 焼灼 療法	乳癌 手術	乳房 再建 術(乳 房切 除後) 二期 的に 行う もの	体外 照射	小線 源治 療	入院 患者 数	外来 患者 数			
11	現況	砂川市立病院	(1377) 1,407	(17.9) 18.2	(72) 90	(1) 0	(2) 3	(7) 7	(0) 3	(19) 11	(0) 1	(1) 3	(0) 0	(5) 5	(0) 0	(190) 23	(0) 0	(137) 145	(236) 284	(11) 5	(107) 79	(1) 0
12	現況	日鋼記念病院	(1675) 1,293	(26.0) 21.6	(46) 48	(1) 1	(0) 1	(4) 1	(0) 1	(6) 7	(2) 7	(3) 2	(1) 2	(4) 4	(0) 0	(210) 273	(0) 0	(75) 84	(50) 67	(1) 8	(210) 177	(0) 0
13	現況	王子総合病院	(1445) 1,881	(18.0) 23.0	(202) 183	(5) 0	(9) 8	(31) 9	(1) 0	(8) 14	(1) 4	(6) 2	(3) 2	(8) 5	(0) 0	(445) 450	(0) 0	(119) 132	(104) 134	(8) 11	(15) 15	(0) 0
14	現況	旭川医科大学病院	(2511) 2,547	(23.7) 24.3	(133) 174	(0) 0	(16) 5	(5) 6	(0) 0	(19) 8	(1) 1	(7) 0	(3) 5	(30) 39	(0) 0	(451) 439	(11) 13	(170) 200	(82) 80	(7) 8	(7) 15	(4) 0
15	現況	旭川厚生病院	(2205) 2,536	(21.8) 24.1	(118) 166	(7) 0	(3) 8	(15) 9	(0) 0	(18) 17	(1) 2	(0) 0	(6) 7	(1) 10	(0) 0	(515) 642	(36) 28	(152) 149	(292) 192	(10) 13	(70) 67	(0) 3
16	現況	市立旭川病院	(1824) 1,880	(21.6) 22.8	(117) 96	(0) 0	(7) 1	(7) 6	(1) 4	(7) 14	(5) 3	(0) 0	(3) 4	(5) 5	(0) 0	(256) 274	(6) 3	(242) 335	(237) 241	(13) 6	(0) 25	(1) 0
17	現況	北見赤十字病院	(2071) 1,854	(19.1) 19.3	(107) 111	(0) 0	(1) 5	(7) 7	(1) 0	(6) 9	(0) 5	(1) 2	(6) 1	(6) 13	(0) 0	(700) 615	(0) 0	(81) 125	(124) 140	(2) 2	(34) 50	(3) 7
18	現況	帯広厚生病院	(1588) 1,869	(13.0) 19.4	(056) 147	(0) 0	(9) 11	(6) 11	(1) 1	(12) 13	(2) 4	(7) 2	(14) 17	(9) 16	(0) 0	(386) 442	(86) 11	(170) 206	(226) 408	(8) 7	(50) 74	(0) 0
19	現況	市立釧路総合病院	(1382) 2,005	(18.7) 20.9	(80) 170	(6) 1	(7) 5	(9) 11	(0) 0	(7) 7	(1) 4	(2) 0	(5) 10	(3) 5	(0) 0	(224) 340	(5) 11	(135) 174	(74) 119	(3) 3	(143) 168	(0) 0
20	現況	釧路労災病院	(1776) 1,814	(23.5) 25.7	(122) 146	(1) 2	(1) 0	(9) 5	(0) 0	(14) 22	(2) 2	(1) 4	(0) 1	(10) 19	(0) 0	(327) 329	(0) 0	(73) 122	(103) 100	(4) 3	(46) 3	(1) 0
21	新規	函館病院	1272	41.7	39	1	8	1	0	3	0	1	0	5	0	338	9	138	22	12	120	0

# 北海道 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向

- ①市立函館病院(継続)
- ②函館五稜郭病院(継続)
- ③北海道がんセンター★(継続)
- ④札幌医科大学附属病院  
(継続)
- ⑤北海道大学病院(継続)
- ⑥市立札幌病院(継続)
- ⑦手稲溪仁会病院(継続)
- ⑧札幌厚生病院(継続)
- ⑨KKR札幌医療センター(継続)
- ⑩恵佑会札幌病院(継続)

- ⑪砂川市立病院(継続)
- ⑫日鋼記念病院(継続)
- ⑬王子総合病院(継続)
- ⑭旭川医科大学病院(継続)
- ⑮旭川厚生病院(継続)
- ⑯市立旭川病院(継続)
- ⑰北見赤十字病院(継続)



- ⑱帯広厚生病院(継続)
- ⑲市立釧路総合病院(継続)
- ⑳釧路労災病院(継続)
- ㉑ 函館病院(新規)

## 今回の指定推薦等に係る道の考え方について

### ○ がん診療連携拠点病院の整備状況

整備目標 (北海道がん対策推進計画)	都道府県拠点病院 地域拠点病院	1カ所 20カ所
整備状況 (平成21年4月1日現在)	都道府県拠点病院 地域拠点病院	1カ所 19カ所

### ○ 今回推薦する病院

- ・ 病院名 独立行政法人国立病院機構 函館病院 (病床数 310床)
- ・ 推薦理由 年間新入院患者数の4割以上(H20→1, 272人)をがん患者が占め、圏域内のがん診療に積極的に取り組んでいる。

### ○ 整備による効果

- ・ 「南渡島」、「南檜山」、「北渡島檜山」の3つの二次医療圏からなる「道南」三次医療圏に、現在、2つの地域がん診療連携拠点病院が整備されており、今回、「南渡島」において、さらに1カ所整備することにより、3つの二次医療圏を3つの拠点病院でカバーすることが可能となる。
- ・ 道南圏域(特に「北渡島檜山」)から札幌圏に流出しているがん患者に対し、より身近な圏域で、高度ながん診療を提供することが可能となる。
- ・ 北海道がん対策推進計画における整備目標が達成され、計画期間(~H24年度)における本道のがん診療の均てん化を推進する体制が整う。

○ 都道府県がん診療連携協議会の設置（昨年度の確約事項）

- ・ 北海道がんセンター（都道府県がん診療連携拠点病院）において、「北海道がん診療連携協議会」を平成21年3月23日に設置した。
- ・ 協議会に、「相談・情報」、「がん登録」、「診療支援」、「地域連携クリティカルパス」及び「研修」の5つの専門部会を設置し、各拠点病院の連携や役割等について協議を行っている。
- ・ 今回推薦した病院を含めた圏域における各拠点病院の役割分担等については、指定後に開催する協議会において、協議を実施する。

○ 指定要件の未充足

- ・ 病院名 独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター
- ・ 項目 都道府県がん診療連携拠点病院の指定要件  
（当該都道府県におけるがん診療連携拠点病院が作成している地域連携クリティカルパスの一覧を作成・共有すること。）
- ・ 理由 現在、北海道がん診療連携協議会の地域クリティカルパス部会において、全道で共用できるパスのモデルを検討しており、この検討結果による各病院のパスの整備状況等を把握しながら、平成23年10月末までに充足する予定である。



# 19 山梨県

# 山梨県 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向

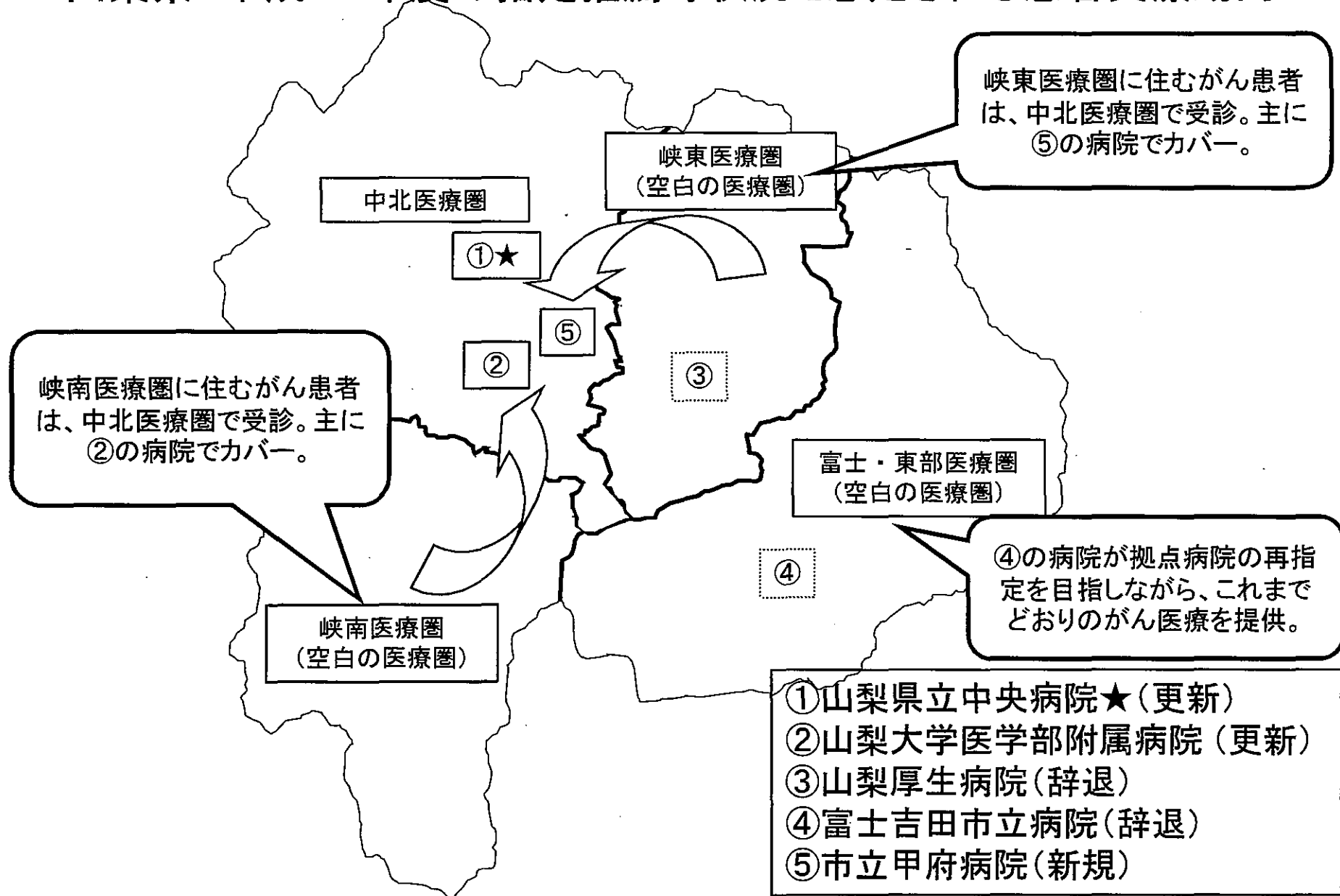


※( )内は平成20年10月末提出の数値、下段は平成21年10月末提出の数値 ※申請区分は資料3の作成要領を参照のこと  
 ※一枚につき11病院を超える場合には、2枚にわたって表を作成してください。

資料2

都道府県 or 地域	申請 区分	病院名	年間入院患者数の状況		治療件数(手術件数)6月～7月の集計												放射線治療		がんに係る薬物療法(6月～7月の集計)		緩和ケア	相談支援センター	地域連携
			年間 新入院がん患者数 (1月～12月)	年間 新入院患者数に占めるがん患者の割合 (%)	悪性腫瘍手術件数	肺がん		胃がん手術		大腸がん手術		肝臓がん		乳がん		年間患者実数(1月～12月)	薬物療法のべ患者数		緩和ケアチームに対する新規診療依頼数(6～7月の集計)	相談支援センター相談件数(6月～7月の集計)	退院時共同指導料2(6月～7月の集計)		
						開胸手術	胸腔鏡下手術	開腹手術	内視鏡手術粘膜炎切除術(EMR)	開腹手術	内視鏡手術	開腹手術	ラジオ波焼灼療法	乳癌手術	乳房再建術(乳房切除後)二期的に行うもの		体外照射	小線源治療				入院患者数	外来患者数
1	★	更新	山梨県立中央病院	(1,506) 1,485	(13.0) 12.6	(60) 61	(2) 1	(2) 3	(21) 18	(0) 0	(6) 7	(0) 0	(8) 9	(0) 0	(20) 20	(0) 0	(528) 528	(10) 11	(161) 180	(144) 161	(8) 8	(136) 132	(0) 0
2		更新	山梨大学医学部附属病院	(2,462) 2,639	(26.0) 26.0	(150) 139	(3) 2	(6) 6	(3) 10	(0) 0	(10) 15	(5) 4	(0) 12	(8) 14	(18) 19	(0) 0	(456) 417	(13) 15	(189) 320	(485) 212	(22) 30	(320) 390	(0) 0
3		辞退	山梨厚生病院	(848) 885	(15.4) 16.3	(20) 40	(0) 0	(0) 0	(1) 4	(0) 0	(13) 1	(3) 1	(0) 1	(1) 0	(3) 5	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(21) 26	(24) 33	(1) 3	(32) 46	(0) 0
4		辞退	富士吉田市立病院	(430) 672	(10.2) 11.4	(25) 50	(0) 0	(0) 1	(0) 7	(0) 1	(0) 4	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 4	(0) 0	(38) 30	(0) 0	(26) 25	(19) 59	(2) 2	(25) 8	(0) 0
5		新規	市立甲府病院	1,219	17.3	35	6	2	3	0	6	0	1	0	5	0	259	0	49	96	5	79	0

# 山梨県 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向



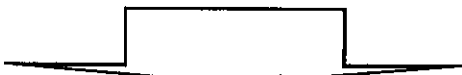
## 今回の指定推薦等に係る山梨県の考え方

- 全ての医療圏において、質の高いがん医療を提供することができるよう、がん医療の均てん化を図ることは重要と認識。
- 高度で専門的な医療機関が、中北医療圏に集中しており、二次医療圏ごとに拠点病院を整備することが困難な状況。



峡南医療圏と峡東医療圏については、立地状況や患者の受療動向等の観点から、これらの地域をカバーしうる中北医療圏内の病院を推薦

- また、富士・東部医療圏の拠点病院である富士吉田市立病院が指定要件を満たしていない。



再指定に向けて県も積極的に支援

中北医療圏：山梨県立中央病院(県拠点病院)〔※〕

峡南医療圏：中北医療圏にある山梨大学医学部附属病院(地域拠点病院)がカバー

峡東医療圏：中北医療圏にある市立甲府病院(地域拠点病院)がカバー

富士・東部医療圏：富士吉田市立病院〔地域拠点病院の再指定を目指す〕

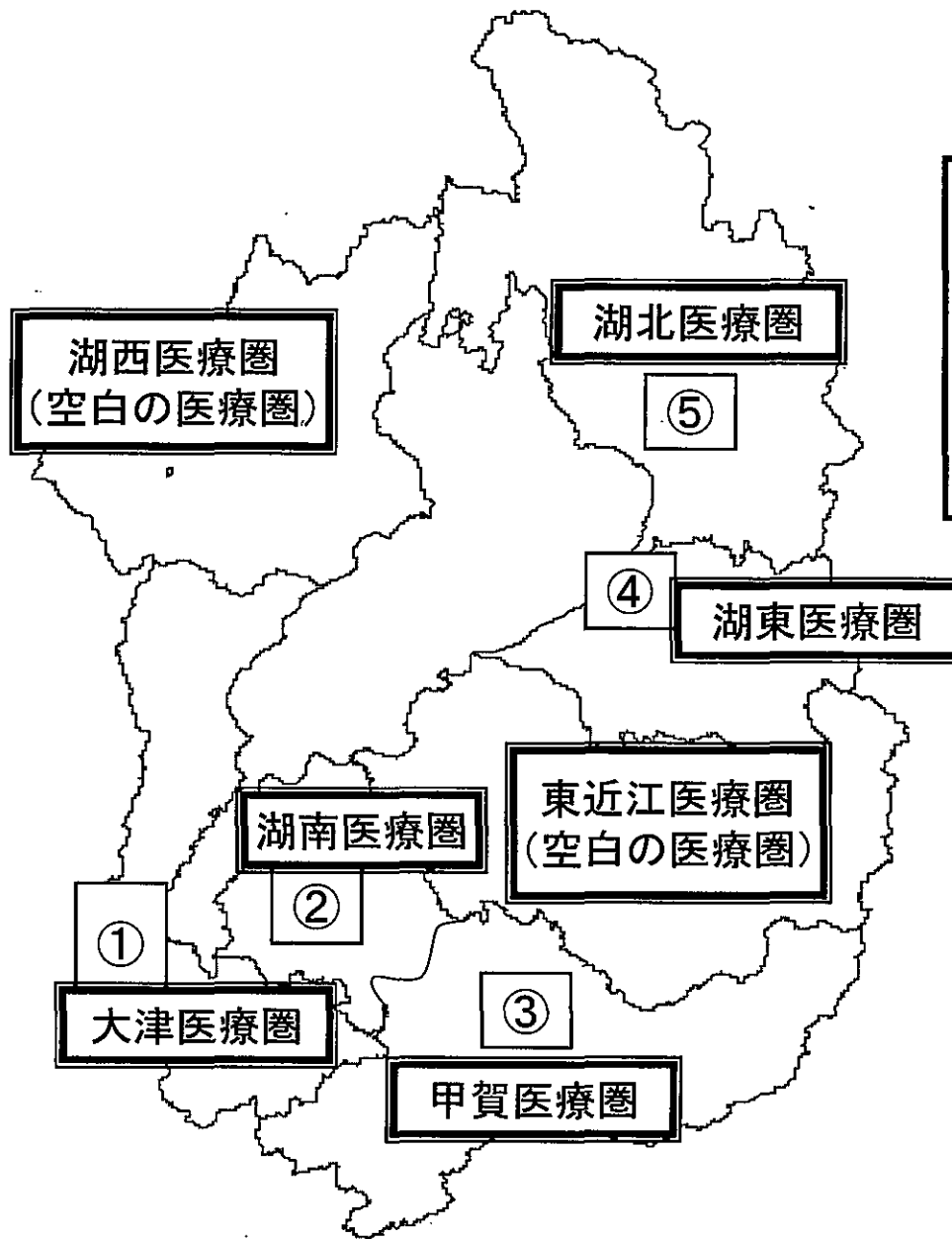
〔※〕 県拠点病院の必須要件である地域連携パスの一覧を作成・共有していない。これは、現在拠点病院において地域連携パスが作成されていないことによるものであり、平成23年10月までに山梨県立中央病院において、拠点病院が作成した地域連携パスの一覧を作成し、情報共有していく。

## がん診療連携拠点病院の現状と今後

医 療 圏	現 状 (平成21年度まで)	今 後 (平成22年度)
中 北 医 療 圏	山梨県立中央病院	指定更新(県拠点)
	山梨大学医学部 附属病院	指定更新(地域拠点)
		市立甲府病院 新規指定(地域拠点)
峡 南 医 療 圏	山梨大学医学部附属病院がカバー	
峡 東 医 療 圏	山梨厚生病院 指定辞退	市立甲府病院 がカバー
富 士 ・ 東 部 医 療 圏	富士吉田市立病院 指定辞退	□ □ 地域拠点病院再指定を目指す

# 25 滋賀県

# 滋賀県 平成21年4月1日現在の拠点病院の指定状況



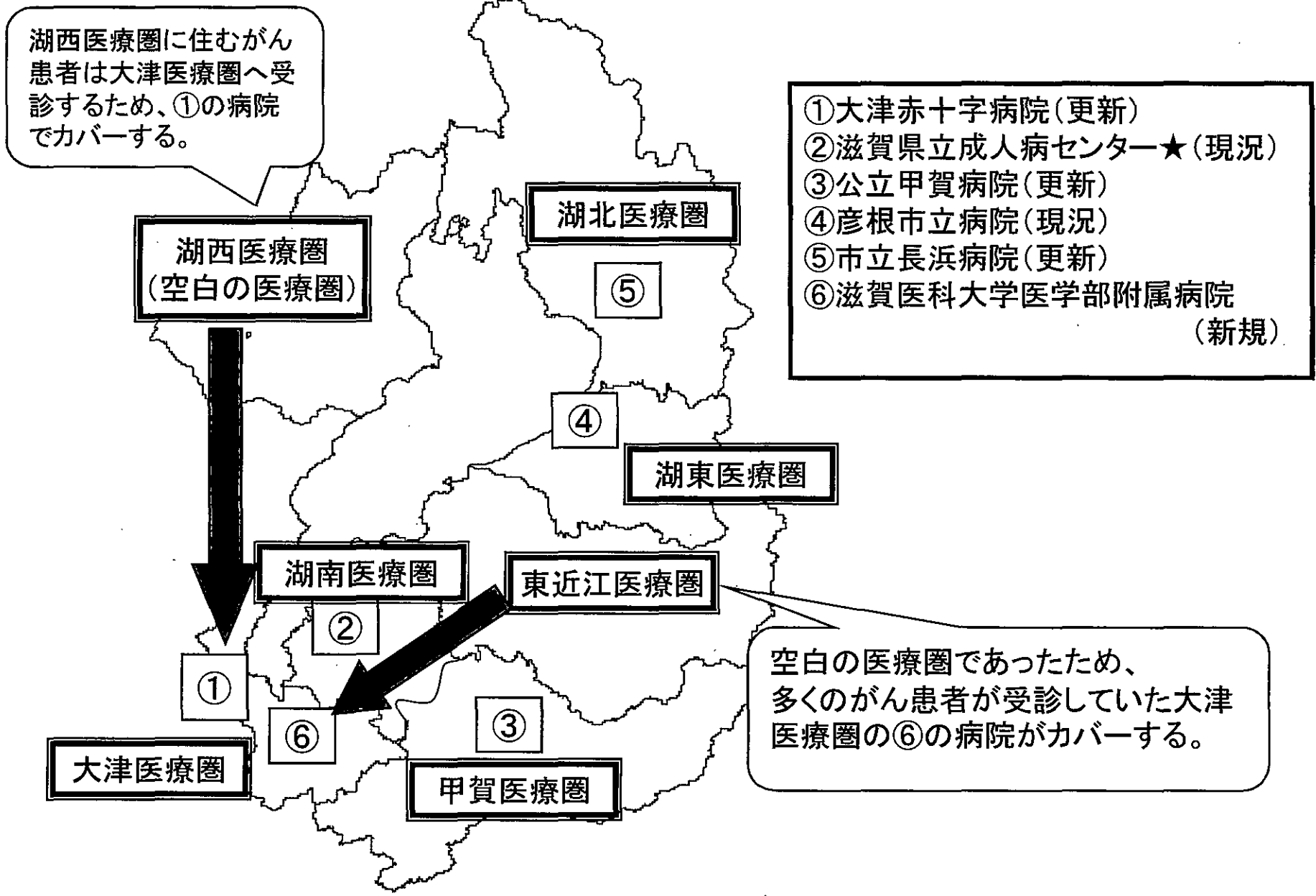
- ①大津赤十字病院(平成20年2月8日)
- ②滋賀県立成人病センター★  
(平成21年4月1日)
- ③公立甲賀病院(平成20年2月8日)
- ④彦根市立病院(平成21年4月1日)
- ⑤市立長浜病院(平成20年2月8日)



各拠点病院における平成20年9月1日時点と平成21年9月1日時点の  
 診療実績等の比較 ※( )内は平成20年9月1日時点

No.	都道府県 or 地域	申請区分	病院名	年間入院患者数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計										放射線治療		がんに係る薬物療法(6~7月の集計)		緩和ケア	相談支援センター	地域連携	
				年間新入院がん患者数(1~12月)	年間新入院患者数に占めるがん患者の割合	悪性腫瘍手術総数	肺がん		胃がん		大腸がん		肝臓がん		乳がん		年間患者実数(1月~12月)		薬物療法のべ患者数				
							開胸手術	胸腔鏡手術	開腹手術	内視鏡手術 粘膜切除術(EMR)	開腹手術	内視鏡手術	開腹手術	ラジオ波焼灼療法	手術	乳房再建術(乳房切除後)二期的に行うもの	体外照射	小線源治療	入院患者数				外来患者数
1		更新	大津赤十字病院	(2,144) 2,765	(14.8%) 18.8%	(151) 171	(0) 3	(6) 9	(20) 13	(1) 0	(13) 16	(9) 9	(4) 2	(21) 10	(8) 13	(0) 0	(393) 455	(0) 0	(171) 168	(334) 153	(8) 8	(35) 60	(0) 0
2	★	現況	滋賀県立成人病センター	(2,004) 2,317	(27.4%) 29.3%	(149) 116	(0) 0	(16) 5	(9) 3	(2) 0	(7) 3	(1) 3	(4) 8	(1) 3	(15) 9	(0) 1	(239) 267	(0) 0	(86) 127	(153) 151	(36) 30	(30) 34	(0) 0
3		更新	公立甲賀病院	(885) 1,010	(13.8%) 16.0%	(43) 57	(0) 0	(0) 0	(3) 5	(0) 4	(13) 8	(0) 14	(1) 0	(0) 1	(3) 6	(0) 0	(60) 49	(0) 0	(55) 92	(77) 74	(3) 10	(40) 47	(0) 0
4		現況	彦根市立病院	(1,219) 1,222	(16.4%) 17.4%	(35) 27	(3) 1	(2) 2	(5) 4	(2) 0	(2) 7	(6) 0	(0) 0	(1) 0	(4) 2	(0) 0	(141) 127	(0) 0	(56) 35	(31) 46	(16) 22	(55) 95	(0) 0
5		更新	市立長浜病院	(1,295) 1,379	(14.0%) 15.7%	(70) 73	(1) 0	(5) 11	(11) 5	(0) 0	(7) 9	(0) 2	(0) 0	(2) 0	(11) 5	(0) 0	(116) 146	(0) 0	(137) 183	(92) 193	(9) 23	(16) 40	(3) 6
6		新規	滋賀医科大学附属病院	2,904	28.0%	204	7	5	7	2	14	0	3	1	11	0	383	39	61	121	28	35	0

# 滋賀県 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向

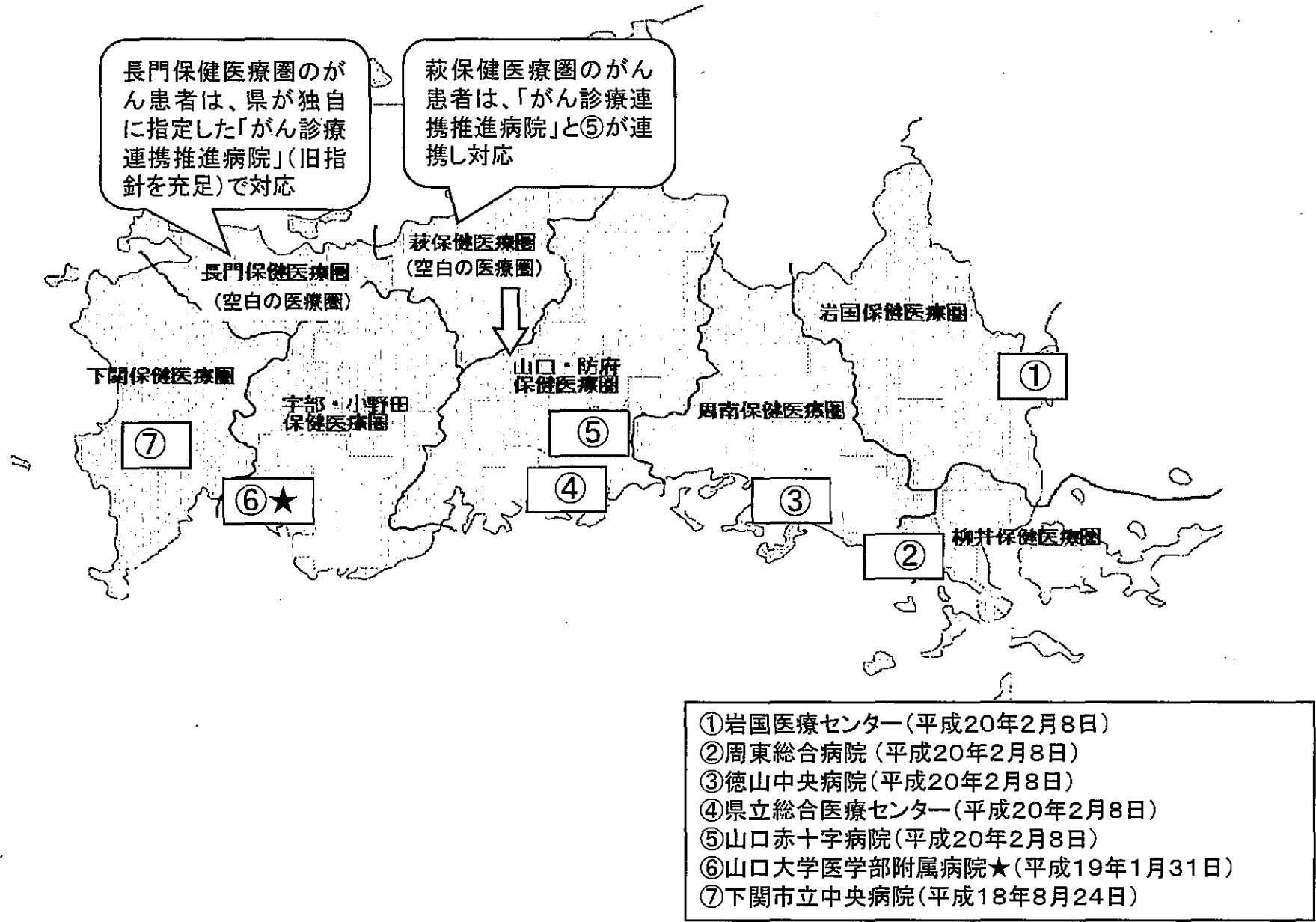


1. 滋賀県は2次医療圏が7圏域であり、現在都道府県がん診療連携拠点病院に1病院、地域がん診療連携拠点病院に4病院が指定されている。
2. その内、地域がん診療連携拠点病院である3病院（大津赤十字病院・市立長浜病院・公立甲賀病院）が更新申請している。
3. 更新申請した中の公立甲賀病院については、肺がんの院内がんクリティカルパスが未整備であったが、平成21年4月より常勤の呼吸器外科医を配置し作成・検討を開始。7月には院内クリティカルパス委員会においても検討。1月18日の院内クリティカルパス委員会にて承認後、院内周知し運用を始める予定。

4. 県としては、2次医療圏に1カ所のがん診療連携拠点病院の指定を目指している。
5. 空白の医療圏である東近江医療圏については、当該地域内の医療機関と連携が深く、多くのがん患者をカバーしている滋賀医科大学附属病院を地域がん診療連携拠点病院として今回推薦する。
6. もう一つの空白の医療圏である湖西医療圏については、当該地域のがん患者の通院圏域にある大津赤十字病院を県独自に滋賀県がん診療広域中核病院として指定しており、大津医療圏域と併せてその機能を果たしていくこととしている。

35 山口県

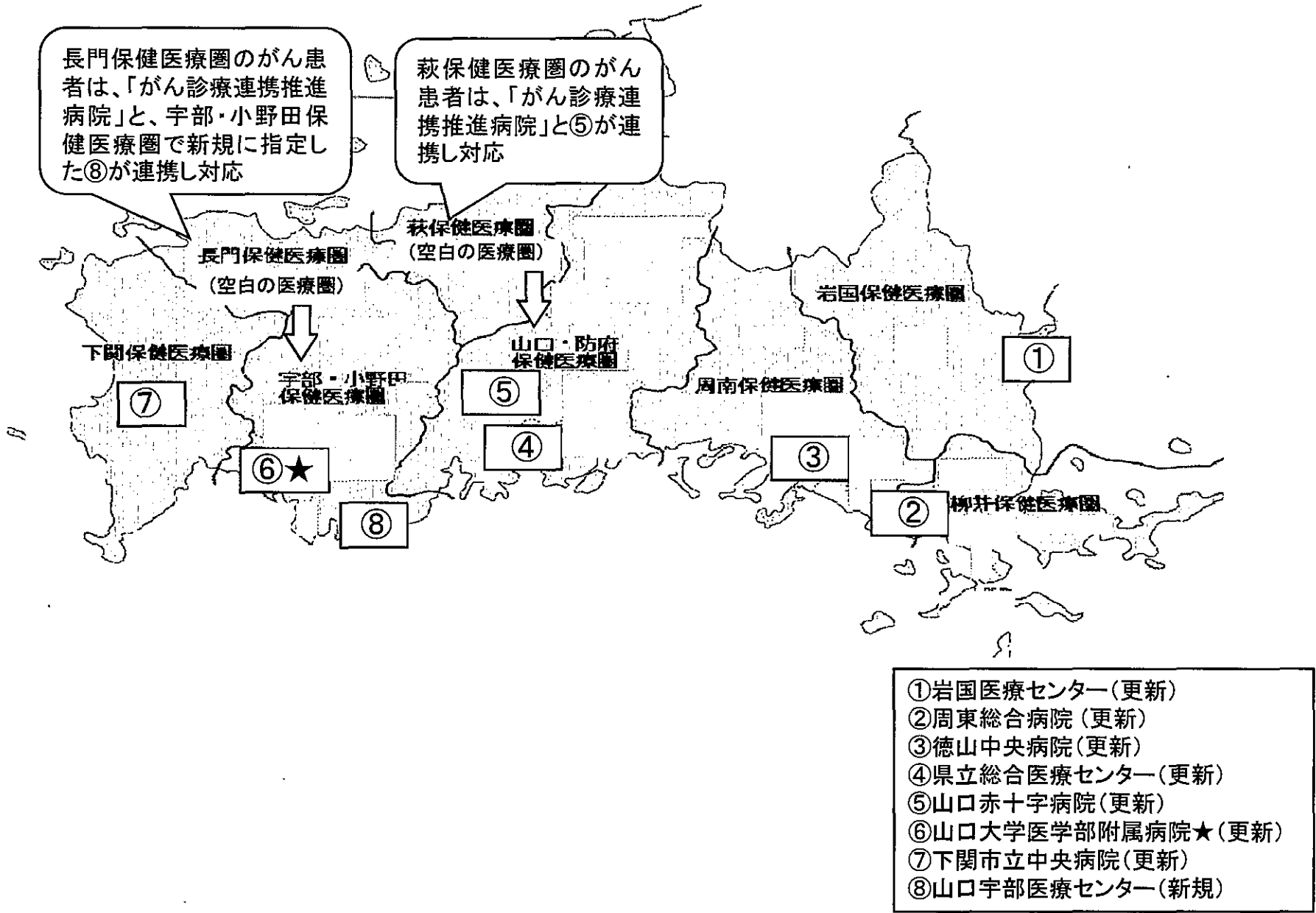
# 山口県 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向



資料 2

都道府県 or 地域	申請区分	病院名	年間入院患者数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計											放射線治療		がんに係る薬物療法(6月~7月の集計)		緩和ケア	相談支援センター	地域連携
			年間新入院がん患者数(1月~12月)	年間新入院がん患者数に占めるがん患者の割合(%)	悪性腫瘍手術総数	肺がん		胃がん手術		大腸がん手術		肝臓がん手術		乳がん		年間患者実数(1月~12月)		薬物療法の数患者数		緩和ケアチームに対する新規診療依頼数(6~7月の集計)	相談支援センター相談件数(6~7月の集計)	退院共同指導料2(6~7月の集計)
						開胸手術	胸腔鏡手術	開腹手術	内視鏡手術粘膜炎切除術(EMR)	開腹手術	内視鏡手術	開腹手術	ラジオ波焼灼療法	乳癌手術	乳房再建術(乳房切除後)二期的に行うもの	体外照射	小線源治療	入院患者数	外来患者数			
1	更新	岩国医療センター	(1,558) 1,743	(14.2) 16.0	(82) 139	(5) 7	(2) 0	(6) 8	0 0	(7) 6	(1) 3	(5) 6	(18) 0	(8) 7	0 0	(216) 195	0 0	(175) 50	(75) 103	(9) 8	(226) 257	0 0
2	更新	周東総合病院	(1,262) 1,303	(21.4) 19.9	(54) 71	0 0	(5) 2	(7) 4	0 0	(14) 21	0 1	(2) 4	(4) 12	(7) 6	0 0	(86) 96	0 0	(71) 89	(473) 544	(9) 7	(45) 32	(2) 4
3	更新	徳山中央病院	(1,236) 1,565	(12.0) 14.5	(182) 163	(2) 0	(5) 1	(23) 13	(1) 1	(17) 16	(5) 7	(2) 3	(20) 13	(11) 14	0 0	(230) 236	0 0	(168) 192	(188) 195	(8) 10	(152) 151	0 0
4	更新	県立総合医療センター	(1,576) 1,429	(15.5) 15.1	(91) 84	(2) 4	(7) 0	(5) 6	0 0	(13) 10	0 2	(3) 2	0 0	(7) 14	0 0	(157) 117	(7) 4	(173) 340	(110) 280	(4) 8	(137) 202	0 0
5	更新	山口赤十字病院	(1,549) 1,298	(16.9) 14.7	(50) 48	0 2	(2) 1	(2) 7	(4) 0	(8) 6	0 4	(1) 1	(1) 2	(5) 10	0 0	(140) 171	0 0	(52) 39	(65) 53	(7) 4	(24) 66	0 0
6	★更新	山口大学医学部附属病院	(4,193) 4,313	(34.3) 33.1	(193) 117	0 1	(7) 7	(12) 5	(1) 0	(16) 14	0 1	(6) 4	(9) 11	(15) 15	0 0	(404) 425	(11) 14	(272) 259	(474) 411	(35) 2	(71) 89	(1) 0
7	更新	下関市立中央病院	(1,575) 1,498	(23.0) 22.1	(72) 58	(4) 0	(5) 6	(5) 4	0 4	(8) 11	(1) 15	0 1	(5) 1	(8) 3	0 0	(286) 271	0 0	(341) 82	(76) 158	(2) 4	(83) 57	0 2
8	新規	山口宇部医療センター	- 1,242	- 50.4	- 51	- 5	- 39	- 0	- 0	- 2	- 1	- 0	- 0	- 3	0 0	192 0	0	153	126	13	43	1

# 山口県 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向





## 【指定推薦に係る考え方】

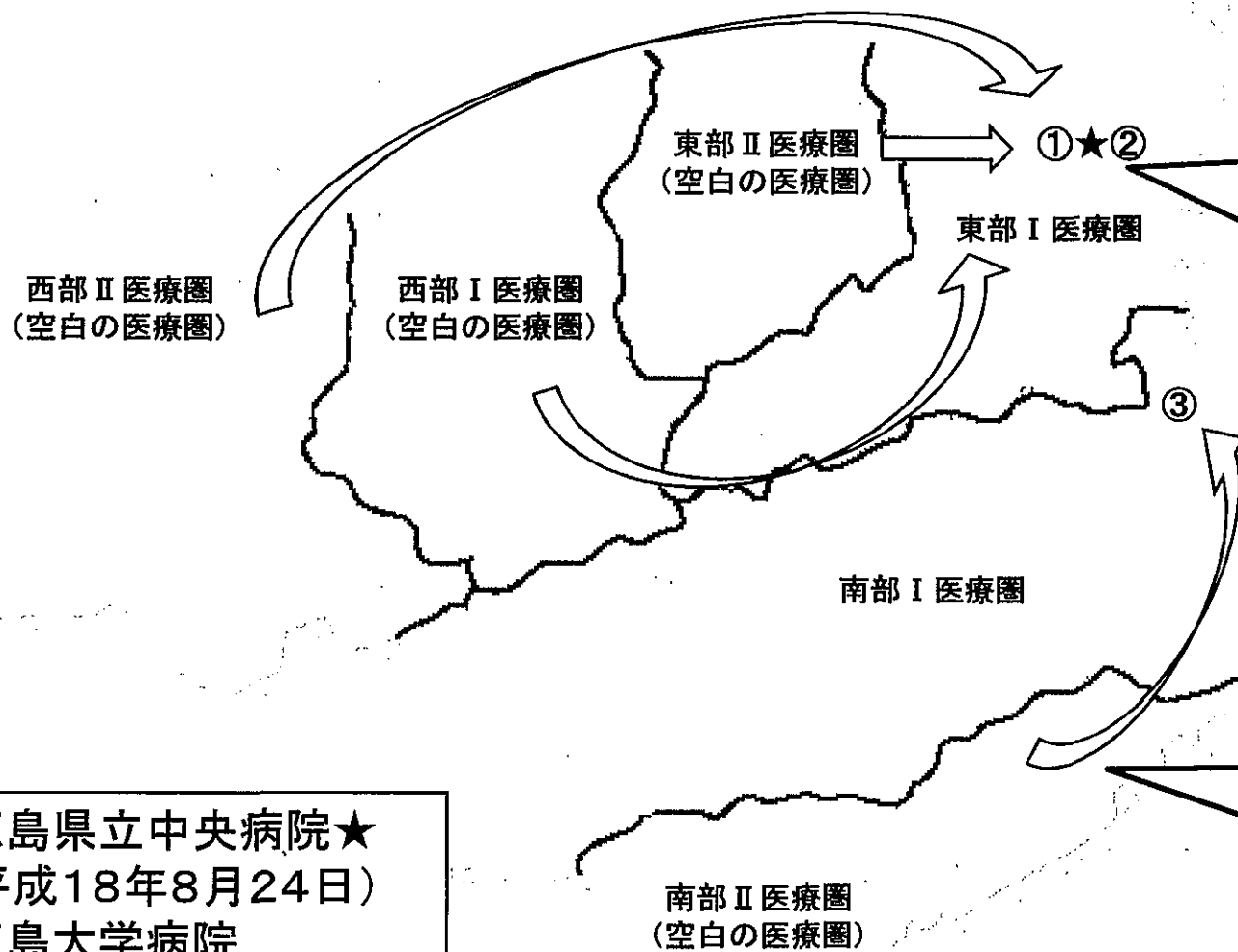
- がんは本県の死亡原因の第1位であり、本県では平成20年3月に策定した「山口県がん対策推進計画」に基づき、地域のがん医療の中核を担うがん診療連携拠点病院の整備を推進するなど、がん医療の均てん化や質の向上を図っているところである。
- 地域がん診療連携拠点病院については、各地域において等しく質の高いがん医療を提供するため、二次医療圏ごとの整備を基本とするとともに、指定要件を満たす地域がん診療連携拠点病院がない医療圏(萩、長門医療圏)については、がん診療連携拠点病院に準ずる病院を県独自に「がん診療連携推進病院」として指定(旧整備指針を充足)し、隣接する地域がん診療連携拠点病院と連携を図りながら、がん医療の水準向上に努めていくこととしている。
- 本県では、現在、8つの二次医療圏のうち、6医療圏において7病院ががん診療連携拠点病院の指定を受けており、このうち、宇部・小野田医療圏の山口大学医学部附属病院は、都道府県がん診療連携拠点病院として県がん診療連携の中核的役割を担っている。この山口大学医学部附属病院を中心に各拠点病院間でのより緊密なネットワーク網を形成し、全ての県民がいつでも、どこでも安心して質の高いがん医療が受けられる体制を構築していくこととしている。
- 今回は、引き続き6医療圏において7病院を地域がん診療連携拠点病院として更新推薦するとともに、がん診療連携拠点病院のない長門医療圏に係るがん医療の補完、本県のがん死亡で一番高い死亡率の肺がんに係る高度な専門医療の提供、さらには緩和ケア病棟を有し県下の緩和ケア診療体制の向上にも努めている山口宇部医療センター(宇部・小野田医療圏)を地域がん診療連携拠点病院として新規推薦する。

## 《山口宇部医療センターの概要》

- 手術に加え、化学療法、放射線療法等、集学的治療を行っており、緩和ケアにいたる全ての分野において専門医が最先端の医療を提供しており、特に、本県のがん死亡で一番高い死亡率を示している肺がんについては、手術件数(年間200件以上)では全国トップクラスの実績を有し、また、県内医療機関と連携し、肺がん患者を受け入れる(年間約700人)とともに各種研修を実施するなど、県内における呼吸系がん医療水準の向上に大きな貢献を果たしている。さらに、腫瘍内科医や呼吸器系外科医を増員(いずれも県外から)することにより、呼吸器系に関する診療機能の充実のみならず、他のがん拠点病院の診療水準の向上支援にも努めている。
- 緩和ケアに関しては、県内で初の緩和ケア病棟を平成10年に整備(25床)するとともに、緩和ケアチーム、緩和ケア外来などの充実も図るなど治療から終末期ケアまで対応できる体制が整っていることから、当医療圏内で緩和ケア病棟がない山口大学医学部附属病院の緩和ケア機能を補完する役割を果たすとともに、県内の医師、看護師など医療職全体を対象とした当院独自の緩和ケア研修会を定期的で開催するなど、県内の緩和ケア診療体制の向上に努めている。
- がん診療連携拠点病院がない隣接の長門医療圏に対しては、肺がんをはじめとして 同医療圏の医療機関と連携を図り、がん診療連携推進病院を補完する形で患者を受け入れている。さらに、患者の退院後も同医療圏の病院と患者情報を共有し、病状悪化時等に備えた後方支援を行っている。
- 以上のように、がん診療連携拠点病院のない隣接の長門医療圏の補完のみならず、呼吸器系腫瘍医療や緩和ケア医療については全県的な取組が期待されることから、このたび新たに地域がん診療連携拠点病院として指定推薦するものである。

# 3 6 徳 島 県

# 徳島県 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向



隣接している①②の病院が地理的特性を活かして互いに協力し、東部I医療圏のみならず、空白の東部II医療圏、西部I医療圏及び西部II医療圏のがん患者をカバーする。

南部II医療圏に住むがん患者は、南部I医療圏へ受診するため、③の病院でカバーする。

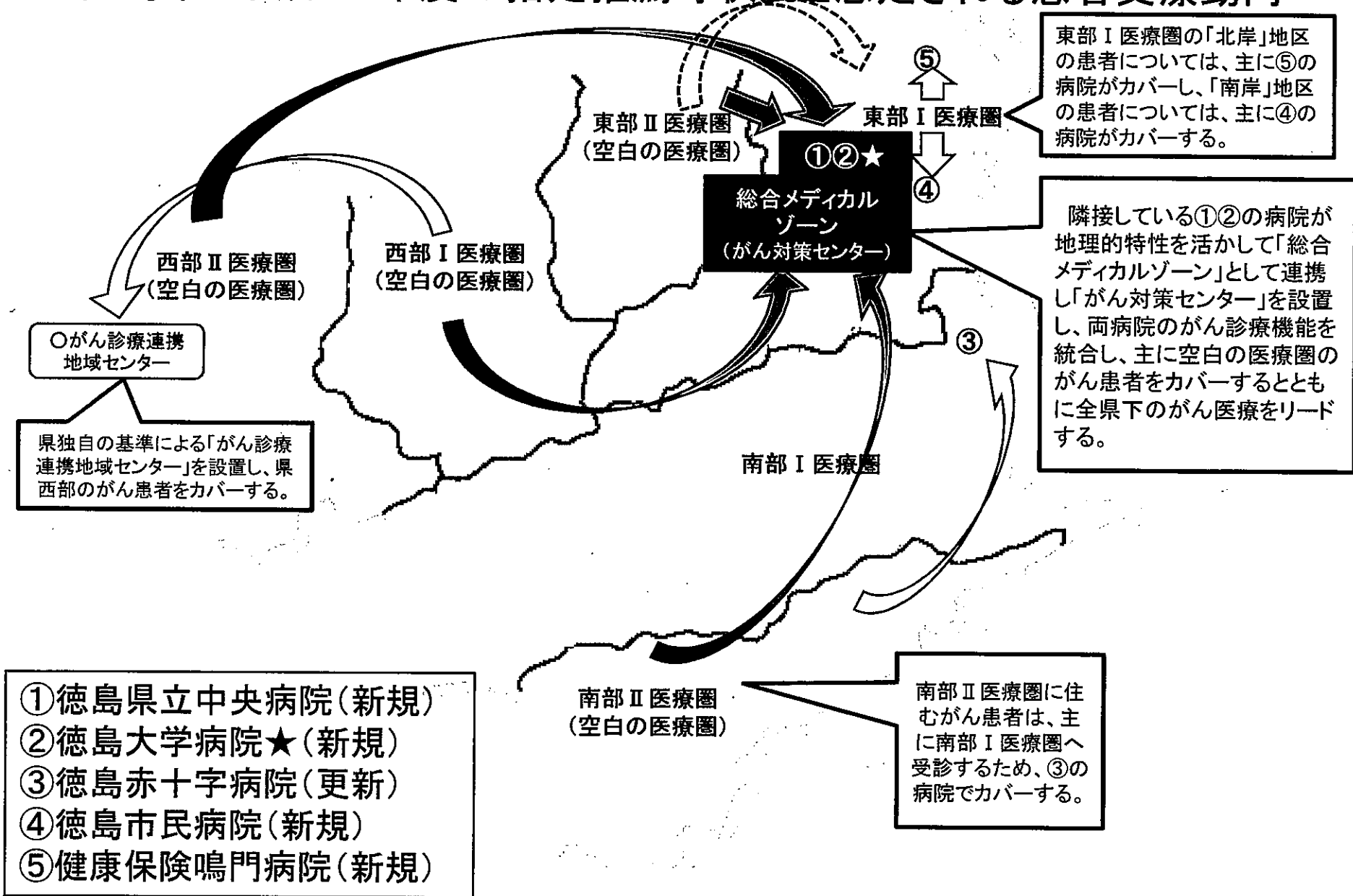
- ①徳島県立中央病院★  
(平成18年8月24日)
- ②徳島大学病院  
(平成19年1月31日)
- ③徳島赤十字病院  
(平成19年1月31日)

資料 2

※( )内は平成20年10月末提出の数値、下段は平成21年10月末提出の数値 ※申請区分は資料3の作成要領を参照のこと  
 ※一枚につき11病院を超える場合には、2枚にわたって表を作成してください。

都道府県 or 地域	申請 区分	病院 名	年間入院患者数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計										放射線治療		がんに係る 薬物療法 (6月~7月の 集計)		緩和 ケア	相談 支援 セン ター	地域 連携		
			年間 新入 院が ん患 者数 (1月 ~12 月)	年間 新入 院患 者に 占め るが ん患 者の 割合 (%)	肺がん		胃がん手術		大腸がん手術		肝臓がん		乳がん		年間患者実 数 (1月~12月)		薬物療法の べ患者数		緩和 ケア チー ムに 対す る新 規診 療依 頼数 (6~7 月の 集計)	相談 支援 セン ター 相 談件 数(6 ~7月 の集 計)	退院 時共 同指 導料2 (6~7 月の 集計)		
					悪 性 瘍 手 術 総 数	開 胸 手 術	胸 腔 下 手 術	開 腹 手 術	内 視 鏡 手 術 粘 膜 切 除 術 (EM R)	開 腹 手 術	内 視 鏡 手 術	開 腹 手 術	ラ ジ オ 波 焼 灼 療 法	乳 癌 手 術	乳 房 再 建 術 (乳 房 切 除 後) 二 期 的 に 行 う も の	体 外 照 射	小 線 源 治 療	入 院 患 者 数				外 来 患 者 数	
1	★	新規	徳島 大学 病院	(3404) 3936	(42.5) 36.7	(304) 401	(14) 2	(13) 11	(6) 13	(1) 0	(3) 5	(0) 0	(10) 5	(30) 24	(14) 15	(3) 0	(872) 756	(88) 91	(256) 290	(206) 720	(7) 17	(407) 144	(0) 0
2		新規	徳島 県立 中央 病院	(1747) 1743	(19.7) 20.3	(151) 166	(1) 2	(8) 13	(9) 4	(0) 1	(12) 13	(9) 8	(0) 0	(5) 28	(1) 0	(0) 0	(150) 108	(0) 0	(97) 94	(70) 50	(16) 14	(71) 61	(0) 0
3		更新	徳島 赤十 字病 院	(1659) 1589	(12.5) 11.7	(90) 148	(0) 4	(2) 1	(4) 6	(2) 0	(12) 15	(2) 4	(2) 3	(6) 2	(6) 4	(0) 0	(232) 216	(0) 0	(184) 115	(238) 415	(13) 22	(67) 43	(0) 0
4		新規	徳島 市民 病院	1564	22.7	80	0	4	4	0	8	0	1	6	6	0	108	0	116	180	13	18	0
5		新規	健康 保険 鳴門 病院	971	17.1	39	0	0	4	0	5	3	0	0	0	0	66	0	60	60	12	72	0

# 徳島県 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向



# 指定更新推薦等に係る徳島県の考え方

## 1. 基本的な考え方

### **(1)「総合メディカルゾーン」主導による県下のがん医療水準の向上を図ります。**

県立中央病院と徳島大学病院は、隣接している地理的特性を最大限に活かすため、「総合メディカルゾーン」として一体的に整備し、県下の診療・教育・研究の一層の発展のため、連携を進めていくことを平成17年8月に合意しています。

「総合メディカルゾーン」は、「地域医療再生計画」においても、「徳島がん対策センター(仮称)」を設置し、両病院の高度先端医療機器や専門職の相互活用など、がん診療機能を統合することでがん先端医療を提供するとともにがん診療連携拠点病院のない地域におけるがん医療を支援するなど、本県のがん医療をリードします。

### **(2)「地域がん診療連携拠点病院」を追加するとともに、県独自の基準を設け、がん医療の均てん化とネットワーク体制を整備します。**

現在のところ、東部Ⅱ、南部Ⅱ、西部Ⅰ、Ⅱの各医療圏にはがん診療連携拠点病院の指定要件を満たす病院がなく、指定要件である高度医療機器の整備や専門医師の配置を各医療圏に整備することは、近年中には困難な状況であると考えます。

このため、指定要件を満たしている東部Ⅰ医療圏内の徳島市民病院と健康保険鳴門病院を地域がん診療連携拠点病院とし、本県の「がん診療の質の向上」及び「がん診療の連携協力体制」の整備促進を図ります。

また、県独自の基準を設け、「がん診療連携拠点病院に準ずる病院」(「がん診療連携地域センター」(仮称))を空白の医療圏(西部Ⅱ)において指定し、県内のがん医療の均てん化を図るとともに、がん診療連携拠点病院とのネットワーク化を推進します。

## 2. 東部 I 医療圏において複数の病院が指定されることの効果

### (1) 本県の地理的特徴による圏域内のがん医療支援体制が構築されます。

東部 I 医療圏は、県下最大人口を保有する徳島市、そのベッドタウン的位置づけで人口増加傾向にある板野郡の藍住町、北島町、松茂町を含む地域であり、県人口の約57%を占めています。

圏域内のがん医療提供体制をさらに強化するために、「徳島市民病院」と「健康保険鳴門病院」を「地域がん診療連携拠点病院」に推薦します。本県の地理的特徴として、県の中央を吉野川が流れており、その「北岸」については「健康保険鳴門病院」が、「南岸」については「徳島市民病院」が中心となって圏域内におけるがん医療を支援します。

### (2) 専門診療医療機関によるがん医療体制の構築がより一層促進されます。

「徳島県保健医療計画」及び「徳島県がん対策推進計画」の中で、本県のがん医療体制を構築するため、「専門診療医療機関」「標準診療医療機関」を定めることとしております。

「徳島市民病院」と「健康保険鳴門病院」はともに専門診療医療機関であり、本県の医療体制の中心として、標準診療医療機関、その他の医療機関との連携体制を整えるとともに、検診から在宅医療まで切れ目のない医療提供体制を推進する中心的役割を担っています。

以上のことから、両病院が「地域がん診療連携拠点病院」として指定されることにより、がん医療体制の構築がより一層促進されると考えております。

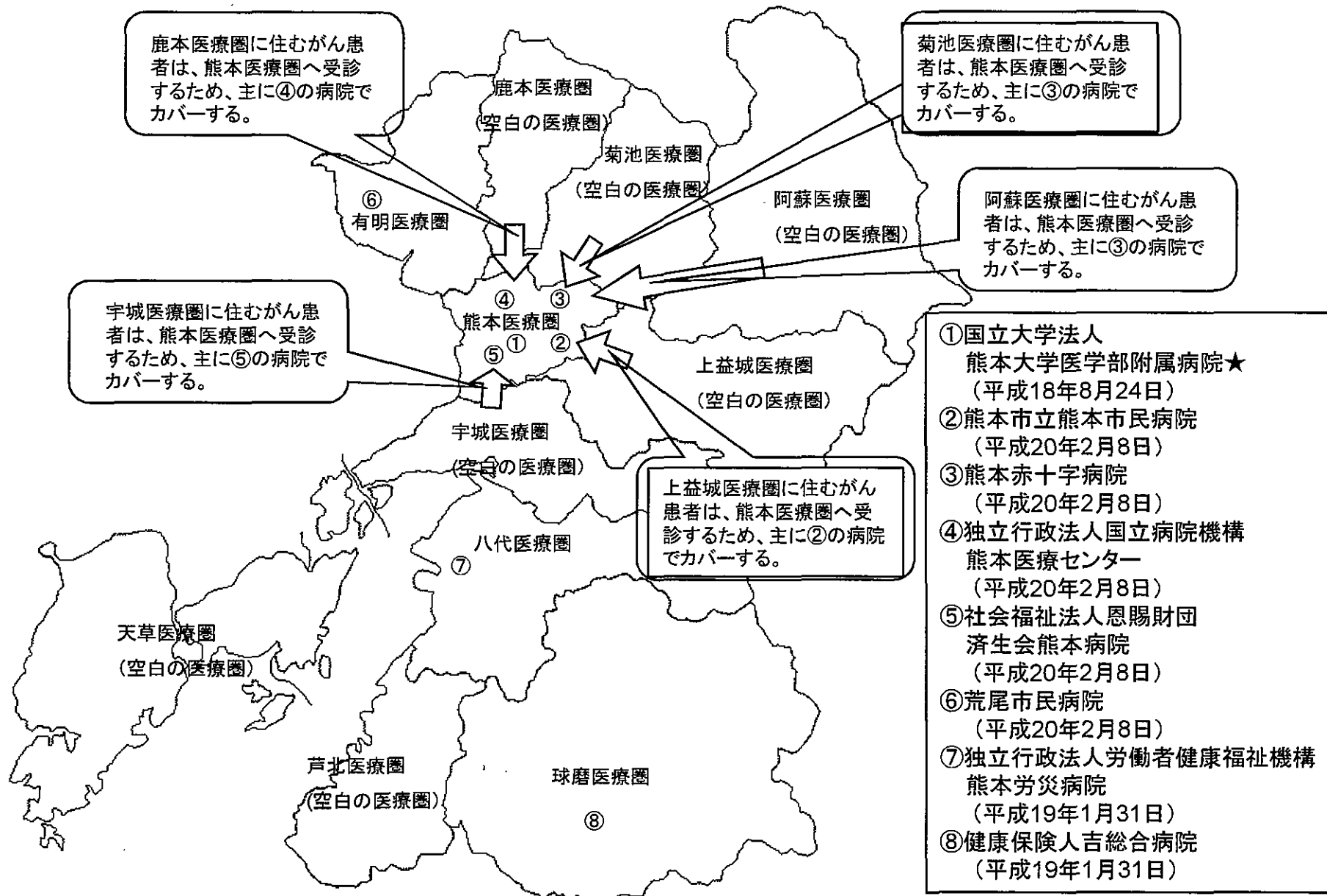
## 3. 指定要件に係る補足説明（「徳島県がん診療連携協議会」について）

現在、「徳島県がん診療連携協議会」は県立中央病院の主催により開催されておりますが、徳島大学病院が都道府県がん診療連携拠点病院の指定を受けた場合は、同病院主催により平成22年3月末までに同協議会を開催する旨の確約書が提出されています。



# 4 3 熊 本 県

# 熊本県 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向



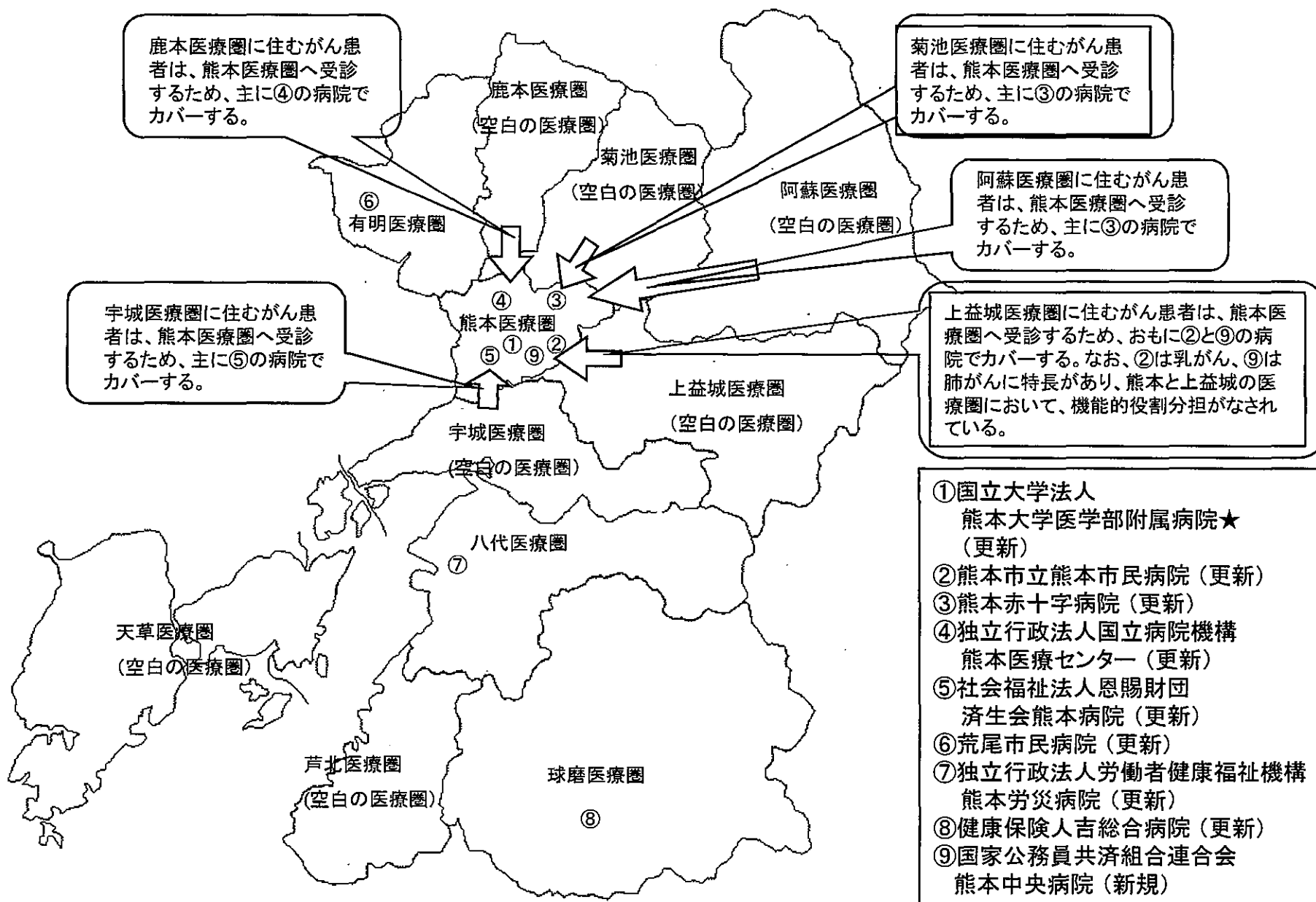
- ① 国立大学法人  
熊本大学医学部附属病院★  
(平成18年8月24日)
- ② 熊本市立熊本市民病院  
(平成20年2月8日)
- ③ 熊本赤十字病院  
(平成20年2月8日)
- ④ 独立行政法人国立病院機構  
熊本医療センター  
(平成20年2月8日)
- ⑤ 社会福祉法人恩賜財団  
済生会熊本病院  
(平成20年2月8日)
- ⑥ 荒尾市民病院  
(平成20年2月8日)
- ⑦ 独立行政法人労働者健康福祉機構  
熊本労災病院  
(平成19年1月31日)
- ⑧ 健康保険人吉総合病院  
(平成19年1月31日)

資料2

※( )内は平成20年10月末提出の数値、下段は平成21年10月末提出の数値 ※申請区分は資料3の作成要領を参照のこと  
 ※一枚につき11病院を超える場合には、2枚にわたって表を作成してください。

都道府県 or 申請区分 or 地域	病院名	年間入院患者数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計										放射線治療		がんに係る薬物療法(6月~7月の集計)		緩和ケア	相談支援センター	地域連携	
		年間 新入院 がん患者 数(1月 ~12月)	年間 新入院 患者数に 占める がん患者 の割合(%)	悪性 腫瘍 手術 総数	肺がん		胃がん手術		大腸がん手術		肝臓がん		乳がん		年間患者実数 (1月~12月)	薬物療法のべ 患者数		緩和ケ アチー ムに対 する新 規診療 依頼数 (6~7 月の集 計)	相談支 援セン ター相 談件数 (6~7 月の集 計)	退院 時共 同指 導料 2 (6~ 7月の 集計)	
		開胸 手術	胸腔 鏡下 手術	開腹 手術	内視鏡 手術 粘膜切 除術 (EMR)	開腹手 術	内視鏡 手術	開腹手 術	ラジ オ波 焼灼 療法	乳癌 手術	乳房再 建術(乳 房切除 後)二 期的に 行うもの	体外照 射	小線 源治 療	入院患 者数	外来 患者 数						
1★	更新 熊大医学部附属病院	(6973) 6724	(53.1) 48.8	(275) 390	(1) 1	(14) 19	(6) 4	(1) 4	(2) 8	(3) 0	(11) 17	(34) 25	(20) 28	(0) 0	(475) 544	(17) 18	(0) 0	(0) 0	(17) 14	(48) 126	(0) 1
2	更新 熊本市市民病院	(2192) 2194	(21.0) 20.9	(132) 176	(0) 0	(2) 3	(5) 6	(0) 2	(7) 7	(1) 3	(0) 0	(0) 1	(37) 66	(0) 0	(397) 368	(0) 0	(122) 122	(170) 170	(10) 8	(45) 166	(1) 8
3	更新 熊本赤十字病院	(1977) 2363	(13.0) 16.3	(104) 208	(0) 3	(1) 4	(5) 9	(1) 0	(15) 22	(8) 14	(2) 2	(4) 3	(8) 4	(0) 0	334 375	(89) 54	(155) 121	(132) 139	(45) 16	(29) 30	(0) 3
4	更新 熊本医療センター	(2546) 2579	(19.4) 19.6	(85) 109	(0) 0	(0) 0	(2) 4	(0) 4	(7) 12	(0) 2	(1) 12	(0) 0	(1) 0	(0) 0	(325) 288	(26) 59	(202) 238	(90) 102	(11) 7	(51) 192	(0) 0
5	更新 済生会熊本病院	(2388) 1695	(19.1) 18.9	(297) 312	(1) 2	(14) 22	(7) 13	(2) 2	(21) 22	(10) 7	(6) 2	(1) 1	(3) 6	(0) 0	(238) 256	(0) 0	(66) 81	(215) 224	(42) 30	(211) 186	(0) 0
6	更新 荒尾市民病院	(702) 677	(19.7) 19.4	(54) 46	(0) 0	(0) 0	(3) 0	(0) 18	(0) 7	(2) 0	(0) 1	(1) 0	(2) 0	(0) 0	(121) 132	(0) 0	(24) 59	(23) 65	(7) 24	(21) 111	(0) 0
7	更新 熊本労災病院	(430) 1470	(4.8) 16.5	(71) 68	(0) 0	(2) 5	(3) 1	(4) 0	(2) 2	(0) 1	(0) 0	(0) 0	(0) 7	(0) 0	(96) 83	(0) 0	(31) 53	(57) 74	(11) 10	(10) 135	(1) 0
8	更新 人吉総合病院	(745) 771	(16.9) 17.1	(48) 43	(1) 0	(5) 3	(9) 7	(1) 0	(4) 5	(2) 3	(0) 3	(0) 1	(8) 3	(0) 0	(105) 126	(0) 0	(44) 74	(44) 102	(5) 5	(335) 58	(0) 0
9	新規 熊本中央病院	1728	20.3	133	7	26	0	0	9	0	0	0	1	0	290	0	76	85	30	44	0

# 熊本県 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向



## 1 熊本県の各二次医療圏の状況

### (1) 熊本医療圏と隣接する医療圏の状況

- ・本県の人口、医療資源は熊本市を圏域とする熊本医療圏に集中  
病院数90で県全体の41%を占める。
- ・熊本医療圏に隣接する宇城、鹿本、阿蘇、上益城の5医療圏は、熊本医療圏にある医療機関での受療割合が高く、当該5医療圏には、現在、がん診療連携拠点病院の指定要件を満たす医療機関が立地していない。
- ・熊本医療圏に立地する医療機関が隣接する各医療圏の拠点性を担っていることを踏まえて、担当の医療圏を設定のうえ、がん診療連携拠点病院を指定し、それぞれの医療圏の均てん化を図ることが必要。

### (2) その他の医療圏の状況

- ・有明、八代、球磨の3医療圏においては、各圏域において拠点性を有し指定要件を満たす医療機関を推薦。
- ・芦北、天草の2医療圏は、受療状況からも同圏域内での受療割合が高いが、がん診療連携拠点病院の指定要件を満たす医療機関が無く、がん医療の均てん化を図るうえで、課題が残る圏域である。

## 2 担当医療圏

- 熊本県の各二次医療圏の状況を踏まえた担当医療圏一覧

病院名	担当医療圏	病院名	担当医療圏
熊大医学部附属病院	全県	済生会熊本病院	熊本、宇城
熊本市民病院	熊本、上益城	荒尾市民病院	有明
熊本中央病院		熊本労災病院	八代
熊本医療センター	熊本、鹿本	人吉総合病院	球磨
熊本赤十字病院	熊本、菊池、阿蘇		

※ 熊本市民病院と熊本中央病院の機能的役割分担について

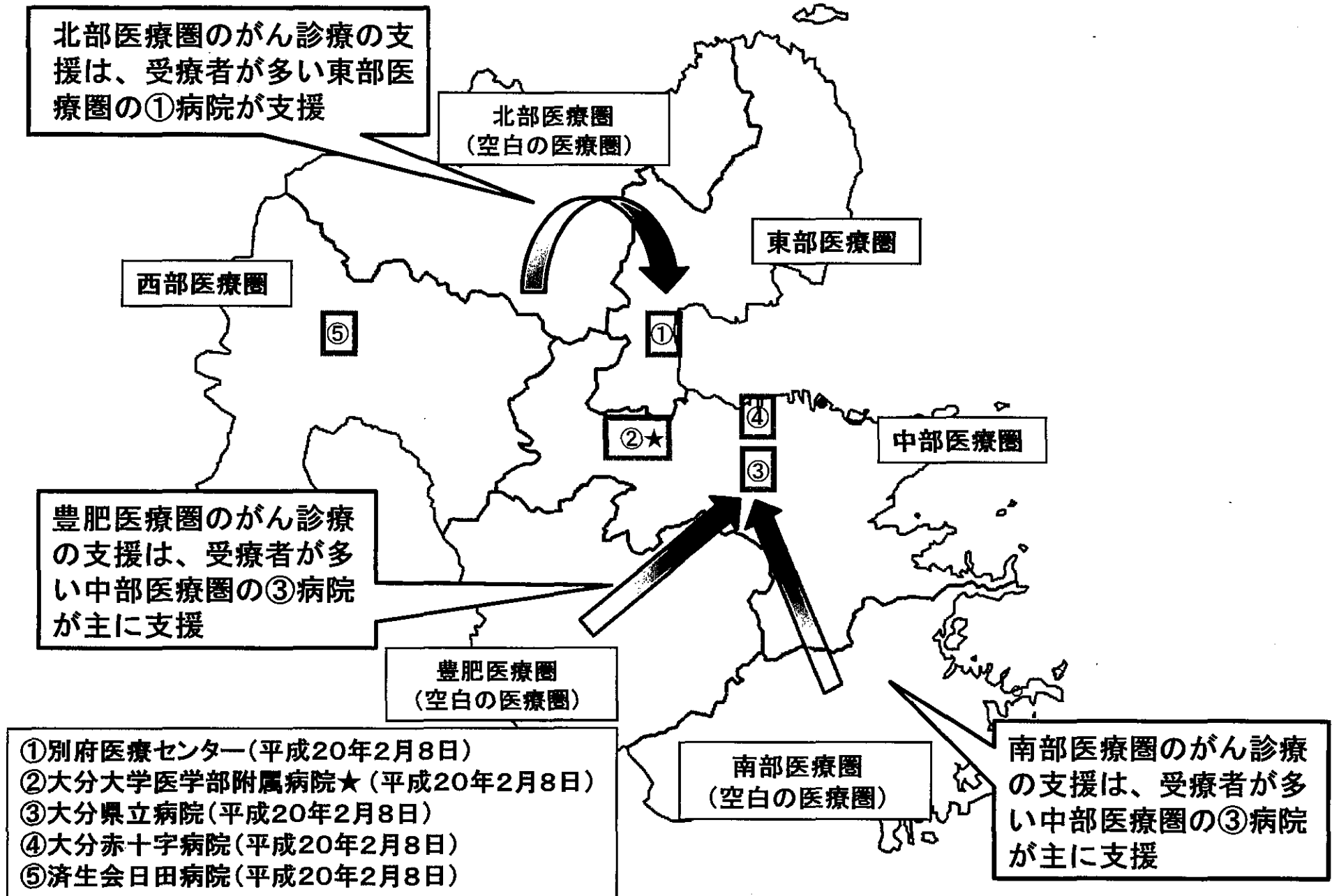
熊本市民病院と、熊本中央病院は担当する2つの医療圏が同じであるが、熊本市民病院では乳がん、熊本中央病院では肺がんについての手術件数等が、それぞれ県内トップであり、それぞれの特長を生かし、担当する医療圏内において、機能的役割分担がなされている。

部位	新入院患者数 (H21.6~7月)		手術件数 (H21.6~7月)		放射線治療患者実人数 (H21.6~7月)	
	熊本市民	熊本中央	熊本市民	熊本中央	熊本市民	熊本中央
全	366	320	176	133	-	-
肺	24	111	3	33	3	28
胃	10	26	8	1	0	0
大腸	19	31	10	9	0	0
肝臓	11	4	1	0	2	2
乳	169	6	66	1	39	10

※熊本中央病院は、前立腺がんにおいても、県内全てのがん診療連携拠点病院の手術件数の8割程度(H20.7~12月DPC調査データ(厚生労働省HP掲載値)から集計)を占めており、県全体の前立腺がん治療水準の向上についても、役割を担うことが期待される。

# 4 4 大 分 県

# 大分県 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向



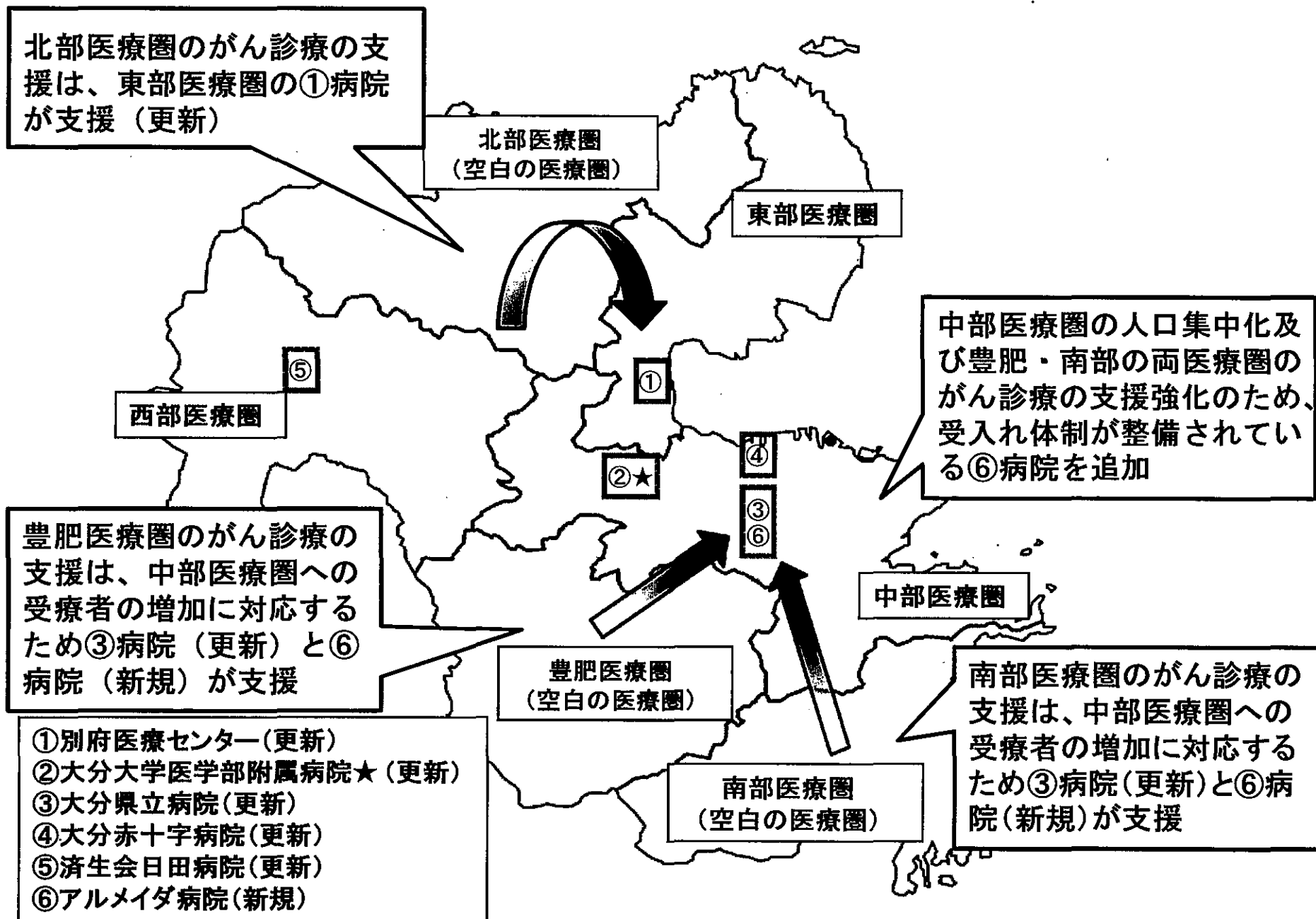


資料 2

※( )内は平成20年10月末提出の数値、下段は平成21年10月末提出の数値 ※申請区分は資料3の作成要領を参照のこと  
 ※一枚につき11病院を超える場合には、2枚にわたって表を作成してください。

都道府県 or 地域	申請 区分	病院 名	年間入院患者数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計										放射線治療		がんに係る 薬物療法 (6月~7月の 集計)		緩和 ケア	相談 支援 セン ター	地域 連携 ター	
			年間 新入 院が ん患 者数 (1月 ~12 月)	年間 新入 院患 者に 占め るが ん患 者の 割合 (%)	悪性 腫瘍 手術 総数	肺がん		胃がん手術		大腸がん手術		肝臓がん		乳がん		年間患者実 数 (1月~12月)		薬物療法の べ患者数		緩和 ケア チー ムに 対す る新 規診 療依 頼数 (6~7 月の 集計)	相談 支援 セン ター 相 談件 数(6 ~7月 の集 計)	退院 共同 指 導料 2 (6~7 月の 集計)
						開胸 手術	胸腔 鏡下 手術	開腹 手術	内視 鏡手 術 粘 膜切 除術 (EM R)	開腹 手術	内視 鏡手 術	開腹 手術	ラジオ 波焼 灼療 法	乳癌 手術	乳房 再建 術(乳 房切 除後) 二期 的に 行う もの	体外 照射	小線 源治 療	入院 患者 数	外来 患者 数			
1	更新	別府医療センター	(1499) 1600	(21.0) 20.8	(73) 80	(0) 0	(12) 2	(6) 4	(0) 1	(5) 16	(0) 1	(1) 2	(5) 5	(8) 11	(0) 0	(184) 215	(57) 0	(85) 74	(22) 42	(19) 15	(15) 42	(0) 0
2	★更新	大学附属病院	(2508) 2434	(26.8) 24.0	(190) 185	(7) 3	(8) 14	(8) 4	(2) 0	(6) 1	(0) 0	(2) 2	(2) 1	(3) 8	(0) 0	(289) 353	(6) 26	(232) 208	(192) 244	(37) 35	(18) 50	(1) 0
3	更新	大分県立病院	(3168) 3520	(27.9) 31.9	(100) 123	(2) 3	(9) 5	(6) 4	(0) 0	(6) 7	(4) 0	(0) 2	(6) 0	(18) 16	(0) 0	(364) 418	(12) 14	(78) 159	(141) 385	(10) 17	(60) 62	(1) 0
4	更新	赤十字病院	(2055) 1780	(27.7) 24.4	(95) 89	(4) 6	(0) 0	(5) 7	(1) 0	(8) 10	(4) 6	(8) 10	(3) 2	(5) 0	(0) 0	(191) 155	(0) 0	(69) 70	(149) 215	(34) 16	(27) 50	(0) 0
5	新規	アルメイダ病院	987	15.0	73	4	2	10	0	11	1	3	0	0	0	107	0	63	32	4	22	0
6	更新	済生会病院	(522) 597	(15.6) 18.8	(25) 15	(1) 3	(2) 0	(7) 2	(0) 0	(5) 5	(0) 0	(1) 0	(0) 0	(2) 4	(0) 0	(82) 113	(0) 0	(46) 46	(89) 109	(7) 13	(14) 78	(0) 0

# 大分県 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向



# 今回の指定推薦の考え方(1)

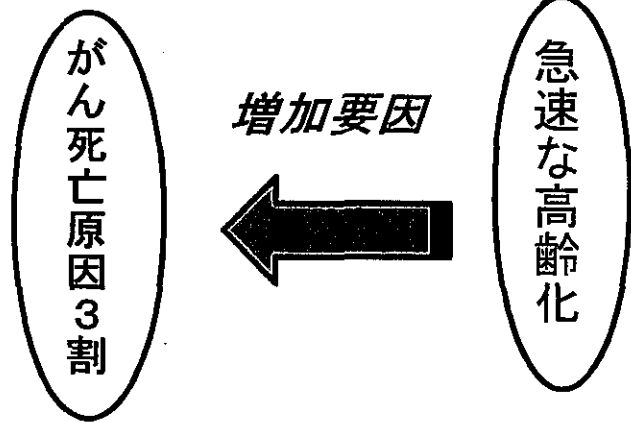
## ・大分県の現状

6医療圏中3医療圏が空白状態

空白医療圏  
豊肥医療圏・南部医療圏・北部医療圏

中部医療圏・東部医療圏の人口・医療資源の集中

全人口の66%、病院の62%  
がん医療機関(100床以上)67%



2次医療名	面積	人口	人口割合	病院数
東部医療圏	803.03	222,152	18.6	37
中部医療圏	1,190.83	567,254	47.4	64
南部医療圏	903.38	77,223	6.4	9
豊肥医療圏	1,081.03	64,313	5.4	9
西部医療圏	1,224.04	98,890	8.3	21
北部医療圏	1,136.84	166,819	13.9	24
計	6,339.15	1,196,651	100.00	164

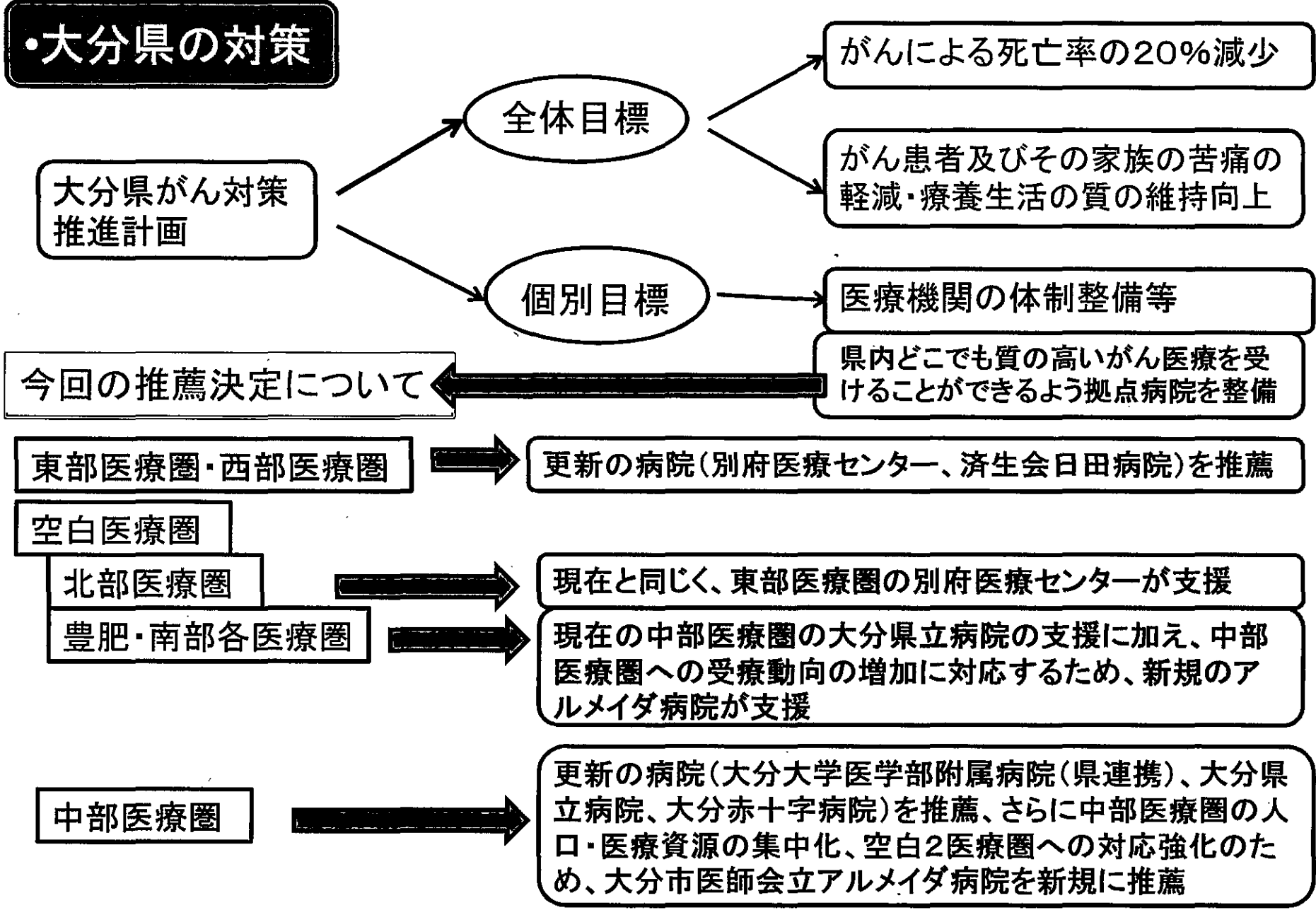
中部医療圏・東部医療圏への患者流入化

北部医療圏 → 東部医療圏  
豊肥・南部医療圏 → 中部医療圏



中部医療圏での受療割合  
 ・豊肥医療圏 31.2%  
 ・南部医療圏 24.3%  
 ※平成18年患者調査 入院ベース

# 今回の指定推薦の考え方(2)

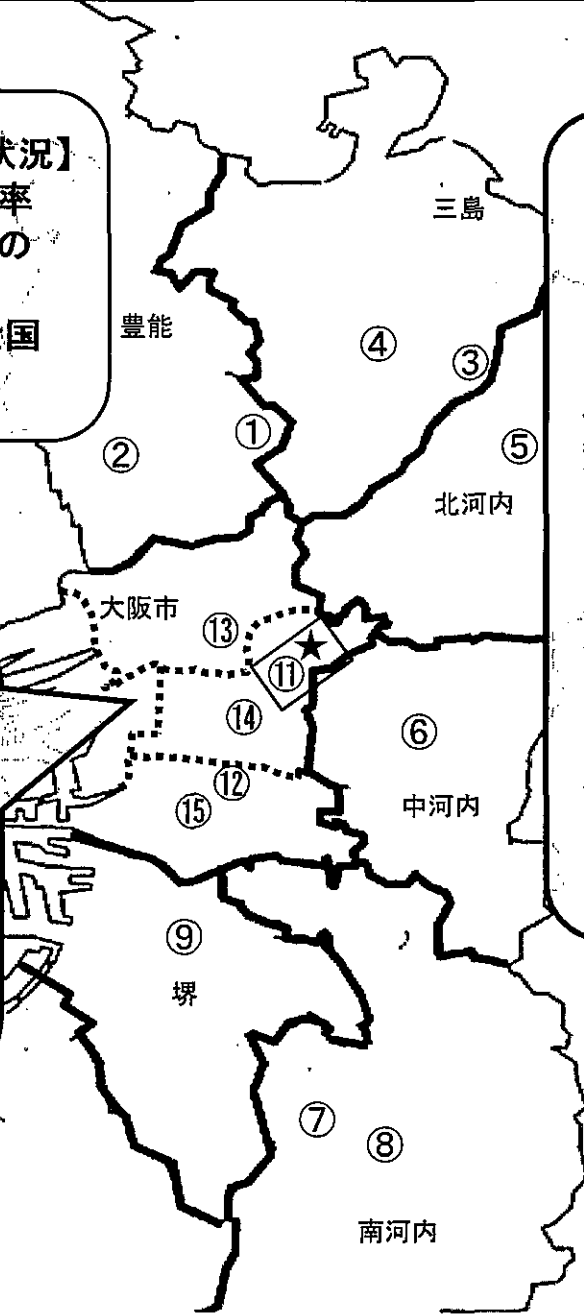


# 27 大阪府

# 大阪府 平成21年4月1日現在の指定状況

**【大阪府におけるがんをめぐる状況】**  
 1. 全国最悪レベルのがん死亡率  
 2. がん医療充実に対する府民の期待が高い  
 3. 二次医療圏の人口規模が全国平均の2倍超

大阪府の二次医療圏数は8つであるが、大阪市二次医療圏については、4つの基本保健医療圏があり、二次医療圏数は実質的に11となる。



○特定機能病院は、所在する二次医療圏の拠点となるとともに、複数医療圏をカバーする。  
 ①人材育成・派遣、高度先進医療の提供等、技術支援・連携によるがん治療を先導する役割を担っている。

- 【特定機能病院 (オンコロジーセンター)】**
- ①大阪大学医学部附属病院 (平成21年4月1日)
  - ③大阪医科大学附属病院 (平成21年4月1日)
  - ⑦近畿大学医学部附属病院 (平成21年4月1日)
  - ⑪大阪府立成人病センター★ (平成19年1月31日)
  - ⑫大阪市立大学医学部附属病院 (平成21年4月1日)

- ②市立豊中病院 (平成20年2月8日)
- ④高槻赤十字病院 (平成20年2月8日)
- ⑤星ヶ丘厚生年金病院 (平成20年2月8日)
- ⑥東大阪市立総合病院 (平成20年2月8日)
- ⑧大阪南医療センター (平成20年2月8日)
- ⑨大阪労災病院 (平成20年2月8日)
- ⑩市立岸和田市民病院 (平成20年2月8日)
- ⑬大阪市立総合医療センター (平成20年2月8日)
- ⑭大阪赤十字病院 (平成20年2月8日)
- ⑮大阪府立急性期・総合医療センター (平成20年2月8日)

※( )内は平成20年10月末提出の数値、下段は平成21年10月末提出の数値

資料2-1

都道府県 or 地域	申請 区分	病院名	年間入院患者数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計											放射線治療		がんに係る薬物療法(6月~7月の集計)		緩和ケア	相談支援センター	地域連携
			年間 新入院 がん患者 数(1月 ~12月)	年間 新入院 患者数 に占める がん患者 の割合 (%)	肺がん		胃がん手術		大腸がん手術		肝臓がん		乳がん		年間患者実数 (1月~12月)		薬物療法の べ患者数		緩和ケ アチー ムに対 する新 規診療 依頼数 (6~7 月の集 計)	相談支 援セン ター相 談件 数(6 ~7月 の集計)	退院 時共 同指 導料2 (6~7 月の 集計)	
					悪性 腫瘍 手術 総数	開胸 手術	胸腔 鏡下 手術	開腹 手術	内視鏡 手術 粘膜切 除術 (EMR )	開腹 手術	内視鏡 手術	開腹 手術	ラジオ 波焼 灼療法	乳癌 手術	乳房再 建術 (乳房 切除 後) 二期的 に行う もの	体外 照射	小線 源治 療	入院 患者 数				外来 患者 数
1	継続	大阪大学医学部附属病院	(5339) 5460	(32.3) 31.5	(227) 290	(7) 18	(13) 11	(6) 4	(0) 0	(4) 17	(3) 3	(10) 7	(11) 13	(41) 51	(1) 0	(616) 474	(195) 64	(337) 347	(355) 348	(21) 24	(38) 121	(0) 0
2	更新	市立豊中病院	(3296) 3976	(20) 24.8	(180) 193	(0) 2	(0) 6	(30) 16	(0) 0	(43) 22	(4) 7	(1) 9	(5) 3	(32) 37	(0) 0	(273) 259	(0) 0	(384) 228	(658) 384	(11) 13	(145) 182	(0) 0
3	継続	大阪医科大学附属病院	(4820) 4310	(32.8) 27.7	(238) 290	(7) 5	(4) 10	(16) 9	(0) 0	(7) 4	(5) 9	(7) 9	(10) 2	(13) 19	(0) 1	(714) 734	(30) 32	(234) 299	(526) 602	(17) 35	(647) 947	(0) 3
4	辞退	高槻赤十字病院	(1579) 1775	(21.4) 25.8	(100) 109	(7) 0	(6) 7	(4) 1	(56) 0	(14) 0	(4) 5	(0) 0	(3) 1	(8) 6	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(91) 145	(96) 272	(25) 36	(60) 140	(11) 8
5	辞退	星ヶ丘厚生年金病院	(1377) 1261	(19.3) 18.4	(59) 53	(7) 8	(0) 2	(4) 5	(0) 0	(8) 1	(1) 8	(0) 0	(0) 0	(2) 11	(0) 0	(135) 118	(0) 0	(68) 89	(61) 165	(15) 9	(58) 117	(0) 0
6	更新	東大阪市立総合病院	(2442) 2241	(21) 19.7	(151) 122	(3) 11	(1) 0	(9) 13	(0) 0	(18) 16	(0) 7	(2) 2	(11) 1	(8) 11	(0) 0	(222) 249	(0) 0	(255) 304	(534) 805	(42) 50	(63) 215	(5) 4
7	継続	近畿大学医学部附属病院	(6337) 6529	(31.9) 33.9	(577) 475	(5) 10	(11) 19	(14) 5	(8) 7	(16) 22	(0) 5	(7) 5	(49) 52	(43) 52	(0) 0	(743) 841	(73) 41	(50) 51	(150) 740	(18) 13	(1) 255	(0) 0
8	更新	大阪南医療センター	(2313) 2618	(23.3) 26.3	(135) 123	(0) 0	(0) 0	(14) 11	(1) 0	(8) 9	(10) 2	(1) 5	(11) 16	(5) 6	(0) 0	(125) 149	(0) 0	(74) 112	(53) 160	(18) 26	(93) 709	(2) 16
9	更新	大阪労災病院	(3538) 4577	(21.3) 27.1	(103) 202	(0) 0	(0) 0	(14) 10	(1) 1	(14) 21	(1) 0	(3) 6	(12) 13	(28) 25	(0) 0	(355) 345	(46) 50	(143) 68	(282) 291	(27) 28	(329) 337	(0) 0

※( )内は平成20年10月末提出の数値、下段は平成21年10月末提出の数値

資料2-2

都道府県 or 地域	申請 区分	病院名	年間入院患者数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計										放射線治療		がんに係る薬物療法(6月~7月の集計)		緩和ケア	相談支援センター	地域連携	
			年間 新入院 がん患者 数(1月~ 12月)	年間 新入院 患者数に 占める がん患者 の割合 (%)	肺がん		胃がん手術		大腸がん手術		肝臓がん		乳がん		年間患者実数 (1月~12月)		薬物療法の べ患者数		緩和ケ アチー ムに対 する新 規診療 依頼数 (6~7 月の集 計)	相談 支援セ ンター 相談件 数(6~ 7月の 集計)	退院共 同指 導料2 (6~7 月の 集計)	
					悪性 腫瘍 手術 総数	開胸 手術	胸腔 鏡下 手術	開腹 手術	内視鏡 手術 粘膜切 除術 (EMR )	開腹手 術	内視鏡 手術	開腹手 術	ラジオ 波焼 灼療法	乳癌 手術	乳房再 建術 (乳房 切除後) 二期的 に行う もの	体外 照射	小線 源治 療	入院 患者 数				外来 患者 数
10	更新	市立岸和田市民病院	(2056) 2102	(23.7) 24.7	(88) 112	(6) 6	(6) 1	(11) 5	(1) 0	(5) 13	(0) 2	(1) 4	(14) 22	(14) 10	(0) 0	(269) 288	(0) 0	(127) 91	(283) 239	(12) 5	(8) 637	(0) 1
11	★更新	大阪府立成人病センター	(6917) 6868	(77.5) 78.2	(493) 491	(17) 28	(17) 28	(19) 20	(36) 5	(33) 26	(94) 9	(8) 11	(0) 44	(45) 67	(0) 0	(1187) 1102	(36) 32	(377) 421	(487) 568	(17) 10	(832) 637	(0) 0
12	継続	大阪市立大学医学部附属病院	(4188) 3696	(29.0) 25.5	(201) 348	(2) 1	(25) 20	(22) 25	(5) 0	(24) 12	(1) 6	(14) 14	(17) 17	(31) 18	(1) 1	(686) 618	(32) 36	(241) 197	(299) 293	(13) 13	(20) 13	(0) 0
13	更新	大阪市立総合医療センター	(5088) 6804	(26.7) 35.3	(221) 289	(23) 10	(21) 24	(13) 14	(0) 0	(4) 12	(2) 10	(10) 28	(0) 28	(20) 22	(0) 0	(513) 833	(257) 16	(246) 263	(339) 526	(21) 44	(114) 235	(1) 0
14	更新	大阪赤十字病院	(1242) 5878	(14) 30.1	(337) 330	(12) 10	(6) 10	(19) 16	(5) 1	(25) 26	(16) 19	(7) 14	(82) 66	(25) 20	(0) 0	(465) 487	(0) 0	(459) 140	(417) 150	(18) 29	(193) 153	(11) 11
15	辞退	大阪府立急性期・総合医療センター	(4309) 3824	(27.0) 24.7	(163) 239	(8) 8	(9) 1	(6) 12	(0) 2	(7) 16	(11) 11	(5) 3	(0) 0	(12) 16	(1) 0	(252) 310	(0) 0	(40) 108	(154) 269	(7) 18	(56) 119	(8) 2
16	新規	関西医科大学附属枚方病院	4515	28.0	392	0	17	19	2	6	5	7	1	25	0	688	0	256	858	7	222	0
17	新規	松下記念病院	1446	19.6	99	0	0	4	0	11	0	1	0	14	0	285	0	87	153	14	291	5
18	新規	大阪医療センター	4113	31.4	232	11	1	24	0	13	11	7	18	50	1	316	80	724	65	30	44	9



# 大阪府 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向

資料 3

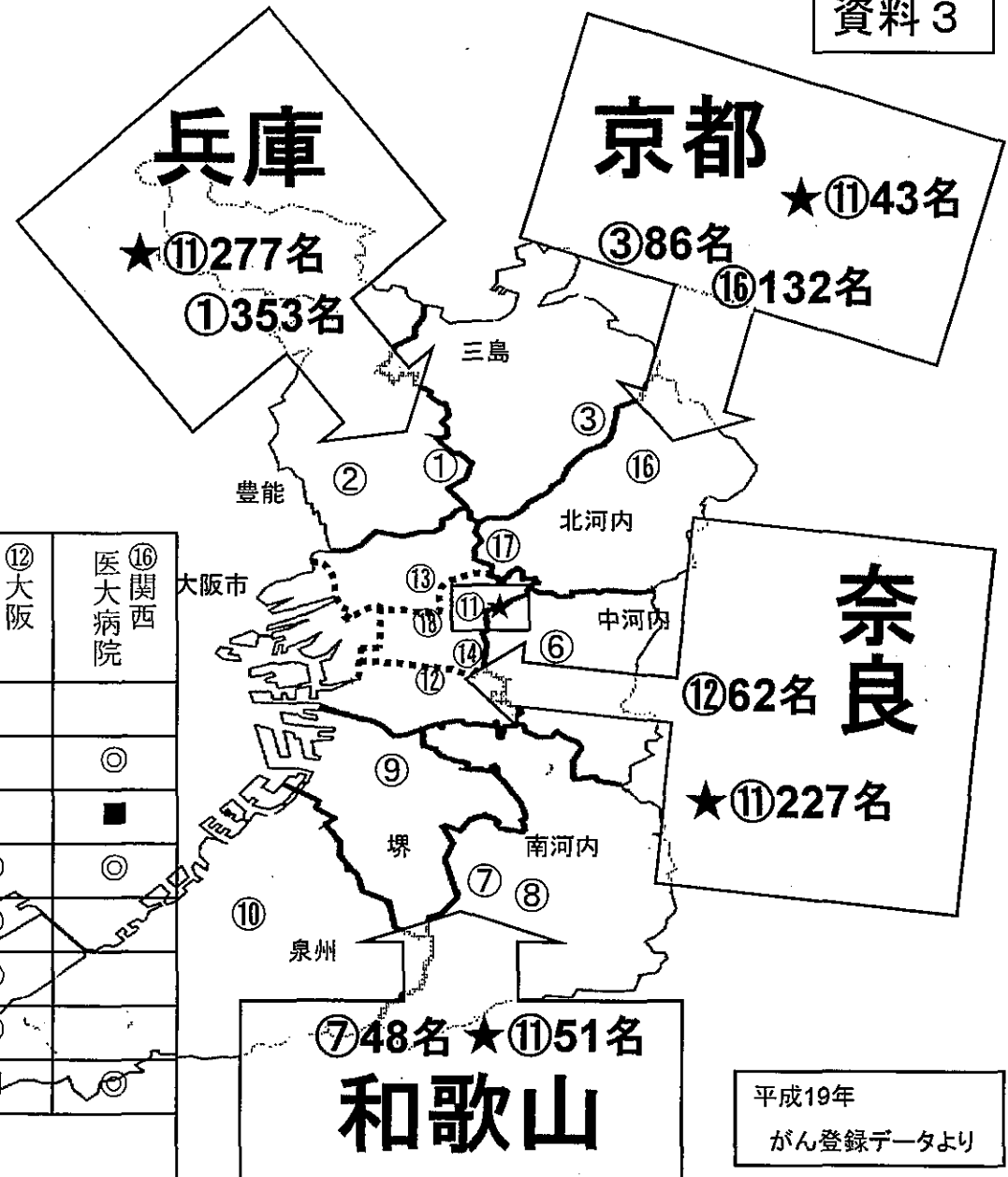
## 【特定機能病院(オンコロジーセンター)】

- ①大阪大学医学部附属病院(継続)
- ③大阪医科大学附属病院(継続)
- ⑦近畿大学医学部附属病院(継続)
- ⑪大阪府立成人病センター★(更新)
- ⑫大阪市立大学医学部附属病院(継続)
- ⑯関西医科大学附属枚方病院(新規)

- ②市立豊中病院(更新)
- ⑥東大阪市立総合病院(更新)
- ⑧大阪南医療センター(更新)
- ⑨大阪労災病院(更新)
- ⑩市立岸和田市民病院(更新)
- ⑬大阪市立総合医療センター(更新)
- ⑭大阪赤十字病院(更新)
- ⑰松下記念病院(新規)
- ⑱大阪医療センター(新規)

医療圏	成人病 センター ⑪★	①大阪 大学病院	③大阪 医科大学	⑦近畿 大学病院	⑫大阪 市大病院	⑯関西 医科大学
豊能	◎	■	◎			
三島	◎	◎	■			◎
北河内	◎	◎	◎			■
中河内	◎	○			◎	◎
南河内	◎	○		■	◎	
堺	◎	○		◎	◎	
泉州	◎			◎	◎	
大阪市	■	◎	◎	◎	■	◎

■当該病院が所在する二次医療圏  
 ◎当該病院が厚くカバーしている二次医療圏  
 ○当該病院がカバーしている二次医療圏



## 平成21年度大阪府におけるがん診療連携病院の推薦について

### 1 大阪府における状況

- ・全国最悪レベルのがん死亡率
- ・二次医療圏数は実質11(7二次医療圏+4大阪市基本保健医療圏)  
全国平均2.2倍の人口規模
- ・がん医療に対する関心が高い
- ・6つの特定機能病院をはじめがん診療に実績のある医療機関が多い

二次医療圏に1箇所の配置ではがん医療の均てん化は困難⇒複数指定が必要

### 2 がん診療連携拠点病院の配置

- ・各ブロックに地域がん診療連携拠点病院を配置
- ・地域がん診療連携拠点病院である5つの特定機能病院は高度医療の提供、隣接圏域・他府県の患者も診療
- ・都道府県がん診療連携拠点病院である大阪府立成人病センターは府域全域の患者を診療
- ・相談支援、緩和ケアの普及を共同実施

複数指定の効果発揮⇒府民への質の高い医療提供

### 3 推薦へのプロセス

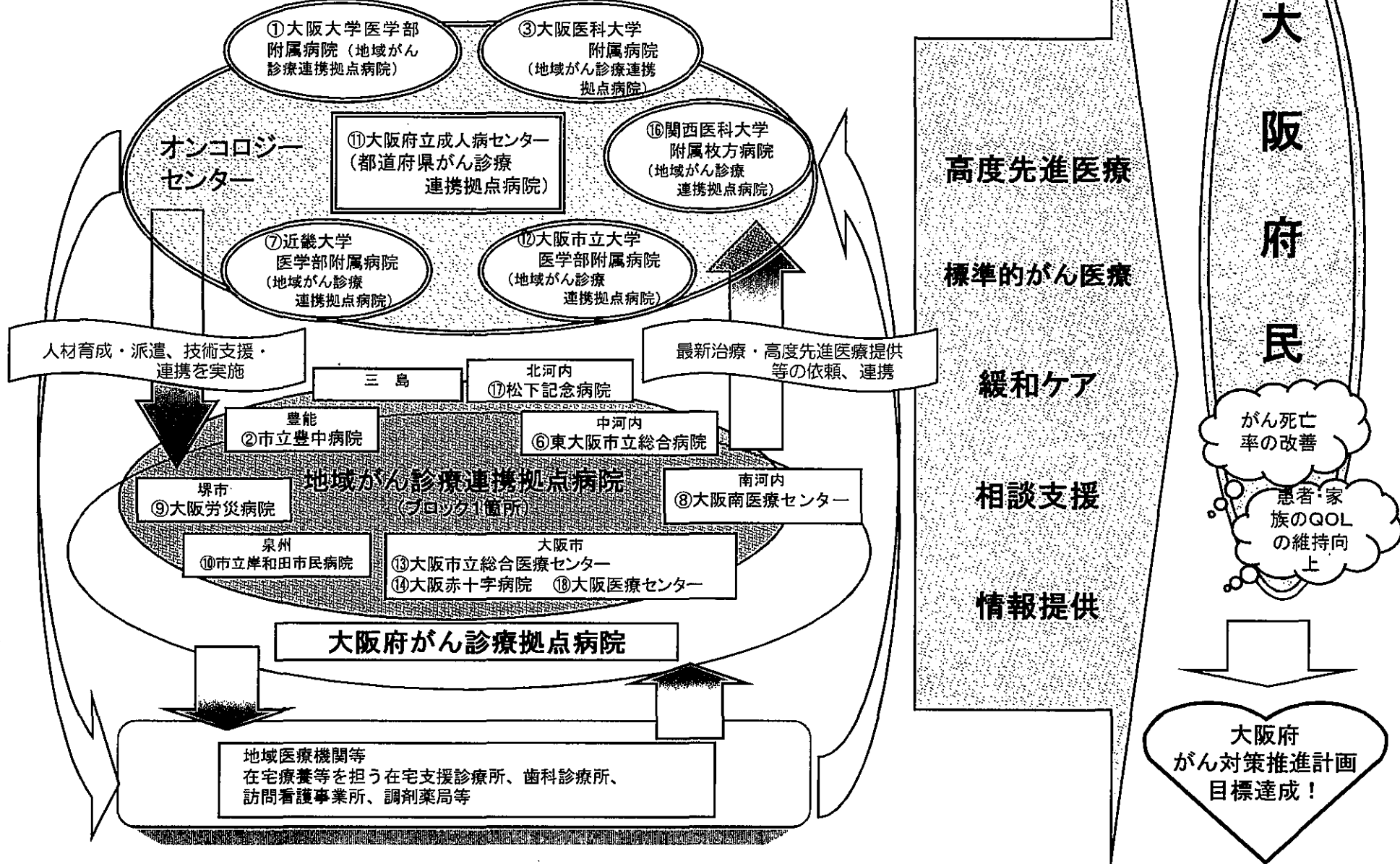
- ・選定委員会の審議を経て、がん診療連携拠点病院として要件を満たしている医療機関から選定  
⇒結果として、指定要件を充足しながら推薦できない病院あり

### 4 その他

大阪市立大学附属病院において相談支援センター職員の要件未充足判明⇒今年度中に充足予定

大阪府におけるがん診療連携体制  
～大阪オンコロジーセンター支援構想（案）～

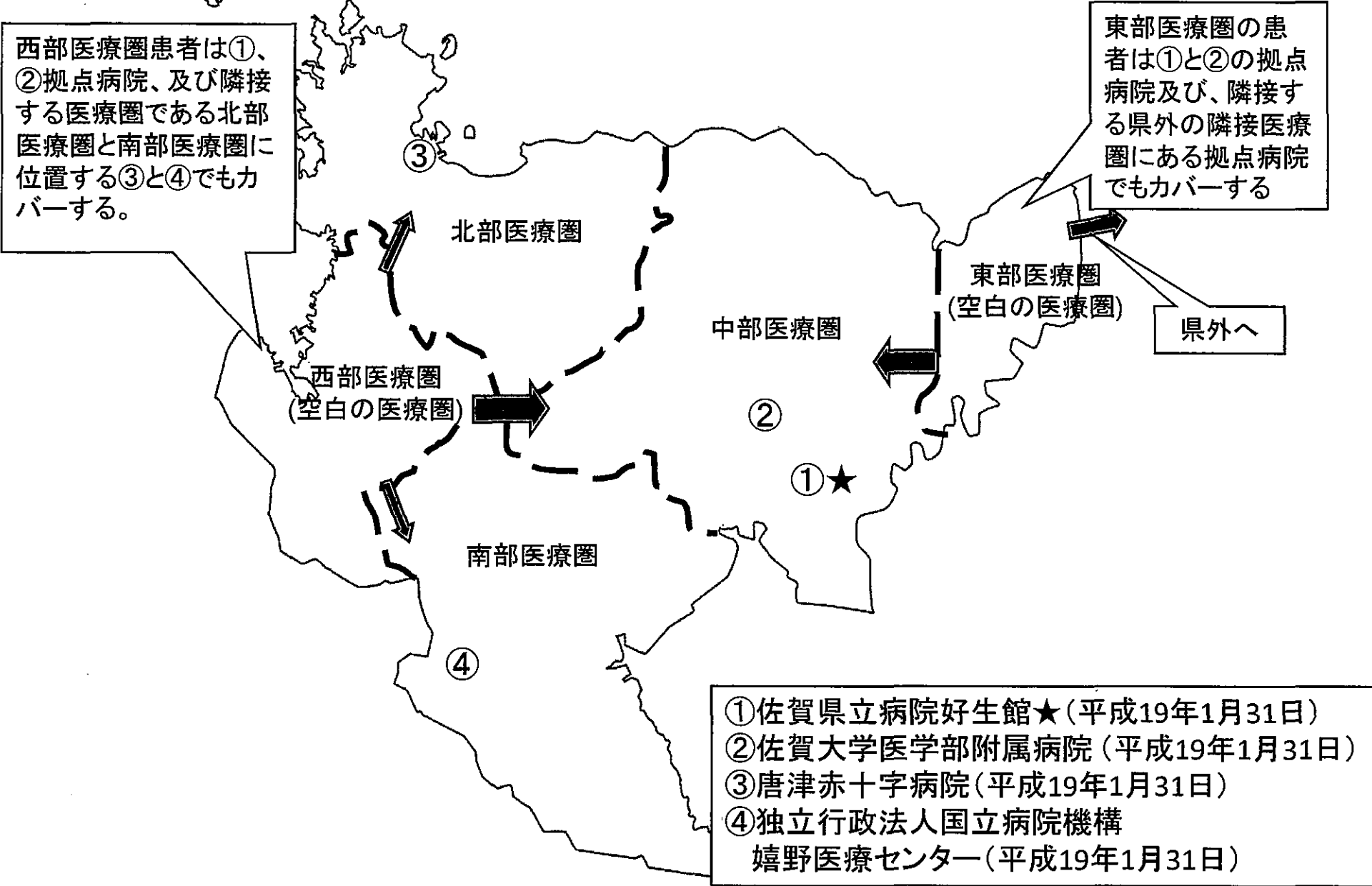
特定機能病院が有するオンコロジーセンター機能を活用することにより、都道府県がん診療連携拠点病院である大阪府立成人病センターとの連携協力の下、大阪府域全体にわたりがん患者に対する医療提供の充実が期待できる。



資料 4 - 2

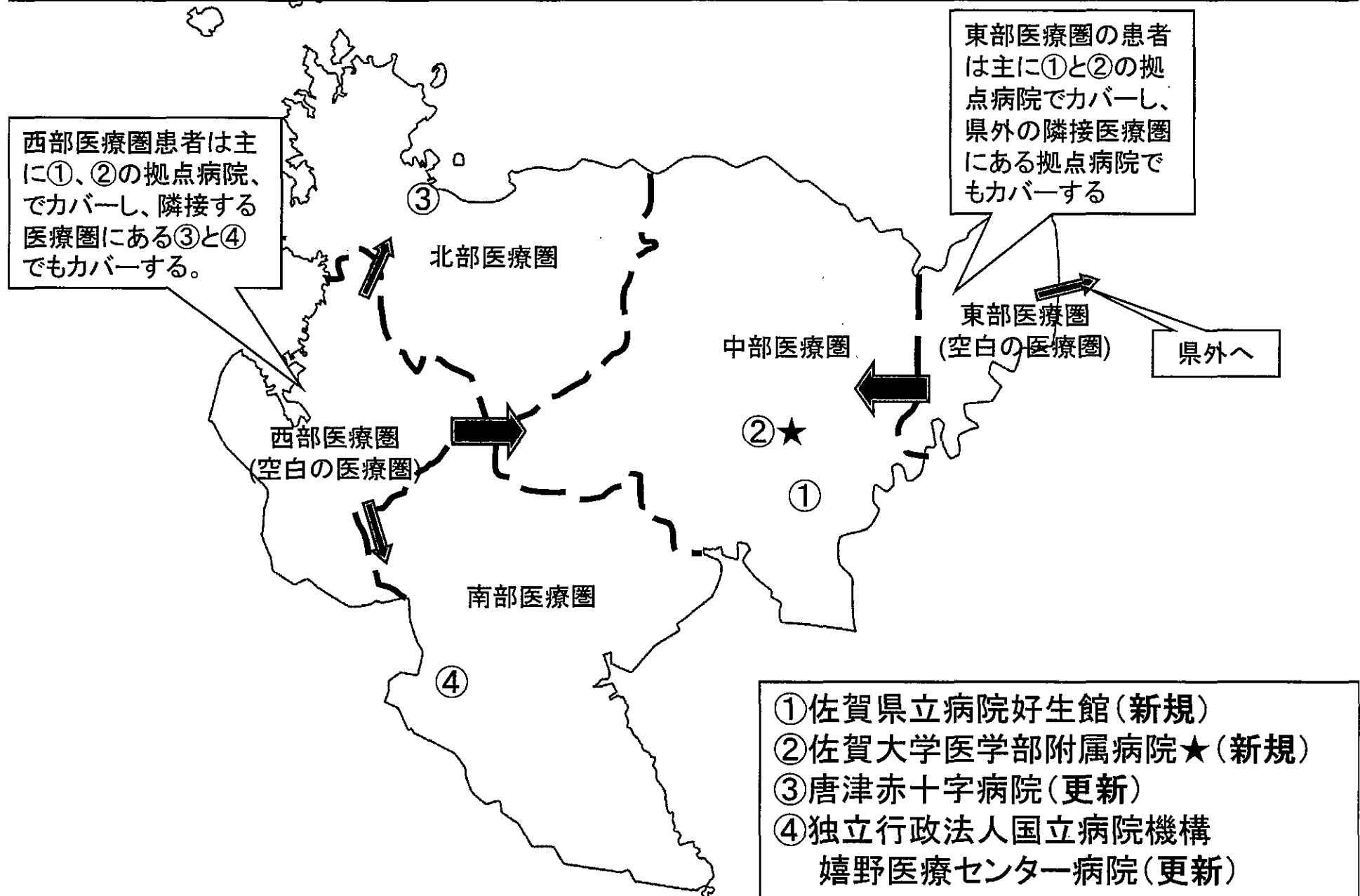
# 4 1 佐 賀 県

佐賀県 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向



都道府県 or 地域			申請 区分	病院名	年間入院患者 数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計										放射線治療		がんに係る 薬物療法 (6月~7月の 集計)		緩和 ケア	相談 支援 セン ター	地域 連携
					年間新 入院が ん患者 数(1月 ~12 月)	年間 新入院 患者数 に占め るがん 患者の 割合 (%)	肺がん		胃がん手 術		大腸がん 手術		肝臓がん		乳がん		年間患者実 数 (1月~12月)		薬物療法の べ患者数		緩和 ケアチ ームに 対する 新規診 療依頼 数(6~7 月の集 計)	相談 支援セ ンター 相談件 数(6~7 月の集 計)	退院共 同指 導料2 (6~7 月の集 計)
							悪性 腫瘍手 術総数	開胸手 術	胸腔鏡 下手術	開腹手 術	内視 鏡手術 粘膜切 除術 (EM R)	開腹手 術	内視 鏡手術	開腹手 術	ラジオ 波焼 灼療法	乳癌手 術	乳房 再建 術(乳 房切 除後) 二期 的に 行うも の	体外 照射	小線 源治 療	入院 患者 数			
1		新規	佐賀県立 病院好生 館	(2297) 3175	(24.8) 37.4	(50) 99	(10) 0	(0) 2	(8) 2	(0) 0	(13) 3	(1) 1	(1) 0	(24) 17	(1) 1	(0) 0	(274) 334	(0) 3	(139) 285	(158) 144	(18) 20	(149) 228	(0) 0
2	★	新規	佐賀大学 医学部附 属病院	(2097) 2153	(22.3) 22.1	(135) 147	(3) 4	(3) 3	(5) 0	(3) 0	(6) 1	(6) 4	(8) 7	(10) 11	(6) 6	(1) 0	(385) 292	(20) 18	(294) 95	(177) 178	(32) 29	(65) 159	(0) 0
3		更新	唐津赤十 字病院	(417) 483	(14) 8.1	(41) 57	(1) 2	(2) 0	(6) 5	(1) 5	(1) 12	(1) 2	(3) 1	(0) 0	(9) 10	(0) 0	(114) 100	(0) 0	(81) 139	(54) 80	(4) 7	(16) 68	(0) 0
4		更新	独立行政 法人国立 病院機構 嬉野医療 センター	(1218) 1436	(16.6) 18.5	(99) 72	(4) 4	(3) 3	(6) 6	(0) 0	(4) 9	(2) 4	(1) 0	(5) 4	(10) 6	(0) 0	(115) 117	(0) 0	(67) 224	(96) 69	(10) 10	(37) 38	(0) 0

## 佐賀県 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向



# 今回指定に係る佐賀県の考え方

## 今回指定に係る主な変更点

### ○都道府県がん診療連携拠点病院

	佐賀大学医学部附属病院	佐賀県立病院好生館
現行	地域拠点	県拠点
変更後	県拠点	地域拠点

## 拠点病院空白二次医療圏の取り扱い

### ○ 東部医療圏

中部医療圏の2病院が主にカバーするとともに、福岡県の拠点病院とも連携を行う。

### ○ 西部医療圏

中部医療圏の2病院が主にカバーするとともに、北部医療圏、南部医療圏の拠点病院においてもカバーする。



## 未充足要件への対応

### ○ 佐賀大学医学部附属病院

#### ① 佐賀県がん診療連携協議会の設置

**現状**

佐賀県がん診療連携協議会については、現行の都道府県がん診療連携拠点病院である佐賀県立病院好生館が既に設置・開催していたため、佐賀大学医学部附属病院は平成21年10月末までに協議会を設置することができなかった。

**対応**

佐賀大学医学部附属病院は厚生労働大臣の指定を受けてから1ヶ月以内に佐賀県がん診療連携協議会を設置する

#### ② 地域連携クリティカルパスの一覧の提示

**現状**

現在、県内の拠点病院はクリティカルパスを作成していない。

**対応**

各病院がクリティカルパスを作成後、一覧を提示する体制を整備する。